

# KANSAI UNIVERSITY

## Admission Office GUIDE BOOK 2027

総合型選抜 アドミッション・オフィス入学試験(AO入試)

### INDEX

関西大学のAO入試とは	P01
選考方法	P01
AO入試 選考カレンダー	P01
AO入試 イベントカレンダー	P01
2027年度 AO入試の主な変更点について	P02
選考者・合格者からのメッセージ/2026年度 結果と講評	P03
AO入試 Q&A	P53

# Admission Office 2027

関西大学では2000年度より総合型選抜 アドミッション・オフィス入学試験（AO入試）を実施しています。総合型選抜にはさまざまな形態があり、総合型選抜の趣旨、選考方法は実施する大学によって多種多様で、同じ形式ではありません。出願を考えるにあたり、その制度について理解を深めることが合格への第一歩です。

このガイドブックは、関西大学のAO入試の情報を掲載していますので、ぜひ参考にしてください。みなさんの積極的なチャレンジを期待しています。

## 関西大学をめざす皆さんへ

皆さんはなぜ大学へ進学したいと考えていますか。どのようなことを関西大学で学び、どのような経験を得たいと思っていますか。

「Enhance your essence」。これは「本質を高める」という意味であり、私が学長として大切にしているキーワードです。関西大学には多様な理念や価値観を持った人たちが集っています。関西大学はそのような人たちが交わり、ともに学ぶことを通じて、「考動力」と「革新力」を備えた人材の育成をめざしています。また、関西大学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）では、柔軟な思考力、旺盛な知的好奇心、社会に貢献しようとする高い目的意識など、「考動力」の基盤を培っている人、特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている人を広く受け入れることを謳っています。

そのため、どの学部においても基礎的な学力が必要であることは言うまでもありませんが、AO入試においては、主体的、積極的に学ぶ姿勢と関西大学で学びたいという意欲と熱意、そのことを的確に伝えるコミュニケーション能力や表現力、プレゼンテーション力、さらには、その説明が論理的で説得力を持っているかというような点を評価します。つまり、成績で表される知識や技能だけではなく、多様な考え方を受け止め、物事をどのように捉え対応していくのかという皆さんの人物像と皆さんの持つ目標を多面的に評価することになります。

AO入試に向き合うということはいままでの学びと体験の一つひとつとしっかり向き合うということであり、自分の将来の目標と結びつけて考える貴重な機会に繋がります。皆さんにはこれらのことを踏まえて、あらためて冒頭で問いかけた「どのようなことを関西大学で学び、どのような経験を得たいのか」ということを考えていただき、いままでの学びや体験を振り返るとともにそれらの学びと体験が、関西大学につながり、社会につながっていることを示していただきたいと考えています。

関西大学のAO入試への挑戦が、皆さんの本質を高めるための機会となり、関西大学が皆さんの本質を高める場所となることを期待しています。関西大学で皆さんを待っています。

関西大学 学長 **高橋 智幸**



## 関西大学のAO入試とは

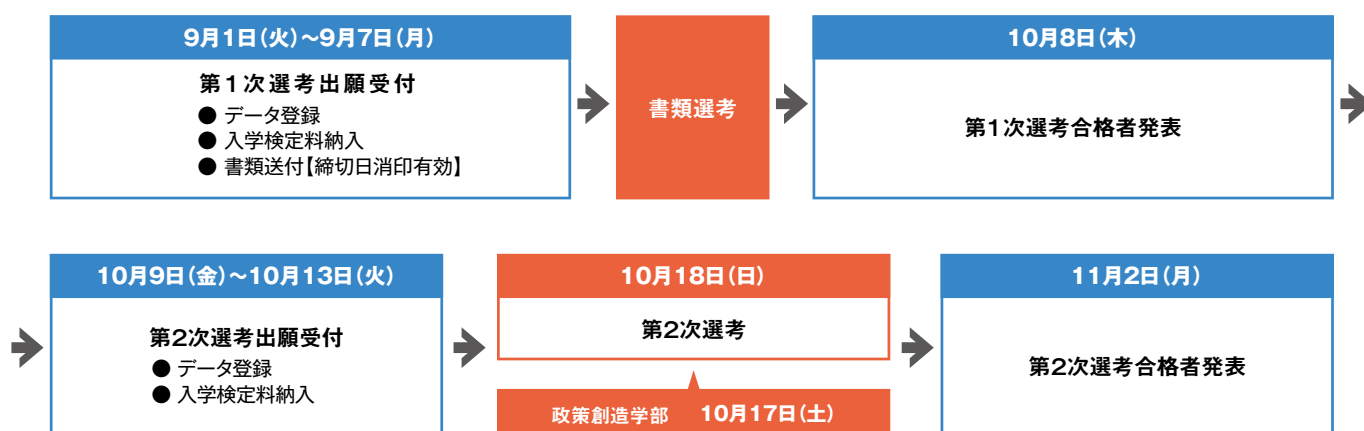
本学のAO入試は、書類選考や面接、小論文、プレゼンテーション等を中心として、学科試験だけでは見出しにくい受験生のもつ多面的な能力、意欲・熱意や個性を積極的に評価します。

将来あなたがめざしているもの、またそのために関西大学で何を学びたいかを明らかにし、その意欲をあなたの活動や実績などを通して自らアピールしていく必要があります。

## 選考方法

第1次選考は書類選考を行い、その合格者に対して面接、小論文、プレゼンテーション等による第2次選考を行います。選考は、学力や活動内容そのものだけを評価するものではありません。出願書類や面接等から各学部の「求める学生像」に合致しているかどうか、能力、意欲、個性などを総合的に評価します。

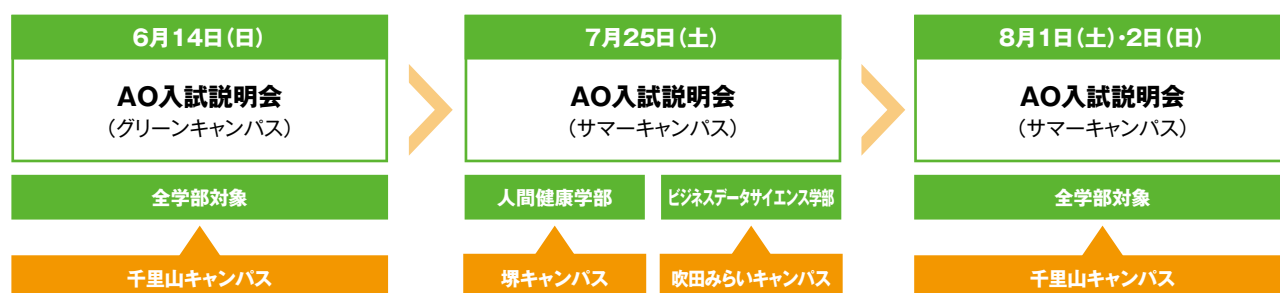
## AO入試 選考カレンダー




## AO入試 イベントカレンダー

いずれのイベントも内容は2026年5月時点における予定です。開催形式等を変更する可能性もありますのであらかじめご了承ください。イベントの詳細は「[関西大学入学試験情報総合サイト Kan-Dai web](#)」でご確認ください。

以下のオープンキャンパスにて、AO入試説明会を開催予定です。なお、説明会等への参加はAO入試出願の要件ではありません。



## 2027年度 AO入試の主な変更点について

学部	変更内容	変更点の詳細は こちらから▼
法学部	<p>学部で特に定める基準等【I型】の出願型名、「求める学生像」、「学部（出願型）で特に定める基準」を次のように変更します。</p> <p>【I型】国際関係志向型</p> <p>■ 求める学生像 法学および政治学に加えて、国際関係に関する諸問題に強い関心を持ち、かつ英語運用能力の向上に主体的に取り組み、将来グローバルに活躍することを志す者。そのために、現代の国際問題に関する基礎的な英文を正確に理解する能力、また自己の見解を表現する能力を持つことが望まれる。</p> <p>■ 学部で特に定める基準 以下に示す英語外部試験の基準（CEFR B1レベル以上）のうち、いずれかのグレードまたはスコアを有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Cambridge English B1 Preliminary（for Schoolsを含む）以上を受検し、140点以上</li> <li>○ 実用英語技能検定2級以上を受検し、CSEスコア1,950点以上（S-CBT、S-Interviewも対象）</li> <li>○ GTEC（4技能）AdvancedまたはCBTを受検し、930点以上（OFFICIAL SORECERTIFICATEに限る）</li> <li>○ IELTS 4.0以上（アカデミック・モジュールに限る）</li> <li>○ TEAP（Reading/Listening+Writing+Speaking）225点以上</li> <li>○ TOEFL iBT® 3.0以上（2026年1月20日以前に受検した場合は42点以上）</li> <li>○ TOEIC® Tests L&amp;R 550点以上かつS&amp;W 240点以上</li> </ul> <p>※グレードまたはスコアは出願時において過去2年以内に取得したものとします。 ※ TOEFL iBT® Home Editionは対象としません。 ※ TOEFL iBT®は、Test Dateスコア（各テスト日の試験結果）のみを利用します（「MyBest® scores」は利用しません）。 ※ TOEFL ITP®テストおよびTOEIC® L&amp;R/S&amp;W IPテストは対象となりません。</p>	
商学部	<p>「募集人員」、「求める学生像」および「学部で特に定める基準」を次のように変更します。</p> <p>■ 募集人員 10名</p> <p>■ 求める学生像</p> <p>【1】商学部での勉学を強く希望し入学を志す者。</p> <p>【2】本学部は「品格のある柔軟なビジネスリーダーの育成」をめざしています。この目標に向けて、AO入試では、 (a) 簿記・会計、英語等の資格取得で大きな成果をあげた学生、(b) 起業に具体的な関心をもつ学生、(c) 外国での勉学経験のある个性的で国際感覚の豊かな学生を求めています。</p> <p>■ 学部で特に定める基準 次の【1】および【2】の要件を満たしている者。</p> <p>【1】次の（1）または（2）のいずれかの要件を満たしている者。</p> <p>（1）中略 （2）中略</p> <p>※詳細は「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。</p> <p>【2】高等学校卒業（または大学入学資格を取得した年度）以前に、次の（1）から（4）のいずれかの要件を満たしている者。</p> <p>（1）簿記・会計に関する高度な資格をもつ者 （2）英語等に関する高度な資格をもつ者 （3）ビジネス関連のコンペティションで優れた実績をあげた者 全国レベルのビジネス関連のコンペティションで優勝または準優勝した者。ただし、ビジネス関連のコンペティションに団体で参加した場合は、リーダーとしての役割を果たした者に限りです。 （4）国際バカロレア資格（フルディプロマ）を日本語DP実施校において取得した者または2027年3月31日までに取得見込みの者</p>	
政策創造学部	<p>学部で特に定める基準等について、各出願型（地域活動志向型・国際活動志向型・ビジネスリーダー志向型）の設定を廃止し、「学部で特に定める基準」を次のように変更します。</p> <p>以下に示すいずれかの資格証明書や実績証明書などの資料を提出できる者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学術・文化・芸術・スポーツ活動などにおける社会活動の実績証明書。</li> <li>○ 国・地方公共団体・大学などが実施するコンテストなどの入賞を証明する資料。</li> </ul>	
外国語学部	<p>【B（クロス留学）】の副専攻言語にスペイン語を追加します。 （変更後：ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語）</p>	
人間健康学部	<p>「学部で特に定める基準」および第2次選考の「選考方法」を次のように変更します。</p> <p>■ 学部で特に定める基準 変更点の詳細は右上のQRコードでご確認ください。</p> <p>■ 選考方法 第2次選考について 選考日当日に行う次の（ア）および（イ）により、総合的に評価します。</p> <p>（ア）小論文（90分、1,200字程度） （イ）「グループワーク」を踏まえた面接（口頭試問およびプレゼンテーションを含む）</p>	
ビジネスデータサイエンス学部	<p>「募集人員」を変更します（変更後：24名）。</p>	

※各学部の変更点に関する詳細は、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

# AO

## Admission Office

### 選考者・合格者からのメッセージ 2026年度 結果と講評

AO入試の実施方法等は、各学部において毎年見直しを行っています。  
このため、結果と講評はあくまでも2026年度入試についての内容であることにご留意ください。  
2027年度AO入試につきましては、「2027年度AO入学試験要項」にてご確認ください。

- 法学部
- 文学部
- 経済学部
- 商学部
- 社会学部
- 政策創造学部
- 外国語学部
- 人間健康学部
- 総合情報学部
- 社会安全学部
- ビジネスデータサイエンス学部
- システム理工学部
- 環境都市工学部
- 化学生命工学部

# 法学部

～社会問題を法律・政治の視点で読み解き、社会に貢献できる人材育成をめざして～  
文章の正確な読解力、他者の意見を理解した上で自己の見解を洗練させる能力、  
自己の見解を論理的に構築し、表現できる能力を評価します。

法学部のAO入試は、一般入試とは異なり、高校までの知識ではなく、大学での学びに対応できる論理的思考力・表現力を測定している試験です。法学部入学後は、法学・政治学の幅広い科目を、自らの興味・関心に応じて積極的に履修することになります。その際には、法律学においては制度・判例・学説の、政治学においては理論・現状分析の基礎を習得し、現実社会において法律・政治がどのように機能しているかを自分なりに考えていくことが必要です。そのため、まず法律・政治・社会問題に関する文章を正確に読解し、その内容・見解を理解した上で、自己の立場を明確にする必要があります。

以上の観点から、法学部では、3つのAO入試方式を導入しています。第1は、英語の文章による正確なコミュニケーションの能力を測る試験です。問題として示された国際関係に関する英文における筆者の主張を正確に理解した上で、自分の見解を伝えることができるかが問われます。第2は、指定された図書を読んで、当該図書を出発点に社会について考察する能力を測る試験です。指定図書の著者の考え抜かれた理論を自分で正確に理解した上で、その意義や、現実社会にとってどのような意味を持っているかを適切に表現できるかを問う試験です。第3は、法曹(裁判官・検察官・弁護士)志望者を対象とする試験です。法曹になるためには、法律や判例の正確な理解の前提として、論理的思考力・表現力が不可欠です。問題文や課題資料を正確に読み解き、自らの意見を表明することを通じて、これらの能力を測ります。

法学・政治学を学ぶ熱意にあふれる多くの方が、AO入試にチャレンジされることを期待しています。



法学部教授 水野 吉章

## 合格者からのメッセージ



法学政治学科  
横山 優里菜  
兵庫県  
私立 小林聖心女子学院高等学校出身  
2026年度 入学生

### グローバルな視点で、人々の権利を守る弁護士をめざして

私は将来、日本のグローバル企業を知的財産分野からサポートできる弁護士になりたいと考えています。高校2年時に参加した司法書士体験プログラムでの裁判傍聴をきっかけに法律に興味を持ち、弁護士を志すようになりました。

さらに、商標や特許をめぐる国際的な訴訟事例を知り、グローバルな視点を持つことの必要性を強く感じました。関西大学法学部は、これらを学ぶために最高の環境だと考えて志望しました。入学後は、法律科目群と国際関係科目群を組み合わせで理解を深めていきたいです。

また知的財産制度の国際的諸問題を扱うゼミへの参加や、法曹コースを活用した法科大学院への進学も、将来実現したい夢の一つです。国際取引法や国際商事仲裁にも関心を広げ、英語運用能力の向上にも努めながら、学びを社会に還元し、多くの人々の権利を守るために尽力していきたいです。

### AO入試の際に役立った、高校での経験はありますか？

高校1年時に出願に必要な資格を取得していたこと、さらに継続的な英語学習により長文理解への抵抗が減ったことが大きな強みとなりました。また、高校2年時に司法書士体験をしたことや、裁判傍聴に行った経験を通じて法分野への関心が高まり、法学部で学びたいというモチベーション維持につながりました。

### AO入試の受験を考えている受験生へのメッセージ・アドバイス

私がAO入試の受験を決めたのは高校3年時の夏休みだったため、短期間で準備となり、不安もありましたが、「入学したい」という気持ちで自分を後押ししました。志望理由書の作成を通して自分のやりたいことを改めて見つめ直すことができ、結果に関わらず大きな成長につながったと感じています。皆さんも、自分を信じて一歩踏み出してほしいです。



法学政治学科  
秋本 こはく  
兵庫県  
私立 AIE国際高等学校出身  
2026年度 入学生

### ルールを変えた経験を活かし、「公正に判断する」裁判官へ

公共の福祉を尊重しつつ、誰もが自分の生き方を制度やルールで守られる社会を司法の力で作りたいと考え、法曹を志望しました。

中学・高校時代には、校則によって生徒の権利が制限されている問題に着目し、改善に向けた活動に取り組みました。近隣校の運用状況を調査し署名活動を行った結果、段階的に校則が見直されました。この経験から、課題を発見し、類似事例を調べ、根拠をもって説明し、新たな制度の運用につなげるというプロセスを学びました。

またフィンランドへの留学で、多様性を尊重した丁寧な合意形成の重要性を学びました。さらに国内外の同性婚訴訟に触れ、問題解決のためには時間がかかることを知り、当事者の限りある時間を守るという視点が加わりました。法律の知識や判例を学習し、国際的・歴史的視点を養いながら、将来は当事者の声を正しく評価し、公正な理由をもって判断を下せる裁判官をめざします。

### AO入試要項・ガイドブックや大学ウェブサイト等をどのように活用しましたか？

AO入試ガイドブックの結果と講評をよく読み、何が重視されているのかを自分なりに考えました。AO入試要項も徹底的に確認し、記載ミスや見当違いがないよう心がけました。さらに大学ウェブサイトやシラバスなども参考に、関西大学でしか学べない具体的な研究計画を立て、志望理由の説得力を高めました。

### 関西大学でチャレンジしてみたいことは？

関西大学法学部での学びを通じ、法制度のあり方を追究したいです。また、将来は司法試験合格を目標にし、法律の専門家として誰もが尊敬を持って共生できる社会の実現をめざします。大学生生活を通じてその土台を確かなものになりたいと考えています。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

法学部AO入試では、従来型の筆記試験による入試では判定できない能力を評価の対象とします。具体的には、文章読解力、正確で柔軟な思考力および明晰な意見表明能力等を評価し、法学部での学習に対応できる能力と適性を有しているか否かを判定します。日頃から、現実が生じている社会問題に関心を抱き、それについて熟考し、自己の意見を形成するとともに、その意見を他人に説得力をもって説明することのできる学生を求めています。そのために、言葉を大切に作る姿勢や文章を論理的に構成する能力が重視されます。また、当然のことですが、法学部での勉学を強く希望し入学を志す者であることも要求されます。

以下、【I型】、【II型】、【III型】に分けて実施概要と評価ポイントを説明します。

### 第1次選考(書類選考)について 【I型】 英語運用能力重視型

#### ■ 実施概要

第1次選考では、「入学志望理由書」(本学指定用紙で2,000字程度)等の出願書類による書類選考を行いました。なお、【I型】英語運用能力重視型では、以下に示す英語外部試験の基準(CEFR B2レベル以上)のうち、いずれかのグレードまたはスコアを有することを学部で特に定める基準として設定しました(詳細はAO入試要項に記載)。

Cambridge English B2 First(for Schoolsを含む)以上を受検し、160点以上/実用英語技能検定準1級以上を受検し、CSEスコア2,300点以上(S-CBT、S-Interviewも対象)/GTEC(4技能)AdvancedまたはCBTを受検し、1,180点以上(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)/IELTS™ 5.5以上(アカデミック・モジュールに限る)/TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)309点以上/TEAP CBT(4技能)600点以上/TOEFL iBT® 72点以上/TOEIC® Tests L&R 785点以上かつS&W 310点以上

#### 🔍 評価ポイント

評価にあたっては、法学・政治学分野における国際的なコミュニケーションに実質的に貢献できる学生を求める観点から、特に志望理由書における英語を生かした法学部での学びの具体的な内容や、国際的コミュニケーション能力を生かした将来設計、文章全体の構成力(個人的・主観的な感想や情緒的な散文・随筆ではなく、論理的かつ説得力のある議論を展開しているかどうか、推敲の完成度等)、そして文章表現の適切さ(誤字・脱字、日本語の「て・に・を・は」の用法等に不備がないかどうか、明晰で理解可能な文になっているかどうか)などを勘案して総合的に評価しました。

### 第1次選考(書類選考)について 【II型】 文献読解能力重視型

#### ■ 実施概要

第1次選考では、「指定図書を読み、そこで取り扱われているテーマのうち、あなたが最も重要と考えるものについて論じなさい。その際、そのテーマが、あなただけでなく、社会全体にとってなぜ重要であるかということの説明すること。なお、指定図書の著者の見解にしたがう必要はなく、批判的に考察してもよい。」という設問のもとで、「指定図書についての小論文(任意テーマ)」(本学指定用紙で2,000字程度、2,500字上限)を課しました。指定図書は、瀬木比呂志著『現代日本人の法意識』(講談社)でした。

#### 🔍 評価ポイント

評価にあたっては、特にテーマ設定の適切さ(社会にとって重要なテーマかどうか等)、正確で深い思考力(指定図書の内容を客観的かつ正確に把握し、分析しているかどうか、その分析に基づいて論理的かつ説得力のある議論を展開しているかどうか等)、文章全体の構成力(個人的・主観的な感想や情緒的な散文・随筆ではなく、論理的かつ説得力のある議論を展開しているかどうか、推敲の完成度等)、そして文章表現の適切さ(誤字・脱字、日本語の「て・に・を・は」の用法等に不備がないかどうか、明晰で理解可能な文になっているかどうか)などを勘案して総合的に評価しました。

### 第1次選考(書類選考)について 【III型】 法曹志望者特化型

#### ■ 実施概要

第1次選考では、「入学志望理由書」(本学指定用紙で2,000字程度、2,500字上限)と「将来計画書」(本学指定用紙で2,000字程度、2,500字上限)の提出を求めました。「入学志望理由書」では、「法曹を志望する理由について、あなたが抱いている法曹イメージをできれば具体的な体験を踏まえて描写しながら記入してください。」という課題を設定しました。また、「将来計画書」では、「関西大学法学部入学後の4年間で、あなたがどのように学習していくか、および将来法曹としてどのように活動していくかについて、記入してください。」という課題を設定しました。

#### 🔍 評価ポイント

評価にあたっては、特に法曹を志望する意図が明確に示されているかどうか、適切で実効的な学習計画を立てているかどうか、正確で深い思考力、文章全体の構成力(個人的・主観的な感想や情緒的な散文・随筆ではなく、論理的かつ説得力のある議論を展開しているかどうか、推敲の完成度等)、そして文章表現の適切さ(誤字・脱字、日本語の「て・に・を・は」の用法等に不備がないかどうか、明晰で理解可能な文になっているかどうか)などを勘案して総合的に評価しました。

## 第2次選考(筆記試験と面接)について 【Ⅰ型】英語運用能力重視型

## ■ 実施概要

第2次選考では、まず選考日当日に英文資料を配付し、「英文資料の内容を理解する能力を問う問題」を課しました。具体的には、日本語200字程度でその要旨を作成するというものでした(試験時間90分)。次に、この「英文資料の内容を理解する能力を問う問題」に対する各受験生の解答について、面接によって質疑応答をしました(面接時間10分、1名の受験生に対し面接員2名)。



## 評価ポイント

- 「英文資料の内容を理解する能力を問う問題」については、200字程度という限られた字数の中で、英文資料の内容を深く正確に理解しているか否かが最大のポイントになります。また、文章表現の適切さ(誤字・脱字、日本語の「て・に・を・は」の用法等に不備がないかどうか、明晰で理解可能な文になっているかどうか等)も評価の対象になります。
- 面接の主たる目的は、受験生が英文資料の内容を正確に理解しているか否かを確認することです。さらに、面接員の質問を正確に理解し、質問に対する的確な答えを論理的に表現する能力があるかどうか、他者からの意見や批判を取り入れて誤りを修正し、さらに自己の見解を発展させる能力があるかどうかも評価の対象になります。

## 第2次選考(筆記試験と面接)について 【Ⅱ型】文献読解能力重視型

## ■ 実施概要

第2次選考では、まず第1次選考で課した指定図書についての課題テーマを発表し、それについて小論文を作成するという課題を課しました(計1,000字程度、1,500字上限、試験時間90分)。次に、小論文の内容に関して、面接によって質疑応答をしました(面接時間10分、1名の受験生に対し面接員2名)。



## 評価ポイント

- 課題テーマに対する小論文については、指定図書全体の内容を深く正確に理解したうえで、課題テーマに対して的確な解答をしているかどうか最大のポイントになります。なお、必ずしも指定図書の個別の内容を専門的なレベルで理解することを求めるものではありませんが、社会制度や社会問題等について、正確な理解を踏まえたうえで考察を展開できているかどうか重要です。さらに、第1次選考と同様に、文章全体の構成力、文章表現の適切さなども評価の対象になります。
- 面接の主たる目的は、受験生が小論文に書いた内容やその意図を確認することです。さらに、面接員の質問を正確に理解し、質問に対する的確な答えを論理的に表現する能力があるかどうか、他者からの意見や批判を取り入れて誤りを修正し、さらに自己の見解を発展させる能力があるかどうかも評価の対象になります。

## 第2次選考(筆記試験と面接)について 【Ⅲ型】法曹志望者特化型

## ■ 実施概要

第2次選考では、まず選考日当日に資料を配付し、それについて長文読解(600字程度)と小論文(課題テーマ、800字程度、1,000字上限)を課しました(試験時間90分)。次に、長文読解と小論文の内容に関して、面接によって質疑応答をしました(面接時間10分、1名の受験生に対し面接員2名)。



## 評価ポイント

- 長文読解については、課題資料で論じられている内容を正確に理解しているかどうか、小論文については、課題テーマに対して論理的かつ説得力のある解答をしているかどうか最大のポイントになります。また、第1次選考と同様に、文章全体の構成力、文章表現の適切さなども評価の対象になります。
- 面接の主たる目的は、受験生が小論文に書いた内容やその意図を確認することです。さらに、面接員の質問を正確に理解し、質問に対する的確な答えを論理的に表現する能力があるかどうか、他者からの意見や批判を取り入れて誤りを修正し、さらに自己の見解を発展させる能力があるかどうかも評価の対象になります。
- なお、第2次選考における評価にあたっては、必ずしも法的知識の有無を問うことが目的ではないことを付言します。

## ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)	募集人員	第1次選考		第2次選考	
			志願者	合格者	合格者	
法学部	法学政治学科	25	I型(英語運用能力重視型)	13	11	8
			II型(文献読解能力重視型)	57	30	19
			III型(法曹志望者特化型)	35	16	4
	計	105	57	31		

# 文学部

評価ポイントは、学びへの熱い情熱と、論理的に考えて表現する力。

広さと深さの両方を兼ね備え、社会のさまざまな分野で活躍する、総合力の高い人材の育成を関西大学文学部はめざしています。関西大学文学部の大きな特徴は、多彩な性格をもつ12の専修が連携して教育を行う点にあります。しかも、入学時から特定の専修に所属するのではなく、2年次から専修に所属するという仕組みになっています。これにより、1年次を中心に「幅広い教養」を学びながら、2年次からは各専修での専門的な教育により「高度な専門的知識・技法」を習得していきます（初等教育学専修のみ、1年次から専修に所属するカリキュラムを一部とりいれています）。

文学部のAO入試には3つの方式があります。【自己推薦型】では、皆さんのさまざまな活動や資格をアピールしてもらいます。【外国語能力重視型】は、外国語（英語、フランス語、ドイツ語、中国語）の運用能力をこれからの学びに生かしていきたい人に向けた方式です。この方式では、外国語検定試験のスコアやグレードを評価の対象とするだけでなく、第2次選考でも外国語の読解問題を課すことで、志願者の能力を多角的に測ります。【論文評価型】は、自分の学術的な関心に沿った任意のテーマによる論文を提出していただく方式です。

3つの方式とも、AO入試志願者に私たちが求めることは次のとおりです。まず、文学部のなかでもどの専修での学びに自分が関心をもっているのかについてきちんと把握できていること、そしてそれがこれまでに積み重ねてきた経験や実績と着実に結びつけられていること、こうしたことが重要です。したがって、単にこれまでの活動の結果を提示するだけでなく、そこに至る過程で培ってきた皆さんの知的関心と情熱が、志望する専修で学びたいこととどのように関わっているかを、積極的にアピールしてください。また、文学部の学びでは、文献を正確に読み解き、それを通じて考えたことを論理的な文章で書き表すことが求められます。そのため、志願者の「考える力」や「表現する力」を多角的に評価するために、第2次選考で小論文を課しています（【自己推薦型】と【論文評価型】において）。自分の伝えたいことを明快な文章で筋道立てて書く能力は一朝一夕には身につけません。多くの文章に日頃から触れることで、文章力を高めるようにしてください。

私たちは、AO入試で入学してくる皆さんが、チャレンジ精神を発揮して、文学部を力強くリードする役割を担ってくれることを大いに期待しています。



文学部教授 水野 友晴

## 合格者からのメッセージ



総合人文学科  
前田 壮一郎

大阪府  
私立 追手門学院高等学校出身  
2026年度 入学生

### 演劇がくれた感動と問いを、専門的な学問で追いかけてみたい

親の影響で小学校高学年から演劇を観るようになり、戯曲を読んだり映像を観たりする中で、演劇がもつ幅広い表現力に魅かれました。高校では演劇部で「自画像」という表現に取り組み、自分を客観的に捉え、普段向き合えない感情を表現する経験を通じて、演者と観客が双方向に共感し合うことで心が満たされることを学びました。この経験から、演劇における共感や感情の伝達がどのような仕組みで成り立つのか、人文学の視点から深く理解したいという思いが強まりました。

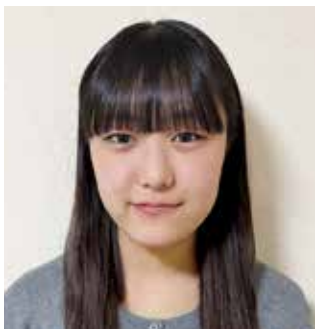
あらゆる表現に文学や哲学、心理学などさまざまな人文学の知識が深く結びついていることに気づき、関西大学の理念のもとで演劇を用いた言語的コミュニケーションを学びたいと思い、関西大学文学部を志望しました。演劇を通じて得た問題意識を出発点に、表現と人間の関わりを多角的に探究していきたいです。

#### AO入試の際に役立った、高校での経験はありますか？

部活動の演劇を通して自分と他者を見つめ続け、自分自身がどのような人間で、他者に対して何ができるのかをよく考えていました。その考えを徹底して続けたことは、大学生活でも自分の役割や強みを考える基盤になっています。

#### 第2次選考（面接、小論文、プレゼンテーション等）の対策はどのようにしましたか？

第2次選考では小論文対策に力を入れ、とにかく量を解こうと数多くの小論文の問題を解き、決められた時間で課題に対して事実と自分の考えを簡潔に伝えることを意識して取り組みました。また、面接対策は「自分に興味があつて第2次選考に呼んでくれたんだ」と前向きな気持ちを持ち、質問された内容を正確に、情熱をもって答えることを意識しました。



総合人文学科  
秋吉 彩生

東京都  
私立 実践女子学園高等学校出身  
2026年度 入学生

### 「伝える」から「つなぐ」へ 英米文化研究を通じた挑戦

将来、国際コーディネーターのような多文化共生の現場で活躍する仕事に就きたいと考え、関西大学文学部を志望しました。幼少期から続けてきた、身体と言葉を通して英語劇を表現するラポ活動の経験を通じ、「伝える」ことの大切さを実感しました。この経験が異文化への関心の原点です。

文学部に進学後は、英米文化専修で学びたいと考えています。英米文化専修では、英語圏の文学や戯曲を文化的背景とともに学び、環境文化論や表象文化論を中心に人間と自然の関わりを多角的に考察することが目標です。

また少人数のディスカッションやプレゼンテーションを通じて批判的思考力を養いたいです。さらに留学生との交流を通じて異文化理解を深め、実践的なコミュニケーション能力も高めていきたいです。学問と実践の両面から国際的な視野を広げ、多文化共生に貢献できる人材をめざします。

#### 出願書類を作成するうえで工夫した点や苦労した点は？

単に経験を並べるだけでなく、その経験の意味や今後どう生かすのか、関西大学文学部での学びが必要な理由を明確にすることを意識しました。特に自分の言葉で表現することに苦労しましたが、不器用でも自分の実感に近い表現を選び、経験のつながりや自分の軸が伝わる文章を心がけました。

#### AO入試の受験を考えている受験生へのメッセージ・アドバイス

AO入試は、話の上手さや文章力よりも、自分の言葉で語れるかが問われる入試だと感じました。表現に悩みながらも考え続ける中で、自分が大切にしてきた軸が見えてきました。整った表現でなくても、自分の言葉で思いを伝えることが大切だと思います。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

## 【AO入試のポイント】

文学部AO入試においては、2025年度入試から従来の総合人文学科募集枠に加えて、初等教育学専修募集枠が設けられました。文学部AO入試では、受験生の活動実績や能力、勉学への意欲などを多面的に評価します。

関西大学文学部では、総合人文学科に置かれた多様な専門分野(専修)を選択し、学生それぞれのニーズに合わせた自由で多彩な学びを行うことができます。総合人文学科および各専修の内容をよく理解した上で、これまでの自身の経験を踏まえつつ、自らの学びを、どの専修において、どのように実現していくかについて深く考えている人を、関西大学文学部は求めています。

## 第1次選考(書類選考)について

## ■ 実施概要

文学部に所属する8名の選考委員が、「入学志望理由書」を中心に、「出願資格を証明する資料」、「調査書」などの内容を精査し、総合的な観点から第1次選考合格者を決定しました。

## 🔍 評価ポイント

## 1. 「入学志望理由書」(3方式共通【自己推薦型】、【外国語能力重視型】、【論文評価型】)

次のような点を中心に「入学志望理由書」を評価しました。

- (1) 文学部で「何をどのように学びたいか」が具体的かつ明瞭に記され、学びへの積極的な意欲が読み取れること。
- (2) これまでの活動実績、能力・資格などの内容が具体的に記されているとともに、そこからどのようなことを学んだのか、またその成果を文学部での勉学にどのように活かしたいのかといったことが、事前の入念な準備や調査に基づいて説得的に述べられていること。

【自己推薦型】【論文評価型】では総合人文学科志望者、初等教育学専修志望者とも、①関西大学でしか学べないものとは何か、②自身の個性や情熱を活かすことのできる場が文学部でなければならない理由、が具体的に書けているかどうかを評価しました。したがって漠然とした希望が記されているだけでは不十分で、これまでにどのような学びや活動を積み上げてきたか、自分が学びたい事柄はどのような学問分野や将来像に関連するものであるか、それに関連する業績を有する教員は文学部にいるか、文学部での学びを通じてどのような成果を得たいと考えているか、などについて論理的に説明する必要があります。

【外国語能力重視型】では、以上に加えて、語学習得の目安となる各種外国語資格・検定試験のスコアやグレードを中心に、海外留学や異文化体験といった語学にまつわる経験・知識と希望専修との関連性などを考慮しつつ、総合的に評価しました。いずれの方式においても、きちんとした日本語表現だけでなく、自分自身の体験を自らの言葉で具体的に述べ、学びへの意欲が強く伝えられる「文章力」があることを重視しています。また、文学部での学びには、志願者が培ってきた能力や社会性に加えて、専門的な知識や技術を理解し、新たな発想を生み出す力も必要となります。

そのためには、各専修で学ぶことができる内容を具体的に知り、自分の力がそこでどう活かせるのかを深く考える必要があります。オープンキャンパスや本学のホームページ等を積極的に活用し、関西大学文学部や各専修についての情報・知識を得るだけでなく、それぞれの専修に所属している教員の研究テーマや執筆された書籍・論文の内容なども参考にしてください。

## 2. 論文(【論文評価型】のみ)

総合人文学科志望者、初等教育学専修志望者とも、①関西大学文学部で学びたいと考えるテーマに関する資料を集め、読解し、まとめる力、②自分の考えを自らの言葉で述べ、その理由を資料に基づいて論理的に説明する力、の2点を評価しました。

レポートではなく「論文」としての完成度を評価しますので、明確な問いが立てられ、何を論じるのかが冒頭の「序」や「はじめに」において、しっかりと書かれていることが重要です。また「論文」であるからには、先行研究の調査が適切に行われている必要があります。さらに、多くの書籍や学術雑誌に掲載された論文をしっかりと読み、それらを引用する場合には、出典として本文中に注で示すとともに、稿末にも参考文献として提示する必要があります。そのため、注がなく、参考文献が明記されていない論文や、参考資料がインターネットからのみ、というものは評価が低くならざるを得ません。

## 第2次選考(課題と面接)について

### ■ 実施概要

第2次選考では、第1次選考の合格者に対して、課題と面接を実施し、選考しました。



### 評価ポイント

#### 1. 課題

##### (1) 小論文(【自己推薦型】および【論文評価型】)

総合人文学科志望者、初等教育学専修志望者とも、出題文を読み、800~1,000字程度の小論文を執筆してもらいました。①問題の意図を的確に汲み取っているか、②自己の意見を論理的かつ説得的に記述できているか、③その主張の内容が首尾一貫しているか、さらには、④自らの考えを展開しつつ、そこに独創性が発揮されているか、の4点を評価の基準としました。しかしながら、まったく出題文の内容に触れることなくただ自分の主張のみを展開しただけの内容の小論文が幾つかあり、そうした小論文については評価基準①に照らして低評価しか与えられませんでした。出題文をしっかりと読み込んだ上で主張を展開する必要があります。

また、【論文評価型】の受験者が作成した小論文の中には、提出された論文と較べて著しく水準が劣るものがありました。【論文評価型】の受験であっても、小論文や面接の対策を十分に講じておくことが、当然ながら求められます。

##### (2) 長文読解問題(【外国語能力重視型】)

外国語で書かれた比較的長い文章を読み込んで、そこに書かれている内容が十分に理解できているか、を評価する目的から、それぞれ辞書1冊のみ持ち込み可とし、語彙力や読解力を試す長文読解問題を出题しました。いずれの課題も、語彙・表現・論理的思考など、短期間で習得できない力が評価されます。そのため、日常的に外国語の文章に接し、その内容を正確に読解する訓練を行うておくことが必要になります。

#### 2. 面接(3方式共通【自己推薦型】、【外国語能力重視型】、【論文評価型】)

総合人文学科志望者、初等教育学専修志望者とも、1人につき最大で30分程度の面接を行い、①志望動機、②大学生活における展望、③資格や受賞歴の詳細、④卒業後の将来像、⑤留学などの異文化体験への関心、⑥学業以外の能力や活動実績の詳細などの履歴に関わる内容や、これまでに学んできたこと、などについて質問しました。そして、⑦学業や課外活動と希望専修との関係性、⑧関連学問への理解度、⑨入学後に取り組みたい活動や研究テーマ、などについてもあわせて聞き取りを行いました。

そのうえで、⑩回答が全体として筋道の通ったものになっているか、⑪自ら問題を発見し、その原因を考察するとともに、解決に導くという「学問に対する主体性」が見てとれるか、などを評価の基準としました。

面接において、⑩と⑪のどちらにもしっかりと対応するためには、「付け焼刃」では歯が立ちません。具体的には、以下の点が目につきました。

①志望理由書には、国際的、社会的な視点や関心が見てとれたものの、面接の場で尋ねると、本人の発言からはそれらがほとんど認められない。

②志望する専修や学問分野について、インターネットの検索でヒットした学術論文を読んだと答えているものの、その内容を尋ねると、表面的な理解に基づいた回答が聞かれる。

こうした状況の背景には、多くの志願者が、日常的に、書籍や新聞をきちんと読む習慣を身につけていない、という実態があると考えられます。また、近年インターネットを通して学術論文に触れられる機会が多くなっていますが、学術論文は専門的な知識を前提として書かれているため、用語・論理構成が難解です。論文の参考文献に挙げられている文献やその学術分野の入門書も読むなどして、その分野をより深く知ろうとする姿勢が必要です。面接では、入学志望理由書を読むだけでは測りきれない志願者の勉学への意欲や大学で必要とされる知的能力と教養の程度、そして文学部への適性を判断します。あらかじめ準備してきたような通り一辺倒の答えを単に繰り返すだけでは、まったく通用しないということをぜひ理解してください。

### ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)	募集人員	第1次選考		第2次選考			
			志願者	合格者	合格者			
文学部	総合人文学科	自己推薦型	10	40	16	5		
				外国語能力重視型	英語	29	6	5
					フランス語	1	1	0
					ドイツ語	0	0	0
					中国語	10	2	0
	論文評価型	19	5	1				
	初等教育学専修	自己推薦型	3	9	5	2		
				外国語能力重視型	英語	1	1	0
					フランス語	0	0	0
					ドイツ語	0	0	0
中国語					1	0	0	
論文評価型	6	4	2					
			116	40	15			

# 経済学部

経済の仕組みを知ると、世界の動きが見えてきます。  
経済学部は、あなたの積極的な挑戦を待っています。

経済学部では、専門科目を導入・基本・展開・実践科目と分類し、経済学を無理なく体系的に学べるカリキュラムを導入しています。1・2年次で基礎的な科目を学習した後、3年次からは経済政策、歴史・思想、産業・企業経済、国際経済の4コースのいずれかに属し、専門性を深めていきます。50以上ある少人数授業(経済学演習)は、特定の教員の指導のもと、さまざまな活動に取り組んでおり、経済学部の特長的な学びであると言えるでしょう。そこでは、経済に関する文章・データを正確に読み解く力や仲間と協働する力が必要となります。

このような力を持った学生を求めて、AO入試では、一般入試などでは測りにくい、経済学を学ぶ意欲や多面的な能力を評価しています。経済学部ではAO入試【一般枠】で(自己推薦型)、(グローバルリーダー志向型)、(データサイエンティスト志向型)の3つを設けています。志願者の皆さんは、このガイドブックなどを参考にして、これまでの経験や将来の目標にふさわしい型を選んで応募してください。

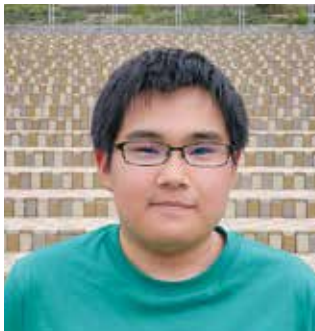
いずれの型でも、第1次選考では「入学志望理由書」や「活動報告書」などをもとに書類選考を行います。これまでの活動実績に加えて、それが経済学部での学びにどのようにつながるのかを適切に伝えることが重要となります。第2次選考では、課題エッセイの作成と面接を実施します。課題エッセイでは、与えられた課題を正確に読み取り、論理的な文章を作成することが求められます。面接では、作成した課題エッセイや社会の出来事に関する質問を的確に理解し、特に自分の言葉で応答することが望まれます。日頃から経済的な問題に関心を持ち、自分の意見を考える習慣をつけておくことが、課題エッセイや面接での評価につながります。

AO入試で入学してくる皆さんが、授業はもちろんのこと、大学生生活のさまざまな場面で中心的存在となって活躍してくれることを期待しています。



経済学部長・教授 榊原 雄一郎

## 合格者からのメッセージ



経済学科  
前川 健人

神奈川県  
私立 桐蔭学園中等教育学校出身  
2026年度 入学生

### 只見線の車窓から見えた未来を経済学の力で現実になりたい

高校時代、福島県のJR只見線を題材とした活動に取り組み、地域資源の経済的価値を高め、持続可能な社会に実装するという課題に強い関心を持ちました。「只見線全国高校生サミット」では会津の自然を活かした観光企画を提案し、現場での実践を重ねてきました。こうした経験から、公共政策の観点で地域課題を分析し、解決策を立案する力の必要性を実感しています。

関西大学経済学部では経済学を体系的に学び、ゼミ活動では地域に直接足を運んで現場の声を聞きながら研究を進めたいと考えています。この学びの姿勢は、これまで大切にしてきた現場主義と合致しています。

さらに将来は地方自治体や関連組織に携わり、持続可能な地域経済の仕組みを構築することが目標です。経済学の知識とこれまでの経験をかけ合わせ、地域社会の活力向上に貢献したいです。

### AO入試の際に役立った、高校での経験はありますか？

高校時代に鉄道研究会で災害復旧を果たしたJR只見線の復興支援活動に携わったことをきっかけに、地方創生に関心を持ちました。只見線の利活用案を提案する「只見線サミット」に参加し、課題発見から解決策を実行するまでを行う力を培ったことが、自らの考えを論理的に表現するうえで大きな支えとなりました。

### AO入試の受験を考えている受験生へのメッセージ・アドバイス

なぜ関西大学経済学部で学びたいのかを深く考えることが、AO入試の準備を進めるうえで大きな助けになりました。これまでの経験と将来の目標を整理し、大学で何を実現したいのかを明確にすることが重要だと感じています。自分に合った対策を重ねることで、当日も前向きに臨むことができると思います。



経済学科  
石橋 なつめ

兵庫県  
私立 須磨学園高等学校出身  
2026年度 入学生

### 理論×実践で学ぶ経済学で社会の仕組みを変えたい

私の夢は、国や人種を超えて協力し合い、より多くの人が公平に機会を得られる社会の実現に貢献することです。昨春「MoGプロジェクト」に参加し、フィリピン・セブ島で伝統工芸品を扱う企業の売上向上と持続的経営の構築に取り組みました。この経験から、課題を正しく分析する重要性や、意見を整理しまとめる力の大切さを学びました。

また観光客の特性や購買動機をデータで把握する必要性を実感し、自らの知識不足や表現力の不十分さを痛感して、経済学を体系的に学ぶ意義を強く自覚しました。

理論と実践を結びつける教育を重視しており、実学教育に力を入れる環境に大きな魅力を感じ、関西大学経済学部を志望しました。将来は多様なフィールドで経済格差の是正に貢献できる人材をめざし、経済学を通じて社会の構造を理解し課題解決へ結びつける力の基盤を築きたいです。

### 第2次選考(面接、小論文、プレゼンテーション等)の対策はどのようにしましたか？

第2次選考では小論文と面接が課されていたため、それぞれの対策に力を入れて取り組みました。小論文では経済問題への理解を深め、限られた時間内で自分の考えを論理的にまとめる練習を重ねました。面接では自分の言葉で落ち着いて伝えることを意識して準備しました。

### 関西大学でチャレンジしてみたいことは？

経済学の理論と実践を結びつけ、自ら課題を見つけ解決に取り組む力を身につけたいと考えています。産官学連携や地域との協働を通じて実社会の課題に触れ、経済学部独自の留学プログラム「GoLDプログラム」に参加して海外の多様な価値観を知り、国際的な視野を広げていきたいです。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

経済学部では、さまざまな分野での活動に積極的に取り組み、その活動と経済学部での学びの結びつきをアピールできる学生を求めています。経済現象に興味や関心を持ち、広い視野と柔軟な創造力で問題解決に取り組む学生、授業やゼミナール(経済学演習)での研究成果を積極的に発表する学生、そして学際的な場面でリーダーシップを発揮する学生を期待しています。

2023年度入試から【一般】枠が、【自己推薦型】、【グローバルリーダー志向型】、【データサイエンティスト志向型】の3つに細分化され、どの型を選択し、何をアピールするかが重要となっています。また、【社会人】枠では、実務経験を有し、明確な目標と学びへの熱意を持った社会人や、生涯学習として高等教育の機会を求める人々を対象としています。

AO入試では、通常の学力試験では十分に見出しにくい志願者の思考力、表現力、リーダーシップを総合的に評価します。特に、経済学を学ぶ際の意欲と適性、そして「問題を発見して思考し、自分の意見を形作り、それを他人に説明する能力」を重視しています。

## 第1次選考(書類選考)について

### ■ 実施概要

指定された出願書類をもとに、書類選考を実施しました。「活動報告書」、「資料説明票」などによりさまざまな分野での活動、資格、技能を確認し、「入学志望理由書」でそれらの実績が経済学部での学びや将来設計にどのようにつながるのかという視点で、志願者の個性と資質を評価しています。さらに【社会人】枠では、これらに加えて、実社会での経験と経済学部での学びとの関連性も考慮に入れています。

### 🔍 評価ポイント

「入学志望理由書」では、①経済学部を志望した理由、②入学後の学習計画の2点を主として評価しました。これらの内容が明確な論旨で記述されているかどうか、志願者の個性がよく反映された記述となっているかどうか、が求められます。

【自己推薦型】では、経済学部で何を学びたいのか、そこで学んだ知識を将来どのように活用したいのかについて、これまで自身が行ってきたさまざまな活動と関連させながら明確に述べられているかどうかを評価しました。

【グローバルリーダー志向型】では、グローバル社会で活躍するために必要な語学力を、各種外国語資格および検定試験のスコア・グレードで確認しました。また、海外留学や異文化体験などの活動も評価しましたが、こうした活動が経済学部での学びにどのようにつながるのかを重視しています。

【データサイエンティスト志向型】については、2025年度入試での志願はあったものの、2026年度入試での志願はありませんでした。ビジネスの世界でのデータ活用、政策現場でのEBPM(証拠に基づく政策立案)など、経済学分野ではデータサイエンスとの親和性が高いです。今後の志願を期待しています。

【社会人】枠については、2026年度入試での志願はありませんでした。人生100年時代が叫ばれる中、社会人の学び直し「リカレント教育」の重要性が高まっています。これまでの学習体験や実務経験を踏まえ、経済学部での高い学習意欲を持った人物の志願を期待しています。

すべての書類選考では、公平な評価を実施するため、一人の志願者に対して複数の選考委員が評価を担当しています。さらに評価の一貫性を保つため、選考委員が評価全体を見直し、第1次選考の結果を決定しました。

## 第2次選考(課題エッセイと面接)について

### ■ 実施概要

課題エッセイと面接を通じて選考を実施しました。課題エッセイとして、志願者には800字の小論文の作成を求めました。2026年度入試のテーマは、急速に普及している生成AIが雇用に与える影響に関するものでした。志願者には、生成AIによって悪影響を受けやすい業種・職種、悪影響を受けにくい業種・職種、生成AIが今後の日本の労働市場に与える影響を整理した上で、雇用への悪影響を減らす政策についての自らの見解を問いました。面接では、第1次選考の出願書類と課題エッセイをもとに、志願者の思考力や表現力を確認しました。



### 評価ポイント

#### 1. 課題エッセイ

課題エッセイの評価に際しては、課題の理解度や主張の説得性を重視しました。具体的には、①エッセイの構成が適当であるか、基本的な論述の方法が守られているか、②提示されたテーマや経済に関する基礎的な知識があるか、③課題の意図を適切に汲み取った上で独自の観点から一貫した主張を展開しているかの3点を評価の基準としました。

#### 2. 面接

面接では、出願書類と課題エッセイをもとに、質問への理解度、回答の正確さ、コミュニケーション能力について評価しました。入学志望理由書に記載されたさまざまな活動に関する実績や志望理由、課題エッセイに関する理解や意見を、志願者自身の言葉で適切に表現する能力を重視しました。

課題エッセイと面接の評価は、第1次選考と同様、一人の志願者に対して複数の選考委員が担当しました。そして、全選考委員で全体の調整を行った上で、可否の最終結果を決定しました。

### ☎ 選考委員のコメント

経済学部AO入試では、志願者の経済学への関心や論理的な思考力のみならず、学ぶ意欲や入学後のリーダーシップにも大きな期待を寄せています。このような背景から、経済学部での学生生活と将来像のつながりに整合性が求められ、コミュニケーション能力に優れていて、自らの意見を明確に伝えることのできる志願者が特に高く評価されます。

第1次選考(書類選考)では、これまでの活動実績、各種資格や検定試験のスコア・グレードだけでなく、それらが今後の学習計画や将来設計にどのようにつながるかを明確にすることも重要です。

第2次選考(課題エッセイと面接)では、基本的な文章作成能力やコミュニケーション能力が求められます。ニュースなどから社会問題に対する関心を深めるとともに、メディアやSNS等で見聞きした情報を鵜呑みにせず、問題の背景を自分なりに調べて理解することが不可欠です。また、面接では入学志望理由書や活動実績の内容に基づいた自己アピールも必要ですが、想定外の質問に対して自身の言葉で的確に回答することも重要であることを意識してもらいたいです。

## ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)		募集人員	第1次選考		第2次選考	
				志願者	合格者	合格者	
経済学部	経済学科	一般	自己推薦型	10	37	16	10
			グローバルリーダー志向型		34	15	5
			データサイエンティスト志向型		0	0	0
		社会人	0		0	0	
	計			71	31	15	

# 商学部

5つの専修、4つの教育プログラム、  
ハードとソフトの両面からビジネスリーダーを育成。

商学部では、「品格ある柔軟なビジネスリーダーの育成」を理念として、社会経済や企業経営に関する理論的・実践的な知識を授けることによって、産業界でリーダーとして活躍できる人材を育成することをめざしています。学生は、将来のキャリアビジョンを見据えながら、「マーケティング」、「ファイナンス」、「国際ビジネス」、「マネジメント」、および「会計」の5つの専修(※1)からひとつを選択し、自身が希望する職業に直結するような研究を行います。

(※1 商学部では、2027年度入学生より「流通専修」を「マーケティング専修」に改編します。)

プロフェッショナルなビジネスリーダーを育成するために、次の4つの教育プログラム(※2)を実施しています。

(※2 2026年4月より教育プログラムの内容を一部刷新しています。)

アントレプレナーシップ リーダーシップ特別プログラム(ELSP)では、新価値を創造する力やそのために周囲を巻き込みマネジメントするリーダーシップが必要となります。会計連携特別プログラム(ALSP)では、公認会計士を主とする会計プロフェッショナルを養成するために、会計専門大学院と連携し、資格取得に向けて効果的なカリキュラムを提供しています。マーケティング・サイエンス特別プログラム(MsAP)では、データサイエンス・AI・神経科学の融合を特徴とし、特に生成AIとデータサイエンスに重点を置きマーケティング力を身につけます。海外ビジネス英語プログラム(BestA)は、ビジネス英語に特化したプログラムで、教室での学習だけでなく、イギリスのビジネスの現場を実際に体験する機会を設けています。

商学部の2027年度AO入試の出願には、「日商簿記検定試験、TOEIC®・TOEFL®、応用情報技術者試験など社会的に広く認知された試験において一定の水準に達した者」「全国レベルのビジネス関連のコンペティションで優勝または準優勝した者」あるいは「国際バカロレア資格(フルディプロマ)を日本語DP実施校において取得した者または取得見込みの者」のいずれかであることが必要です。加えてAO入試では、これまで志願者が培ってきた簿記、会計、語学、情報処理、ビジネス・プランニングなどの能力を生かし、大学で何をどのように学ぶのかについて、出願書類および面接を通じてアピールすることが大切です。

商学部では、積極的にビジネスを学び、そして、未来のビジネスリーダーをめざす志願者を求めています。



商学部教授 李振

## 合格者からのメッセージ



商学科  
立川 凜  
京都府  
私立 京都外大西高等学校出身  
2026年度 入学生

### 一億二千万人の「働きたい」に応える商学を学びたい

将来、難民が社会の一員として働ける環境をビジネスで実現したいと考え、実践的に学べる関西大学商学部を志望しました。その原点は、模擬国連で難民問題と向き合い、世界に一億二千万人以上の難民が存在し、支援が十分に届かない現実を知ったことです。

難民問題を学んでいく中で、私は難民とともに取り組むビジネスこそが自立につながると考えました。その時、ウガンダでシアバターを生産・販売するプロジェクトを知り、こうしたビジネスは商品の認知が不十分であることが多く、PRと同時に背景にある難民問題を消費者に伝える必要があると感じました。

そのため英語でビジネスを学び、海外でプレゼンテーションに挑戦できる「BLSPプログラム」に強く惹かれました。将来は難民の文化や地域資源を生かした持続可能なビジネスを立ち上げ、難民自身が価値を生み出し自立できる環境を作ることをめざします。

### 出願書類を作成するうえで工夫した点や苦労した点は？

私は志望理由書の作成に最も時間をかけました。限られた字数で関西大学商学部でなければならぬ理由を伝えるため、高校の先生の添削を受けながら何度も書き直しました。図やメモで構成を整理し、これまでの経験と今後学びたいことを具体的に示すことを意識しました。

### AO入試要項・ガイドブックや大学ウェブサイト等をどのように活用しましたか？

大学ウェブサイトで商学部のカリキュラムや特色あるプログラムを調べ、入学後、自分が何を学びたいのかを具体的に考えました。AO入試要項・ガイドブックを活用し、先輩方のアドバイスや、関西大学が求める学生像を整理し、その内容を志望理由書の作成や面接対策に生かしました。



商学科  
森 冠成  
大阪府  
府立 八尾北高等学校出身  
2026年度 入学生

### 二つの国で育った私、世界の経済と貿易をつなぐ人材へ

私は幼少期から日本と中国で過ごし、異なる文化の中で価値観がどう形成されるかを実感してきました。また日中双方の生活を通じ、中国企業の成長が日本の競争環境を変えていると知り、経済や貿易の仕組みを理解する必要性を感じました。高校では多文化共生を目的とする「オアシス部」で部長を務め、多国籍の部員の意見を丁寧に聞き、全員が納得できる形に調整しながら活動を進めました。また大阪国際交流センターで外国人生徒の日本語学習を支援するボランティアに参加し、相手に寄り添い根気強く支える責任感を学びました。

私は国際的な視野から経済や貿易を学び、国際社会の架け橋となる人材へ成長したいと考え、関西大学商学部を志望しました。文化や価値観を理解するための架け橋である言語も学びつつ、国際ビジネスを支えられる人材をめざします。

### 第2次選考(面接、小論文、プレゼンテーション等)の対策はどのようにしましたか？

第2次選考の面接に向け、志望理由書をもとに関西大学商学部で学びたいことや将来の目標を自分の言葉で話せるよう準備しました。想定される質問への対策や模擬面接を重ね、結論から話す姿勢や言葉遣いを意識することで、本番では落ち着いて受け答えができました。

### AO入試を受験して得たことは？

AO入試を通して、自分の考えを言語化し相手に伝える力が大きく成長しました。志望理由書の作成や面接準備を重ねる中で、将来の目標や学びたい内容が具体的に整理でき、自分自身の経験を商学部での学びにつなげて考える力が身につきました。結果だけでなく、この過程で自己分析を深められたことが大きな収穫であり、入学後の学びにも必ず生かせると感じています。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

商学部では「品格ある柔軟なビジネスリーダーの育成」という学部教育理念のもと、特色のある学部カリキュラムを設定し教育を行っています(学部カリキュラムの詳細は商学部が発行しているパンフレットや商学部のホームページを参照してください)。

AO入試では、一般入試では測ることができない優れた能力を有する者(起業に具体的な関心をもつ者、資格取得で大きな成果をあげた者、外国での勉強経験のある個性的で国際感覚の豊かな者など)の中で、商学部での勉学を強く希望する人材を求めています。

入試要項に記載されているように、志願者より提出された出願書類による書類選考(第1次選考)と面接(第2次選考)によって選考し、合格者を決定しています。詳細な出願基準の例示等についてはAO入試要項「学部で特に定める基準」をよくお読みください。

なお、商学部ではスポーツにおける優秀な能力を有する者はSF(スポーツ・フロンティア)入試においてのみ選考の対象としており、AO入試においてスポーツにおける優秀な能力を有する者は対象としていない、という点にご留意願います。

### 第1次選考(書類選考)について

#### ■ 実施概要

志願者の高校在学中に積み重ねられた実績や資格取得などが入学後、どのように商学部での学問に結びつくのかという視点から、志願者より提出された出願書類による書類選考を行います。出願には、次の書類選考のポイントの(1)・(2)・(3)の基準のうちいずれかの要件を満たしている必要があります。

#### 書類選考のポイント

##### (1) ビジネスプラン・コンペティションで優れた実績をあげた者

関西大学ビジネスプラン・コンペティション(KUBIC)に出場し、本選会に出場する資格を得た者、もしくはKUBIC以外の全国レベルのビジネスプラン・コンペティションで優勝または準優勝した者がこれに該当します。ただし、ビジネスプラン・コンペティションに団体で参加した場合は、リーダーとしての役割を果たした者に限ります。

##### (2) 高度な資格を持つ者

TOEIC®、TOEFL®、実用英語技能検定、GTEC、日商簿記検定、独立行政法人情報処理推進機構応用情報技術者試験、実用数学技能検定など社会的に広く認知された資格で一定の水準に達した者がこれに該当します。また、これら以外であまり知られていない資格などについても該当する場合がありますので、詳細は入試要項「学部で特に定める基準」をよくお読みください。

##### (3) 国際バカロレア資格取得者

国際バカロレア資格(フルディプロマ)を日本語DP実施校において取得した者または2026年3月31日までに取得見込みの者が該当します。

### 第2次選考(面接等)について

#### ■ 実施概要

(1)ビジネスプラン・コンペティションで優れた実績をあげた者、(2)高度な資格を持つ者、(3)国際バカロレア資格取得者ともに面接による選考を行います。

#### 面接のポイント

面接は、書類選考だけでは分からない志願者の人物を見るために行います。したがって、面接においては、①AO入試の合格者に値する自らの能力の高さ、②ビジネスプランや資格試験の実績または海外での学習経験、③関西大学商学部で勉学しようとする意志の強さなどを口頭でしっかり表現できることが重要となります。

また、出願資格となっている実績が、グループもしくは団体など複数の参加者によって得られた場合は、志願者個人の貢献度や役割の重要度などを明確に答えてください。

#### 合格者の傾向

AO入試では、商学部で勉学していくにあたり必要となってくる志願者の適性や将来の可能性を審査しています。ビジネスプラン・コンペティションで優れた実績をあげた者や難易度の高い資格を取得した者で、かつ面接の場における質疑応答において自己表現力やコミュニケーション能力の高さを示すことができ、バイタリティやリーダーシップがあると考えられる志願者や、関西大学商学部での勉学を強く希望することをこれまでの実績や高度な資格と関連付けて、具体性をもって明確に意思表示できる志願者より高く評価される傾向にあります。

### ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)		募集人員	第1次選考		第2次選考
				志願者	合格者	合格者
商学部	商学科	ビジネスプラン実績	5	3	2	1
		高度な資格		19	11	9
		国際バカロレア資格(日本語DP)		1	1	1
	計		23	14	11	

# 社会学部

好奇心に溢れ、熱意に満ちた人をお待ちしています。

社会学部は、社会学専攻、心理学専攻、メディア専攻、社会システムデザイン専攻の4つの専攻からなり、人間と社会に関するさまざまな問題を探究しています。各専攻には専門科目や実習科目、プログラムがあり、上位年次では各教員のゼミに所属し、それぞれの専門分野を学びます。AO入試で求める人物像は「社会学部で学ぶことで、自分のやりたいことを追求できる人」「他の学生と積極的にコミュニケーションをとり、周りに良い刺激を与えてくれる人」です。

第1次選考では、「入学志望理由書」や「専攻別課題レポート」などをもとに書類選考を行います。中学・高校時代の活動実績や成績に加え、きちんと文章で自分を表現できているかが判断材料となります。「ぜひ会って話を聞いてみたい」と思わせることがポイントです。そのためには、これまでの自分の経験をどのように活かそうと思っているのかに関して、入学後のビジョンを持っていることが大切です。提出書類については入試要項を熟読し、対策を行ってください。

第2次選考では、書類選考の通過者に対し、複数名の教員が実際に会って面接を行います。初対面の教員と向き合うだけで、緊張してしまうかもしれません。しかし、丸暗記してきたことをただ話すだけでは面接員に思いは伝わりません。きちんと「自分の言葉」で、いままでの経験をもとに社会学部に入って何がしたいのかを伝える必要があります。そのためには、やはり、日頃からきちんと学部や専攻のことを調べ、これまでの自分の活動経験との接点を探り、入学してやりたいことを明確にしておく必要があります。面接ではあなたの「熱意」をぜひ直接面接員にぶつけてみてください。

社会学部では約60名の教員が所属しています。さまざまな専門領域を深化させながら、日々、人間と社会について研究しています。社会学部のホームページを見るだけでなく、オープンキャンパスなどにも積極的に参加し、そこで教員や在学生にどんどん質問してみてください。社会学部に活力を与えてくれる方の出願をお待ちしています。



社会学部長・教授 関口 理久子

## 合格者からのメッセージ



社会学科 社会学専攻  
手嶋 愛理

大阪府  
私立 大阪高等学校出身  
2026年度 入学生

### 触れ合いで芽生えた問いを関西大学社会学部で解き明かす

高校時代に京都大学と連携し、先端科学を社会に身近に伝えるNプロジェクトに取り組みました。スケッチブックを用いた手法で来場者との双方向的な関係を築き、大阪・関西万博プレイベントでは大学や研究機関が並ぶ中、私たち高校生の発表に多くの方が足を止めてくださいました。

この経験から、人々の関心や反応の背景を探究する社会学に興味を持ちました。関西大学のオープンキャンパスで社会学部の古川誠准教授を訪ね、現地調査を通じて人々の生活や心情まで丁寧に理解する研究姿勢が、Nプロジェクトでの経験と通じると感じました。

関西大学社会学部で社会調査士の資格を取得し、見えにくい声を可視化する力を身につけ、フィールドワークや聞き取り調査で得られるデータを分析し、人々の行動の背景を多角的に理解する力を培うことをめざします。

### AO入試の際に役立った、高校での経験はありますか？

文理を問わず科学を学び発信するNプロジェクトに参加したことです。その活動の一環として、大阪・関西万博で発表した際、人に伝えることの難しさと楽しさを学ぶとともに、専門知識の少ない高校生の発表に人が惹きつけられる理由に関心を持ち、社会学に興味を抱くようになりました。これらの経験は主体性や表現力向上にもつながりました。

### AO入試要項・ガイドブックや大学ウェブサイト等をどのように活用しましたか？

AO入試要項・ガイドブック、大学ウェブサイト、学部パンフレットなどを読み込み、関西大学社会学部が求める学生像への理解を深め、志望理由書や面接で強調すべき点を明確にしました。アドミッション・ポリシーと自分自身の経験を結びつけて考え、暗記ではなく自分の言葉で伝えることを意識しました。資料は印刷して整理するなど、自分なりに工夫して活用しました。



社会学科 社会システムデザイン専攻  
谷 結人

大阪府  
府立 富田林高等学校出身  
2026年度 入学生

### 自分を育ててくれた愛着ある地域に、社会学で貢献したい

次世代が地域を大切にしようと思えるコミュニティづくりや地域活性化について、人々の暮らしを軸に研究を深めたいという思いから、関西大学社会学部への入学を志望しました。

私は大阪府の南河内地域で、コミュニティ・スクール制度のもとで学び、地域への強い愛着を持つようになりました。中学・高校ではアントレプレナー型のCS制度を通じて「グローバル・リーダー」をめざし、高校では地元特産のぶどうを用いた飲むゼリーを地元企業と開発・販売する模擬企業を立ち上げ、特産物を活用した地域活性化に取り組みました。

また文部科学省主催のCS制度化20周年記念フォーラムに代表生徒として登壇し、学びを深める機会も得ました。こうした経験を通じ、若い世代こそコミュニティの希薄化や地域愛の衰退といった課題に向き合うべきだと考えています。

### 所属学部(学科・専攻)を志望したきっかけは？

高校1年時に参加したオープンキャンパスにて、社会学部社会システムデザイン専攻の学びが、社会を多角的に捉え、実践につながるという魅力を感じました。その後、ビジネスコンクールやパネルディスカッションへの参加を通して学びたい内容を深堀りしたところ、「次世代が地域を大切にしようと思えるコミュニティづくりと地域活性化について研究したい」と考えるようになりました。

### AO入試の受験を考えている受験生へのメッセージ・アドバイス

高校生活で力を入れてきたことや、大学で研究したいテーマが明確にある人には、ぜひAO入試に挑戦してほしいと思います。選考を通して自分を見つめ直す機会が多く得られます。一般入試対策と並行しての準備は大変ですが、その過程自体が大きな成長につながります。自分を信じて取り組んでください。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

## 【AO入試のポイント】

AO入試は、書類選考や面接を通じて、一般入試等では見出しにくい受験生の多面的な能力、意欲および個性を総合的に評価する入学試験制度です。人間と社会について独自の探究心をもち、さまざまな将来の選択肢を考え、社会学部の教育を受けるにふさわしい基礎学力をもち、出願資格を満たしていれば、自らの意志で出願できます。社会学部がAO入試で求めるのは、広い視野や柔軟な思考力、個性あふれる創造力を備え、それらを本学の学びの中で、さらに高めたいという積極的な意志をもった受験生です。また、SF入試など、他の各種入試と異なるAO入試の趣旨を十分に理解して応募することも期待されます。

選考においては、高校までの学力、活動内容やその成果だけでなく、そこで培われた能力、意欲、個性などが「社会学部の求める学生像」とどのように結びつくかを総合的に評価します。将来、皆さんがめざしているもの、そのために社会学部で学びたいことを具体的かつ明確に考えて、これまでの活動や実績などを的確にアピールできることが大切です。

## 第1次選考(書類選考)について

## ■ 実施概要

まず、評定平均値の基準を満たしているかを確認します。次に、何らかの活動実績や賞・資格などについての賞状や証明書等、および「専攻別課題レポート※」といった出願書類が適切に備えられているかを確認します。当然ながら「調査書」の記載事項から、大学での教育を受けるに必要な基礎学力を有しているかもあわせて確認します。

※心理学専攻を除く専攻で提出が必要。

## 評価ポイント

活動実績や資格・技能などが、志望理由や専攻での勉学と結びついているかを検討し、それらが「入学志望理由書」で説得力をもって明確に述べられているかを評価します。「専攻別課題レポート」では、基本的な文章力を有しており、与えられた課題について調査・分析をし、自分なりの考えや着想がレポートに盛り込まれているかを評価します。これらを総合的に評価し、慎重に可否の判定を行います。専攻ごとの評価ポイントは下記のとおりです。

## 【社会学専攻】

「入学志望理由書」では、なぜ社会学に関心をもったのか、それはこれまでの自分の経験とどのような関わりをもっているのか、また、大学に入学してからの学習に具体的な目標をもっているのかなどを中心に評価しています。「専攻別課題レポート」に関しては、取り上げたニュースを的確に要約できているか、分析的に考えることができているか、また文献をきちんと読んで考察できているか、誤字、脱字はないか、文章の論理構成はきちんとしているかなどを評価します。活動実績や高校時代の成績等からは、大学に入学して、他の学生と積極的にコミュニケーションをはかり、よい意味での刺激となる存在になれる人物かどうかを評価します。

## 【心理学専攻】

「入学志望理由書」をもとに書類選考を行っています。提出された出願書類のなかには、自分の体験を長々と記述するだけのものや、出来事を羅列しているだけのものがあります。しかし、体験や出来事そのものを評価することはありません。そのような経験から何を学んで、それを今後の心理学の学びにどう活かせるのかといったことを強調すると、高く評価されます。たとえば、資格を取得したことを述べる場合も、なぜその資格を取ったのか、その資格で何がしたいのかを中心に記述することが大切です。また、形式面では誤字、脱字や助詞の用法の誤りがなく、字数が大幅に下回っていない、適切な文章表現で書けているなど、よく推敲された完成度の高い文章が高い評価を得るポイントとなります。

## 【メディア専攻】

審査にあたって次の3点を重視します。①本専攻の教育方針・特色を十分に理解し、積極的に学ぶ意志があること。②独創的・特徴的な活動で傑出した業績を上げていること。③これらの活動で得た知識・経験を活かして、入学後リーダーシップを発揮できること。

したがって、入学後に何を学びたいのかをできるだけ具体的に説明するとともに、自身の活動実績を「メディア専攻での学び」にどう活かそうと考えているのかを説得力を持って説明することが重要です。

そのためには、例えば活動分野における全国大会などの結果や、専門家や公的機関による評価、あるいはそれらに準じる資料(新聞記事などメディアでの評価)などをエビデンスとして示すことを推奨します。

## 【社会システムデザイン専攻】

本専攻のカリキュラムを理解したうえで、高校時代の経験を入学後に自分が本気で取り組みたいことと結びつけることができているかに着目して選考します。そのためにはまず、出願資格に相当する経験・能力等を書類で証明する必要がありますが、例年、「出願資格を証明する資料」について客観性や説得力の弱い例も見られます。「専攻別課題レポート」については既存の資料をつなぎ合わせて列挙しただけのような例もありますが、課題に応えるために積極的に調査を行ったものや、資料や文献を調べて学んだこと、その学んだ内容に対して、特別な経験をした、あるいは特別な能力をもつあなただからこそ考えて書けることが両方ともバランスよく論理的に表現されているものを高く評価します。

## 第2次選考(面接等)について

### ■ 実施概要

面接(口頭試問を含む)は、3名の面接員により30分程度行います。ここでは、受験生のコミュニケーション能力を確認しながら、第1次選考(書類選考)の出願書類に記載されていることや記述されていることなどについて、いくつかの質問を行います。



### 評価ポイント

志望理由、志望する専攻の学習内容の理解、これまでの経験と入学後の学習の関連性、将来の明確な目標などについて質問を行い、それらを自分の言葉で説明でき、意見を述べるができるかを評価します。面接員からの質問に対する回答の内容や示し方などの評価を総合し、複数の面接員が慎重に合否判定を行います。

体験や実績を初対面の面接員に伝えるには、事実に基づいた説明が重要です。自分自身では個性的であると思う体験も、面接員にその重要性や意味を的確に伝えられるかどうかが問われます。丸暗記してきたことを機械のように話し、面接員の質問や確認に適切に答えられない場合は、コミュニケーション能力の不足、基礎学力不足と評価される一因となります。話す内容や説明の仕方を十分に練り上げて、広い視野や柔軟な思考力、個性あふれる創造力を限られた時間の中で適切に示した受験生が評価されることとなります。

社会学部のAO入試は、専攻別の出願となります。したがって、志望理由で重要なことは、「社会学部で何を学びたいか」だけでなく、「志望する専攻で具体的に何を学びたいか」が明確であることです。そのためには、志望する専攻の特色を十分に理解しておくことが大切です。その理解が不十分な場合は、その専攻に入学したいという意欲が十分に認められないと判断されることになります。社会学部のホームページやオープンキャンパスなどを活用して、積極的に情報を得ることが大切です。専攻ごとの評価ポイントは下記のとおりです。

#### 【社会学専攻】

受験生は本専攻のカリキュラムを理解した上で、どのような知識や技法を身につけたいのかを、自分の経験と将来目標とに関係つけて説明できることが重要です。「活動報告書」に書かれた実績に関しては、率先して考え、発言し、行動に移せる人間であることを示しているかどうかを評価のポイントとしています。また、「入学志望理由書」や「専攻別課題レポート」に関連して、その場で問題を設定し、意見を交わすこともあります。その受け答えによって、人の話を聞いて理解する力や自分で考える力、公的な場でのコミュニケーション能力、そして専攻での学習意欲の高さを判断します。

#### 【心理学専攻】

活動実績についての説明、心理学を学びたい理由、関西大学でどのようなことを学びたいか、将来の進路などを中心に質問を行います。一般的、形式的な答えに終始する受験生もみられますが、そうではなく、その人らしい具体性のある答えが必要です。AO入試では他の学生の刺激となるような学生、本当に心理学を学びたいという人一倍熱意のある学生を求めています。したがって、心理学の中でも特にどのようなことを学びたいか、ということなども具体的に自分のことばで説明できることが望まれます。

#### 【メディア専攻】

思考力と論理性を審査するために「小論文」と「面接」を実施します。「小論文」では、日ごろから新聞を読み、テレビのニュースを見て、気になるテーマについて図書館やインターネットで調べた上で、時事テーマについて自らの考えを論理的な一貫性をもって論じることを期待します。また「面接」では第1次選考の書類をもとに、本専攻のカリキュラムに対する理解、具体的に何を学びたいか、卒業後の希望などについて質問します。高校までの活動実績から何を学んだのかを自分の言葉で語ること、その「得たこと」を関西大学での勉学において「いかに活かそうとしているのか」について積極的に伝えること、が求められます。

#### 【社会システムデザイン専攻】

面接においては、第1次選考の書類では捉えきれなかった部分について深く尋ねていきます。高校時代に行ってきた活動や経験について、書類だけでは明確に分からない部分はどうしても出てくるためです。また、ここでは、自らの経験や自分が考えたことについて、自分自身の言葉できちんと説得力を持って語れるか、という点についても重視しています。多様なものの見方がある中から自分の考え方で社会を見つめ、より良い社会や組織のあり方を考えていく本専攻では、その牽引役となる学生をAO入試で求めているからです。

また、質問に対する回答においても、そこに自分の考えが表明されているか、という点を重視しながら面接を行っています。大学で何を志すかはもちろん、高校生活で何をこれまでに成し遂げてきたのかを、自分の言葉で説明できることを評価します。

### ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)	募集人員	第1次選考		第2次選考
			志願者	合格者	合格者
社会学部	社会学専攻	10	12	3	3
	心理学専攻		33	6	3
	メディア専攻		29	8	4
	社会システムデザイン専攻		28	9	6
	計		102	26	16

# 政策創造学部

地元を活性化したい。グローバル社会で活躍したい。  
そうした志のある人に、  
政策のプロをめざしてほしい。

政策創造学部では、多岐にわたる領域を横断的に学び、現代社会の多様な問題を発見・解決する方策と実行する力を養うことを目的としています。本学部には、政策学科と国際アジア学科の2学科が設けられています。両学科では国際関係、政治、経済、経営、法律、地域文化等の社会科学の学習をベースに、少人数で行う専門演習(ゼミナール)を通して、自らの学びや問題への関心を深めていきます。

出願にあたっては、受験生のみならず、自分自身の将来像を明確に定め、それを踏まえて出願資格や社会活動をアピールしてもらうこと、社会経済の問題をテーマにした小論文を提出していただきます。本学部では、学部の方針に沿った勉学の意欲がある学生を求めています。そのため、単に「資格がある」、「全国レベルで活躍した」ということを述べるだけでは十分とはいえません。これまでの経験や、経験を通じて学んだことを生かして、将来何をしたいかを明確に主張することが必要です。さらにその将来の夢を実現するために、本学部でどんなことを学びたいのかを、入学志望理由書には、具体的に論述してください。

近年、日本では人口減少社会の到来とそれに伴う地域経済の衰退が深刻な問題となっています。また、国際社会では、相次ぐ国際紛争やそれに伴う難民問題などが大きくクローズアップされています。本学部は、こうした問題解決に取り組むべく、教員スタッフがみなさんと一緒に考えていきます。

本学部は、地域や国際社会で貢献することをめざす高い意欲をもったみなさんの挑戦をお待ちしています。



政策創造学部教授 今井 希

## 合格者からのメッセージ



政策学科  
福井 芯之介  
愛知県  
私立 愛知工業大学名電高等学校出身  
2026年度 入学生

### 関西大学での多角的な学びを力に、社会を動かす政策を創る

高校でアナリストとして野球部に所属し、計測データをもとに各選手の指導法を工夫して、甲子園出場に貢献しました。この経験から、データの伝え方や活用次第で相手の理解度や行動が大きく変わることを学びました。

また高校2年時にはリクルート社主催の「高校生Ring」に挑戦し、身近な課題からビジネスプランを立案して全国32,244人の中からファイナリストに選出されました。

これらの経験を通じ、課題発見と解決に強いやりがいを感じる一方、経済や経営の視点だけでは偏りが生じることも痛感しました。そのため、法学や国際関係学など多分野を横断的に学び、データに基づく政策立案で社会に貢献する力を身につけたいと考えて、関西大学政策創造学部を志望しました。将来はデータを活用して社会課題を多角的に解決できる人材になりたいです。

#### 出願書類を作成するうえで工夫した点や苦労した点は？

出願書類の作成では、これまでの実績を整理し、それらが入試方式や志望学部とどのように関わるのかを意識しました。成果の大きさだけでなく、その経験を関西大学でどう生かしたいかを考えながら内容を構成し、周囲の意見も取り入れつつ何度もブラッシュアップを重ねました。

#### AO入試の際に役立った、高校での経験はありますか？

高校生活では、探究活動に力を入れました。探究活動を通して、大勢の前でプレゼンテーションを行う機会が多くあり、どのような表現であればわかりやすく、熱意を伝えることができるのかを深く考えて実践してきた経験が、面接の際に発揮できたと感じています。



国際アジア学科  
弓場 菜乃佳  
大阪府  
私立 追手門学院大手前高等学校出身  
2026年度 入学生

### 子どもたちの未来が輝き、可能性が広がる明日をデザインしたい

高校2年時の夏に参加したネパールへの海外研修で、貧困により十分な教育を受けられず孤児院に預けられた兄弟に出会い、教育格差が家族の分離や夢の断念を引き起こす現実を目の当たりにしました。さらにカーブ制度のもとで差別を受ける子どもの「来世はドクターになりたい」という言葉に強い衝撃を受けました。

また、私はチアダンスの全国大会で入賞するという夢を実現した時、夢を描き努力できる環境こそが最も恵まれたものであると気づきました。この経験から、環境によって夢を諦めざるを得ない子どもたちへの強い問題意識が芽生えました。

「生まれた環境によって夢を諦めることがない世界」を実現させたいと考え、関西大学政策創造学部を志望しました。専門知識と広い視野、異文化を尊重し共感する力、協働を導くマネジメント力などを培い、この目標を叶えたいと思います。

#### 所属学部(学科・専攻)を志望したきっかけは？

高校2年時にネパールを訪問した経験から、教育格差の問題に関心を持ちました。多様な要因が絡み合う課題を考えるには分野横断的な学びが必要だと感じ、政策創造学部を志望しました。将来は政策立案を通じて教育格差の是正に貢献したいと考え、アジアを中心に研究できる国際アジア学科を選びました。

#### AO入試の受験を考えている受験生へのメッセージ・アドバイス

AO入試で大切だと感じたのは、自分自身への理解を深めることです。どんな思いを大切に、なぜその研究をしたいのかを言語化し続ける中で、自分の軸が見えてきました。正解のない入試だからこそ悩むことも多いですが、その過程で大きく成長できたと感じています。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

政策創造学部は、社会全般に対する鋭い関心を持ち、これまで養ってきた自己の秀でた能力を使って、問題を発見し、その解決方法を見つけ出すことのできる実行力をもった人を求めています。独自の能力と実行力を駆使して、例えば演習やフィールドワークの場などでリーダーシップを発揮してくれるような人に、ぜひ入学してもらいたいと思います。多様な能力や経験をもった学生の存在は、学部を活性化させる効果があると我々は考えています。それゆえ、さまざまな分野において優れた実績を有する受験生の中から選抜することをAO入試の目的としています。

## 第1次選考(書類選考)について

### ■ 実施概要

複数の選考委員によって書類選考を行い、それぞれの受験生について、合議をしたうえで評価します。



### 評価ポイント

第1次選考の基準は、次のとおりです。

- (1) 地域活動志向型・国際活動志向型・ビジネスリーダー志向型のいずれかに該当する、社会的に高く評価されるような活動を行ってきたか、あるいはそのような資格を有しているか(客観的に証明できる資料が必要です)。
- (2) 政策創造学部の理念や志望学科の教育内容を理解したうえで、ここで学びたいという意志が明確に感じられるか。
- (3) 政策創造学部で教育を受けるために必要な基礎学力を有しているか。

(1)の点については、活動実績や資格を証明できる資料によって評価を行います。一般的に、そして客観的に、活動や資格をどれだけ高く評価できるかが大きなポイントです。それだけでなく、活動のユニークさなども評価の際に考慮します。団体による活動を実績として提出した受験生の中には、受験生個人がそれに対してどれだけ貢献したかがよく分からないケースが見受けられます。個人としての貢献の度合いが具体的に分かるように、自分の役割や目的、行動、そして社会に与えた影響を明記した上で、資料を付けておくことが必要です。

(2)の点については、「入学志望理由書」と「課題小論文」で判断します。その内容とともに、文章の構成力も評価のポイントとなります。学部のホームページや入試パンフレットを見て、とりあえず「作文」を行った、というような入学志望理由書では、高い評価は得られません。政策創造学部の志望学科で学びたいという意志と情熱が、自分の言葉できちんと具体的に表現されていることが重要です。

(3)の点については、調査書で確認します。また、どのように高校生活を過ごしてきたかについても調査書から判断します。

## 第2次選考(面接)について

### ■ 実施概要

複数の面接員によって面接を行います。活動実績および社会全般に対する関心などを中心に質問します。面接員による合議を経て、最終的な評価を行います。



### 評価ポイント

第2次選考(面接)において、評価を行うポイントは以下のとおりです。

- (1) 活動実績についての説明能力およびコミュニケーション能力があるかどうか。
- (2) 社会事象に対して関心を持ち、日頃から十分に考えているかどうか。
- (3) 予想外の質問に対しても、適切に対処できる能力があるかどうか。
- (4) 入学後、政策創造学部で学習していく上でのプランを具体的に描けているかどうか。

### … 面接員のコメント

- 面接で、あらかじめ予想されるような質問にはよどみなく答えるが、予期していなかった質問には何も言えなくなる、あるいは模範解答を暗記してきてそれだけを答え、質問に対しては適切に答えない、といった受験生が見受けられました。このような場合には、当然評価は厳しくなります。日頃からさまざまな事柄に対して関心を持ち、考えをめぐらせておくことが必要です。
- 政策創造学部の志望学科に入学したい理由を具体的に説明できない受験生も見受けられました。まず、政策創造学部の教育方針や学科の特徴をできる限り調査して理解した上で、自分の能力や志望動機が政策創造学部の方針に本当に適合しているかどうかをしっかりと考えるようにしてください。
- 上記コメントと関連しますが、政策創造学部に入學した後、どのようなことを勉強したいのか、またどのような活動に取り組みたいのかという点について、具体的に説明できない受験生が見受けられました。自分の入学後の将来像をしっかりとイメージしてから面接に臨むことが大事です。
- 面接員の質問に適切に答えていない受験生が見受けられました。面接員の質問をしっかりと理解した上で、落ち着いて丁寧に答えることが高い評価につながります。
- AO入試では、本学で本当に学びたいという熱意ある学生を求めています。本学入学後は主体的な行動と具体的な提案力が求められます。自分の言葉で自分の強みと本学への想いを表明することが大切です。

## ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

※2027年度より、出願型(地域活動志向型、国際活動志向型、ビジネスリーダー志向型)の設定を廃止します。

学部	学科(専攻・専修)	募集人員	第1次選考		第2次選考	
			志願者	合格者	合格者	
政策創造学部	政策学科	5	地域活動志向型	16	2	2
			国際活動志向型	5	1	1
			ビジネスリーダー志向型	10	2	2
	国際アジア学科		地域活動志向型	8	2	2
			国際活動志向型	7	2	2
			ビジネスリーダー志向型	6	1	1
	計		52	10	10	

# 外国語学部

外国語を軸として時代と社会に向き合い、  
国際社会で活躍できる人材の育成をめざしています。

外国語学部のカリキュラムは、国内外の様々な企業や国際機関で働くこと、教育機関で研究や教育に従事すること、通訳や翻訳を専門とすることなど、多彩な分野で活躍できる可能性を開きます。2年次には、全員が北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアの大学に1年間留学します(必修)。帰国後は専門プログラムとして、(1)国際協力・地域協力、(2)外国語教育、(3)エリア・スタディーズ、(4)異文化コミュニケーション、(5)通訳翻訳の5つの分野を学びます。さらに、データ・サイエンスを学ぶ科目群も充実しています。主専攻言語の英語、中国語、日本語以外に選択できる外国語には、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語、英語があり、英語を主専攻とする学生は、英語以外の言語が話される国・地域の大学に留学して、現地の言語を学びつつ、大学での授業は英語で履修する、二言語習得留学プログラム(クロス留学)も用意されています。AO入試志願者の皆さんには、志願理由と将来設計を、本学部のカリキュラム、プログラム内容と結びつけて、将来像を描いていただきたいと願っています。2つの外国語を学ぶ留学を志願する人、5つの専門プログラムを将来計画に生かそうとする人、外国語教育研究や教員になることを志す人など、自分の将来像を明確に描き、確固たる学習動機と具体的な計画を持つことが、あなたの大学生活を一層有意義にします。

私たちが選考のプロセスで注目するのは、(1)高等学校までの学習内容の理解を基盤に、思考力・判断力および表現力(日本語・英語)を身につけているのか、(2)外国語学部のカリキュラムで何を学びたいのか、そして、(3)その学びを自分の将来にどのように生かしたいのか、を明確に表現できるという点です。将来を見据えてAO入試で合格を勝ち取ったあかつきには、ひと足早次の目標に向かってさまざまな準備を進めることができます。描いた将来像を実現させることをめざして外国語学部のAO入試に挑戦してください。

※スタディ・アブロード・プログラムについて、感染症や自然災害、政情、相手国・地域や提携校の事情などにより、実施できない場合があります。その場合は代替手段が講じられます。また、本人の国籍(中国語主専攻においては保護者のいずれかが日本国籍でない場合も含む)によっては相手国の事情により、入学許可やビザ発給等が困難な場合もあります。この場合は次善の国・地域への留学となります。



外国語学部長・教授 今井 裕之

## 合格者からのメッセージ



外国語学科

小森 裕美子

大阪府

府立 山田高等学校出身

2026年度 入学生

### 言葉の力で未来を拓く 日韓をつなぐグローバルな観光の旗手へ

小学生の頃から韓国の文化に強い関心を持っていましたが、高校1年時の冬、偶然仲良くなった韓国人留学生と交流する中で、韓国への関心がさらに深まりました。韓国側の視点から日韓の歴史的背景を学び、日韓関係のあるべき姿を考えたいという目標ができました。

関西大学外国語学部は、外国語研究分野で国内トップクラスであり、クロス留学プログラムを通じて韓国外国語大学へ約1年間留学できることから志望しました。もともと語学に興味があり実用英語技能検定2級に合格しているので、将来は英語を駆使し、観光を通じて社会に貢献したいという思いを抱いています。

将来は外国語運用能力と関西大学外国語学部での学びを生かして韓国人を中心とした訪日客の多いホテルで朝鮮語・英語・日本語を用いて働き、「観光」を通じて日本と韓国の架け橋となる人材に成長したいです。

### 出願書類を作成するうえで工夫した点や苦労した点は？

私は留学経験がありませんでしたが、「海外で多くの人と交流することで人生がより豊かになる」と考え、憧れていました。そのため、志望理由書には海外や留学を希望する国への興味関心を、将来設計書には大学での授業計画や卒業後のキャリアを具体的に記入しました。また、英語+1言語を同時に学ぶ「クロス留学制度」に魅力を感じたため、その想いを伝えることを意識しました。

### 第2次選考(面接、小論文、プレゼンテーション等)の対策はどのようにしましたか？

小論文では批判的・多角的な視点を取り入れることを意識しました。面接では、事前に留学希望国と日本の関係性や、抱えている国際問題などについて調べ、留学した先での学習姿勢と、留学後の研究への心構えを伝えられるように準備しました。



外国語学科

山田 くるみ

兵庫県

私立 親和女子高等学校出身

2026年度 入学生

### 翻訳機を超えた感動を 自分の言葉で日中の文化を鮮やかに結びたい

私はサブカルチャーを通じて、日本と中国の相互理解を深められる翻訳家をめざしています。その理由は、第一に中学生の頃に知ったあるゲームによって、中国文化に根差した世界観や儒教的価値観に魅了されたことです。第二に半年間の台湾留学で、アニメやゲームの話題を通じ国籍を超えて現地の方々とながれたことです。これらの体験により、サブカルチャーは日中の架け橋になると確信しました。

一方で自身の中国語力の未熟さも痛感し、翻訳機に頼らず理解できる力を身につけたいと強く思いました。そこで高い外国語運用能力と異文化理解を身につけられる関西大学外国語学部を志望しました。

中国留学で現地の文化的背景を理解しつつ翻訳学の専門知識を学び、将来は中国のサブカルチャー企業で、原作の魅力を損なわず日本語へ転換できる翻訳家になりたいです。

### AO入試を受験して得たことは？

AO入試を受験したことで、自分の考えを論理的に整理し、言語化する力が身につきました。志望理由・これまでの経験・将来の目標を順序立てて整理する過程で、自分が何を大切に、どう成長したいのかを深く見つめ直す機会となりました。また、課題図書の内容を繰り返すことで、自分の視点を持つことが重要だと気づくことができました。

### AO入試の受験を考えている受験生へのメッセージ・アドバイス

AO入試の受験に向けて、普段から様々な事柄に目を向ける姿勢が大切だと思います。多方面にアンテナを張ることで視野が広がり、物事を深く考える力が身につきました。今後、小論文など自分の意見が求められる場面で大きな助けになると思います。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

外国語学部は「外国語」を切り口に時代と社会に向き合い、国際社会のフロントランナーとなりうる人材を育成するという学部の理念に賛同し、本学部での勉学を強く希望する者を受け入れます。外国語学部で何を学びたいか、それを自分の将来にどのように活かしたいかを明確に表現し、自己推薦することが求められます。

外国語学部が入学に求めている人物像は、高等学校での学習内容の理解を基盤に、論理的思考力、および日本語の書く力を身につけた者、そのうえに高度な外国語運用能力を身につけ、外国語をとおして新たな知識を吸収し、国際的な諸問題について理解を深めようとする者です。さらに、さまざまな文化的背景をもった人々を含み、人とコミュニケーションをとりとうとする積極性、環境の変化に柔軟に対応できることも求められます。

外国語学部のAO入試では、「初修言語である中国語の修得に強い意欲をもって学習したい者」、「クロス留学を希望する者」、「英語教員を志望する者」、「日本語教育に深い関心を持つ者」、「学部の5つのプログラムの趣旨を理解したうえでグローバルなキャリアをめざす者」を求めています。

## 第1次選考(書類選考)について

### ■ 実施概要

複数の選考委員によって書類選考を行い、それぞれの受験生について、合議をしたうえで評価します。



### 評価ポイント

第1次選考(書類選考)において、評価を行うポイントは以下のとおりです。

- (1) 高等学校での教科内容の十分な理解を基盤に、論理的に考える力および日本語を書く力をもっているかを判断します。
- (2) 外国語学部が定めるAO入試の要件である、高等学校もしくは中等教育学校における全体の評定平均値並びに「英語に関する科目」(B〔クロス留学〕・C〔英語教員〕・D〔日本語教育〕・E〔グローバルキャリア〕出願の場合)、「英語」および「国語」(A〔中国語〕出願の場合)の評定平均値の基準を満たしているかどうかを確認します。外国の教育機関で教育を受けた受験者については、当該機関からの成績証明書、教科内容、担当教員のコメントなどを参考とします。
- (3) 主専攻言語が英語となる受験者(B〔クロス留学〕・C〔英語教員〕・D〔日本語教育〕・E〔グローバルキャリア〕出願者)については、英語関連の高度な資格を有しているかを確認します。
- (4) 「入学志望理由書」、「将来設計書」、「推薦書」、「課題レポート」(A〔中国語〕出願の場合のみ)などから、受験者が外国語学部の理念や教育内容を理解した上で、外国語学部で学びたいという強い意志があるかどうかを確認します。

### 🗨️ 選考委員のコメント

「入学志望理由書」、「将来設計書」から、志願者が外国語学部で求める学生像に適合しているか、外国語学部での勉学を志望する意欲が高いかなどを判断します。これらの書類では、学部のカリキュラムやプログラムなどをしっかり理解した上で、学習計画や将来目標が立てられているかなどを確認しますが、学部パンフレットやホームページに記載されている内容をそのまま羅列しているにすぎないと思わせるようなものではなく、志願者自らが問題を掘り下げ、自分の言葉で強くアピールする必要があります。特に、クロス留学を希望する受験者は、なぜその地域に留学したいのかという点を明確にしなければなりません。

また、E〔グローバルキャリア〕の出願者には、語学力以上に、外国語学部の5つの専門プログラムでの学びと将来のキャリアとの関連性を論理的に示すことが求められます。最後に、主専攻言語が英語となる受験者は、より高いスコアを報告できるように資格試験に積極的に取り組んでください。

第2次選考(日本語の課題エッセイと面接)について

■ 実施概要

第2次選考実施日に、日本語で作成する「課題エッセイ」と面接を行います。各自の課題エッセイは複数の選考委員が評価します。面接は複数の委員によって各受験生30分程度で行います。「課題エッセイ」と面接結果をもとに、選考委員全員による合議を経て、最終的な評価を行います。

🔍 評価ポイント

第2次選考の課題エッセイにおいて、評価を行うポイントは以下です。

- (1) 与えられた課題の指示に的確に従い、自分の考えを論理的に述べている。
- (2) 自分の意見と他者の意見を明確に区別しながら要約できている。
- (3) 全体の内容が統一されており、適切な情報を記載できている。
- (4) 主張や意見を自分の言葉や経験で説明できている。
- (5) 文体が統一されており、日本語として読みやすい。

第2次選考の面接において、評価を行うポイントは以下です。

- (1) 関西大学の外国語学部で何を学びたいかが明確であり、外国語学部で学ぶことに意欲的である。
- (2) 将来の目標と外国語学部での勉学の関連性が明確である。
- (3) 言語を学ぶことに対する資質がある。
- (4) 環境の変化に対応できる柔軟性を持っている。
- (5) コミュニケーションに対して積極性がみられる。

💬 面接員のコメント

日本語の「課題エッセイ」では、与えられた日本語の文章を要約し、自分の意見を論理的に述べるよう求めましたが、要約が出来ていないもの(特に課題文から過度な直接引用をしているものや主旨とは外れる部分を引用しているもの)、論理的に意見が述べられていないものや論旨に一貫性のないものも散見されました。要約部分では、「...と筆者は述べている」のように、内容が自分の意見ではないことを明確に述べられている受験者もいた一方で、そのような区別をせず、あたかも自分の考えであるかのように要約している受験者もいました。要約では、自分の主張と他人の主張を明確に区別することを意識してください。また、自分の主張について述べる際には、事前に用意したエピソードに強引に引きつけようとするのではなく、課題文の主張を正確に理解し、普段から様々な文章を読んで主張を理解し、その場で自分の意見を組み立てて文章化する練習を重ねてください。

面接では、「入学志望理由書」に書かれていない事柄についても、面接員から一歩踏み込んだ質問や関連する時事問題についての質問があります。その回答の内容や答え方から、皆さんの学習意欲、コミュニケーションに対する積極性を判断します。志望理由など、あらかじめ予想される質問に対しては答えられるとしても、予想していなかったと思われる質問などは、何も答えられない場合もありますので、しっかりと準備をしておいてください。

■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)		募集人員	第1次選考		第2次選考	
				志願者	合格者	合格者	
外国語学部	外国語学科	A(中国語)		20	10	7	3
		B(クロス留学)	ドイツ語		3	2	2
			フランス語		4	3	2
			ロシア語		1	1	1
			中国語		0	0	0
			朝鮮語		6	4	3
		C(英語教員)			5	2	2
		D(日本語教育)	英語		0	0	0
			中国語		0	0	0
		E(グローバルキャリア)	英語		9	7	4
	中国語		0	0	0		
	計		38	26	17		

# 人間健康学部

誰もが健康で幸せでいられる「健幸 (well-being)」な社会を実現する人材の育成をめざしています。

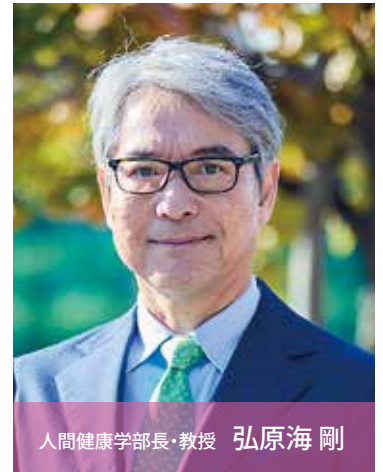
人が幸せで豊かに暮らすためには、「健康」であり、「健幸」であることが欠かせません。本学部が提唱する「健幸」とは、「健康」と「幸福」を組み合わせた概念であり、単に病気がない状態を指すのではなく、心身の健康を土台に、社会とのつながりの中で充実した人生を送ることを意味します。そのためには、「からだ」の健康はもちろん、孤独やストレスに対応する「こころ」の健康、さらに生活の安定や社会の変化に適応する「くらし」の視点も重要になります。

本学部では、この「からだ」「こころ」「くらし」の3つの要素を総合的に考え、「健康」と「健幸」をどのように高めていくかを学びます。そのために、幅広い視点と実践的な学びを重視し、教室での講義だけでなく、地域と連携した活動を通じて、社会や人々の「健康」と「健幸」の向上に貢献できる人材を育成します。

また、学んだことを知識として身につけるだけでなく、実際の経験を通してその価値や意味を深く考え、自分の言葉で伝える力を養うことも大切にしています。AO入試では、特定の分野での実績だけでなく、その経験をどのように表現し、他者と共有し、社会に生かすことができるかという「表現力」も重視します。

人間健康学部がAO入試で求める人材は、まず本学部での学びを強く希望し、入学を本気で志している人です。そのうえで、実践的な力を持ち、健康・福祉・スポーツに対する知的好奇心が旺盛で、地域との連携活動にも積極的に取り組める人を評価します。また、入学志望理由書や小論文等では、自分の経験や思いを自分の言葉でしっかりと表現し、正しい知識に基づいた説得力のある意見を伝えることが重要です。

大学は、知識を実践へとつなげ、多くの人と関わることで自分の世界を広げていく場所です。人間健康学部で何を学び、どんな未来を描きたいのかをしっかりと考え、ぜひAO入試に挑戦してください。



人間健康学部長・教授 弘原海剛

## 合格者からのメッセージ



人間健康学科  
牧口 優花

大阪府  
私立 大阪学芸高等学校出身  
2026年度 入学生

### スポーツの力で笑顔を広げ、心身の「健幸」のパートナーに

私は幼少期からサッカーに打ち込み、日本代表として国際舞台も経験してきました。その過程で、対人関係の悩みや怪我、重圧による心の弱さを痛感し、心と体の健康の関わりに強い関心を抱きました。この経験から、心理学やスポーツ科学などの多様な視点で、実践的に学べる関西大学人間健康学部の環境に惹かれ、志望しました。

将来の目標は、スポーツメンタルトレーナーとして人間関係を苦しむ人々を支え、運動を通じた健康増進に貢献することです。特に心理学の知見を深め、アスリートのメンタルケアやチームのコミュニケーション改善について専門的に探究することをめざしています。

これまでの競技生活で培った主体性や協調性を基盤とし、学問的な知識を組み合わせることで、多くの人の幸せに寄与できる人材をめざし、人間健康学部でさらなる研鑽を積みたいと考えています。

### 出願書類を作成するうえで工夫した点や苦労した点は？

自分の経験と学びたい内容を一貫したストーリーとして伝えることを意識しました。経験を通じた自分の関心の変化を整理し、将来どのように生かしたいかを明確にしました。限られた字数の中で具体性を持たせながら簡潔に表現するため、言葉選びや構成を工夫しました。

### 所属学部(学科・専攻)を志望したきっかけは？

サッカーの競技経験を通して、技術や体力だけでなく、心や人間関係がパフォーマンスに大きく影響することを実感しました。特に、プレッシャーや葛藤に直面した経験から、心理的な支えの重要性を強く感じました。心理学やスポーツ科学を多角的に学べる人間健康学部で、心と体の両面から人を支える力を身につけたいと考え、志望しました。



人間健康学科  
宮川 珠和

東京都  
国立 筑波大学附属視覚特別支援学校  
高等部出身  
2026年度 入学生

### スポーツと福祉を通して「健幸」を支える人を目指して

私が関西大学人間健康学部を志望した理由は、スポーツと福祉を実践的に学び、「一人ひとりに合った健幸」を支えられる人をめざしているからです。競泳やタイ留学での経験から、スポーツには人をつなぎ、感動を共有する力があると実感しました。その一方で、福祉を必要とする人への理解不足や支援の難しさも感じています。

そこで、福祉制度や困りごとに関する知識、それを社会に分かりやすく伝える説明力、相手に寄り添い抱えている悩みを聞き出し解決へ導く実践力を身につけたいと考えました。また、オープンキャンパスで伺ったパラリンピック選手と健常選手の合同遠征の話に感銘を受け、競技環境や運営上の課題を踏まえながら、両者が積極的に関わり合える活動の方法を考えたいと強く感じました。実践的な学びを通して、スポーツと福祉の両面から社会に貢献したいと考えています。

### 第2次選考(面接、小論文、プレゼンテーション等)の対策はどのようにしましたか？

筆記課題対策として、小論文は本番と同じ時間を計り、他大学の過去問題などを活用しながら練習を重ねました。内容を結論から述べ、具体例を入れることや俯瞰的に見ることを意識しました。面接では暗記に頼らず、自問自答して考えを深め、繰り返し練習を行いました。

### AO入試を受験して得たことは？

志望理由書の書き直しや面接準備を通して、将来やりたいことや、そのために大学4年間で何に取り組むべきかを明確にすることができました。これまでの経験を振り返る中で新たな強みにも気づき、文章で分かりやすく伝える力や、物事を深く考える力が身についたと感じています。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

## 【AO入試のポイント】

人間が幸せに、そして豊かに暮らすためには「健康」で「健幸」であることが前提になります。それには「からだ」の問題はもちろんのこと、現在の社会状況からくる孤独やストレスへの対応など「こころ」の問題、生活不安や少子高齢化といった「くらし」の問題を解決していく必要があります。人間が「健康」で「健幸」であるためには、これら3つの要素を、どうすればより高みにもっていきけるかを考えるのが人間健康学部の学びの基本です。この基本に則り、学際的で実践的な学びを重視している人間健康学部では、教室での講義だけでなく地域と連携したさまざまな活動への参加を通して、社会と人間の「健康」と「健幸」に関わる諸問題を解決できる人材を育成します。また、体験や実践の価値や意味を幅広い知識や理論によって分析し、言葉や文字で他者に伝えることも大切にします。AO入試において、ひとつの分野で特に秀でた経験の積み重ねだけでなく、そうした経験での感動を他者が共感したり、参考にしたりできるような表現力を重視します。

## 第1次選考(書類選考)について

## ■ 実施概要

第1次選考では、3つの出願型ごとに複数の選考委員が志願者の出願書類を精読しました。すべての出願型に共通して、「調査書」の記載事項から、人間健康学部で教育を受けるために必要な基礎学力を有していることを確認し、そのうえで、「入学志望理由書」と「出願資格を証明する資料」などを精査して選考を行いました。〔スポーツ活動実績型〕はスポーツの活動実績を中心に、〔地域貢献活動評価型〕と〔自己推薦型〕においても、それぞれの活動実績を中心に評価を行いました。



## 評価ポイント

AO入試の特性にしたがって、学力入試ではアピールできない①スポーツ活動、②ボランティア・福祉活動などの地域貢献活動、③学術・文化・芸術などの様々な活動、高度な資格や技能を評価対象とします。ただし、そのような活動を自己満足だけにとどめるのではなく、自らが得た感動を他者に伝える能力を重視しています。さらに、人間健康学部で何を学び、それをどう将来に生かすのかを具体的に説明し、大学生活への積極的な意欲が読み取れる「入学志望理由書」を評価します。学部のホームページやパンフレットに記載されていることを事前に調べるのは当然ですが、それらを単に拾い書きするのではなく、学部教員が書いた書籍や人間健康学部の学びに関連する本を読み、考察しておくような努力を期待しています。

## 第2次選考(筆記課題と面接)について

## ■ 実施概要

第2次選考は、「筆記課題」と「『グループワーク』を踏まえた面接(口頭試問を含む)」を行いました。「筆記課題」は、設問に対する解答を90分以内に1,200字程度でまとめるものです。今回はSNSの利用が中高生の人間関係やコミュニケーションに及ぼす影響について出題しました。基本的な文章の書き方が守られているか否かをチェックしたうえで、課題にひそむ問題のポイントを見抜く能力、表現の正確さ、論理性、説得力を評価しています。一方グループワークでは、今回はドーピングを公式に認めて行う競技であるエンハンスゲームズの是非についてディスカッションしてもらいました。その後の「面接(口頭試問を含む)」では、約15分間で評価者の質疑に対して応答します。ここでは、グループワークでの受験者の発言の意図や行動の意味について質問を行い、併せて人間健康学部への志望理由、入学後に学びたいこと、将来のありたい姿などについて質問しました。



## 評価ポイント

「筆記課題」では、与えられた設問に対しての表現力や論理性を評価しています。また、原稿用紙の使い方、適切な表現、文章構成を考えた段落立て、誤字脱字のない正確な言葉の使用など、文章の基本的な書き方が身につけているかはもちろん、設問で指示された字数内で、自らの考えや意見をまとめることができているか否かを判断しています。内容については、設問に対してユニークな発想と着眼点から論点を設定できていることや、経験を踏まえて具体例を挙げながらわかりやすく説明していることが評価のポイントになります。「筆記課題」に備えるためには、新聞記事やニュース報道などを通して、今日の社会が抱えている問題について、常に考えておくことが求められます。また、人間健康学部の学びに関する書物を数多く読み、問題のとらえ方や論じ方を学んでおくことも大切です。さらに、経験したことを知識へつなぎ、自らの考えを練り上げ、それを他者へと適切な形で表現する力が試されます。日頃から体験したことを自分の言葉で語る習慣を身につけたり、新たに得た情報や知識を自分自身の体験に落とし込んで理解する習慣を持つことが大切です。自ら問題を設定して、これまでの体験や人間健康学部を志望する理由などと関連づけながら、解答をまとめる練習をしておくことも必要でしょう。

「グループワーク」については、今回はディスカッションを行いました。自身の考えを適切に表現できるか、他者の考えを建設的に受け入れることができるか、グループに対して有形無形の貢献ができるかなどが評価のポイントとなります。

「面接(口頭試問)」については、挨拶や話し方のマナーを守ることは当然ですが、あらかじめ準備してきたことを一方的に話すのではなく、面接者の話をよく聞いて、予想外の質問があっても自分の言葉で答えられるように準備しておきましょう。練習してきたことにとらわれて当日の問いを軽視し、事前に用意した答えを調整して課題に答えることは、むしろ評価を下げることになりますので注意してください。

## ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)		募集人員	第1次選考		第2次選考
				志願者	合格者	合格者
人間健康学部	人間健康学科	A(スポーツ活動実績型)	15	41	13	6
		B(地域貢献活動評価型)		5	3	2
		C(自己推薦型)		57	15	9
	計		103	31	17	

# 総合情報学部

明確なビジョンをもち、独自の視点で率直な意見交換ができる素養を重視します。

文理総合を基本コンセプトとする総合情報学部では、情報をキーワードとして、既存の学問分野の枠にとらわれることなく、さまざまな専門領域を横断的に学ぶことができます。この学びにより、幅広い分野の基礎知識を身につけつつ、自分に合った関心のある専門分野を見極めて独自性を高めていくことができます。つまり、広い視野と独自性を兼ね備えた柔軟な専門性を身につけていくところに、総合情報学部で学ぶ醍醐味があるといえます。

こうした教育理念を実現するため、総合情報学部では、AO入試においても従来の枠組みにとらわれずにさまざまな試みを行ってきました。いわゆる受験勉強だけでは養えない多様な能力を有する個性を発掘することを目的として、「活動実績評価型」に加え、2007年から「情報リテラシー評価型」を導入し、異なる2種類の能力に着目する入試と位置づけました。

「活動実績評価型」は、広く社会で認められる活動に関わる能力に着目します。この能力を評価する際は、活動の実績も大切ですが、それだけでなく、さまざまな経験を総合情報学部での「学び」にどのように生かして、独自性を高めていきたいかという目的意識を重視しています。

「情報リテラシー評価型」は、問題解決に関する能力に着目します。総合的な探究の時間などを通じて高校までの教育で習得した、課題を発見し解決していくための資質・能力や情報リテラシーを活用して問題を解決する力を評価するために、パソコンを使用したり、グループディスカッションを行ったりしてもらいオリジナリティーのある選考方法となっています。選考に際しては、実際に与えられた課題に取り組んでもらい、AI系情報ツールを活用しながら、さまざまな視点から独自のアイデアや提案を導く過程と、その内容について他の人と率直な意見交換ができる能力を重視します。

これまで、高校や社会で培ってきた経験や技能を、総合情報学部においてさらに発展させ、自分の夢に向かってチャレンジする意欲のある人を待っています。



総合情報学部長・教授 名取 良太

## 合格者からのメッセージ



総合情報学科  
栗崎 結大  
福岡県  
県立 宗像高等学校出身  
2026年度 入学生

### 文理総合の学びを翼に、アスリートの夢を技術で支えたい

中学時代、怪我に苦しむ野球部員を見た経験から、夢のために努力する人を技術で支えたいという思いが芽生え、高校では電気物理部でロボカップに挑戦しました。部活動を通してプログラミング言語を習得し改良を重ねた結果、全国優勝、さらに世界大会準優勝を達成しました。この過程で培った「たゆまず努力する」力が私の最大の強みです。

また、世界大会出場のための渡航費190万円をクラウドファンディングで調達した際、専門的な内容をわかりやすく伝える大切さも学びました。私にとって、関西大学総合情報学部が掲げる文理総合型の学際的アプローチは、人文・社会・自然科学の3つの分野を横断的に学べる理想的な環境です。

将来はセンサーや映像で選手の動作データを収集し、AIで怪我の予兆を検知するシステムを開発・普及させ、誰もがスポーツを安全に楽しめる社会に貢献したいです。

### AO入試要項・ガイドブックや大学ウェブサイト等をどのように活用しましたか？

AO入試要項・ガイドブックや大学ウェブサイトを活用し、自分自身の志望理由と大学の理念を丁寧にすり合わせました。アドミッション・ポリシーや過去の入試結果を読み込み、自分のこれまでの経験が総合情報学部の学びや自分の将来にどうつながるかを整理しました。その結果、出願書類や面接でも「なぜ関西大学総合情報学部で学びたいのか」を明確に伝えられたと感じています。

### AO入試の受験を考えている受験生へのメッセージ・アドバイス

AO入試では、直接学びにつながるような専門的な実績に限らず、部活動や地域活動など幅広い経験を通して何を考え、将来の目標をどのように実現させたいかを説明できることが大切だと思います。AO入試は出願書類の作成や準備に時間がかかりますが、その分関西大学で学びたい気持ちが磨かれていったと感じています。



総合情報学科  
河澄 唯音  
大阪府  
私立 追手門学院大手前高等学校出身  
2026年度 入学生

### 心理とデータサイエンスの融合で、教育の未来に希望を灯す

教育現場のいじめ問題と教師の過重労働の解決に貢献するため、AIを活用した革新的なアンケートシステムの構築をめざしています。きっかけは高校時代、生徒会役員として全校生徒1,200名を対象に調査を実施した際、回答率の向上には心理的安全性の確保が不可欠だと学んだことです。自ら課題を見つけ行動したこの経験は、非常に大きな財産となりました。

データと人間の心理の両方を学ぶにあたり、文理総合の学びを掲げる関西大学総合情報学部は、データサイエンスや社会心理学をはじめ、幅広い分野を学ぶことができる理想的な環境です。特にIT企業を訪問するプログラムや社会心理学のゼミに強い魅力を感じており、これらを通してAIの誤検知リスクまで見据えた高度な専門知見を深めていきたいと考えています。

将来は自分が開発したシステムを全国へ普及させ、教育現場へ貢献することが目標です。

### 出願書類を作成するうえで工夫した点や苦労した点は？

これまでの経験を振り返り、自分が本当にやりたいことを分析しました。その結果「教育現場における課題解決をITを利用して実現する」という目標が定まり、それを軸に出願書類を作成しました。大学での学びと目標の重なりを重視し、オープンキャンパスにも足を運びながら、内容を具体化しました。

### 第2次選考（面接、小論文、プレゼンテーション等）の対策はどのようにしましたか？

第2次選考のグループディスカッションに向けて、実践形式での練習を重ねました。高校や塾の先生方からは議論の進め方や論理的な考え方の説明方法について指導を受けました。練習を重ねた結果、本番では過度に緊張することなく臨むことができました。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

## 【AO入試のポイント】

総合情報学部では、「活動実績評価型」と「情報リテラシー評価型」の2種類の評価方法で入試を実施しています。これらの試験では、以下の点に主眼を置いて、総合的に評価を行います。

- (1) 総合情報学部での学習意欲 (2) 広く社会に認められる活動実績・高度な資格(活動実績評価型)  
(3) コンピュータを用いた問題解決能力・自己表現力(情報リテラシー評価型) (4) 大学教育を受けるにふさわしい基礎学力

## 第1次選考(書類選考)について

## ■ 実施概要

第1次選考では、複数の選考委員が受験生全員の出願書類を丁寧に読み、総合的かつ慎重に評価します。総合情報学部への理解と意欲、総合情報学部との適合性、学習成績状況に加えて、活動実績評価型では活動実績や取得資格を、また情報リテラシー評価型では「課題レポート」をもとに選考を行いました。



## 評価ポイント

## (1) 入学志望理由書

総合情報学部を志望する受験生の意思を確認するための出願書類です。これまでの主体的な活動や、大学で学びたいことや学習意欲、さらに将来ビジョンなどが説得力のある文章で訴えられている「入学志望理由書」が望まれます。学部パンフレットなどからそのまま抜き出して構成したり、学部の行事へ参加したエピソードを書いたりするだけでは強い志望理由を伝えることはできません。

## (2) 調査書

出願資格として評定平均値の確認を行います。さらに、大学教育を受けるにふさわしい基礎学力を有しているか、また高等学校においてどのような学生生活を送ってきたかを「調査書」によって評価します。

## (3) 資料説明票、活動報告書(活動実績評価型)

記載された資格や活動実績を評価するにあたり、資格・認定試験のレベルや競技成績だけでなく、大会規模、競技人口、認知度、総合情報学部の教育理念との適合性なども総合的に考慮します。大会等の開催が少ない分野では実績が伝わりにくく、参考資料を大量に添付する例も見られました。しかし、強みが適切に伝わるよう、要点を明確に記載するなど、提出資料の工夫が必要です。

## (4) 課題レポート(情報リテラシー評価型)

今年度の第1次選考では、高等学校の「総合的な探究の時間」の活動や成果をまとめることを求めました。大学に入ってから学習、特に卒業研究においては、自ら課題を見つけ、先行研究を集め、調査等を通じて自分で情報を集め、整理して分析し、自分の主張を作り出していくことが求められます。これは「総合的な探究の時間」のプロセスと同じであることから、高等学校時にそのプロセスをどのように学んできたかを説明してもらうことになりました。見栄えの良い成果をあげたかではなく、どのように課題を設定し、その課題を解決してきたかのプロセス全体を重視します。「総合的な探究の時間」の設定がない高等学校からの受験生には、個人で情報社会や情報技術について調べたことをまとめてもらいました。ここでも、調べたことをまとめるだけにとどまらず、その中で課題を見つけ、自分なりにどう考えを形成できているかを問うこととなります。

このような課題レポートは入学志望理由書に書くことと内容が重複することがあると思いますが、それは自然なことだと考えられます。課題レポートはどのようにその課題に向き合ったのかを中心に、入学志望理由書はそこから総合情報学部でさらに何を学びたいのかについて書くことで棲み分けができるでしょう。

## 活動実績評価型 第2次選考(面接)について

## ■ 実施概要

第2次選考では3人の面接員によって約20分間の面接を実施し、提出書類からは読み取ることができなかった活動内容の詳細、特に団体活動の場合は受験生自身の役割と貢献度を説明してもらうとともに、総合情報学部が求める学生としての資質、および将来計画の実現可能性を評価基準として選考を行いました。



## 評価ポイント

総合情報学部が求める学生像と学力に対して、受験生がどの程度の資質を備えているかに主眼を置いて評価しました。「情報」に対する関心度や、高校でどの程度「情報」に触れてきたか、入学後の「情報」とのかかわりについて述べてもらい、総合情報学部との適合性を測りました。学生生活の中で、自身の活動実績を活かすことができるかが重要な評価ポイントになります。また、入学後に学びたい内容に対して、高校での準備が十分にできているかどうか評価ポイントになります。

## ☎ 面接員のコメント

例年、一部の受験生には入学志望理由や入学後に取り組みたい学びについてのパターン化が顕著に現れているように思われます。それゆえ、面接員からの一歩踏み込んだ質問に対しても自らの言葉で的確に話すことができるとともに、これまでの活動や学校生活を通して作り上げてきた将来ビジョンと総合情報学部の教育理念およびカリキュラムとの関連をはっきりと提示でき、大学での学びを通じてさらなる成長や発展を期待させる受験生が高い評価を受けました。一方で、総合情報学部が期待する基礎知識や学力が不安視される受験生や、将来的な目標の実現可能性や入学後の取り組みが疑問視される受験生は低い評価になりました。

## 情報リテラシー評価型 第2次選考について (情報収集・資料作成、プレゼンテーション、グループディスカッション)

### ■ 実施概要

第2次選考では、午前中にプレゼンテーション資料の作成、午後にはプレゼンテーションとグループディスカッションを実施しました。午前中は、パソコン教室において、与えられた課題に対し2時間という限られた時間の中で、受験生一人ひとりに資料を作成してもらいました。今年度は、昨年度までの「インターネット検索のみ利用可」という条件から変更し、生成AIやCanvaを含む各種情報ツールを広く活用できることとしました(外部の第三者との通信は不可)。受験生には、使用した情報ツールを明記したうえで、Word、PowerPointなどを用いて資料を作成してもらいました。

午後の試験では、午前中に作成した資料を用いて、一人5分のプレゼンテーションと質疑応答を行い、その後約60分間のグループディスカッションを実施しました。

### 🔍 評価ポイント

プレゼンテーション資料については、課題で問われている内容に適切に答えているか、その上で自分の論理に基づいた主張ができていないか、根拠となる資料や具体例が典拠元とともに示されているかを中心に評価を行いました。プレゼンテーションでは、限られた時間内で要点を整理し、説得力のある説明ができていないか、また質問に対して的確に答えることができていないかを評価しました。

グループディスカッションでは、出題内容を正しく理解し、解決に向けて論理的に思考を進められているか、自らの考えを明確に述べられているか、他者の意見を踏まえて建設的に議論できているかといった点を重視して評価しました。

### 💬 評価者のコメント

今年度のプレゼンテーション課題は、受験生自身が将来取り組んでみたいビジネスについて構想し、その実現に向けて大学でどのような学びを深めるのか、さらにそのビジネスを通して社会的課題の解決にどのように寄与できるのかを説明するという、非常に主体性が求められるものでした。昨年度の「AIによる職業の変化」に関する分析課題と比べると、より自由度が高く、個々の関心や価値観が問われる内容となったため、受験生それぞれの個性が明確に表れる結果となりました。

また今年度からは、生成AIやCanvaをはじめとした多様な情報ツールの使用を認めたことにより、受験生が以前より幅広い資料やアイデア源に触れながら発表資料を作成することが可能になりました。こうしたツールの活用が一般化している社会の動向を踏まえれば、大学入学後、さらには将来のビジネスの現場においても、情報ツールを適切に使いこなす能力は必須となりつつあります。

今年度は、情報の整理やスライドデザインなどの形式面は、おおむね全員が高いレベルで作成できていたことが印象的でした。限られた時間の中で、必要な情報を的確に抽出し、簡潔で見やすいスライド構成にまとめる技能が、受験生全体としてしっかり身につけていると感じられました。また、生成AIの出力をそのまま用いるのではなく、自分なりの視点を加えて内容を構成し直そうとする姿勢も多く見られ、この点は昨年度以上に評価できるポイントでした。

一方で、明確に差が出たのはテーマに対する洞察の深さ、主張を根拠づける論理の構築力、そして発表全体の構成力でした。例えば、社会的課題と将来のビジネスとの関連づけ方が浅く、単に調べた情報をまとめただけで終わってしまうケースも見られました。逆に、自らの体験や問題意識を出発点として、自分ならではの視点や方向性について説得力をもって語ることであった受験生は、発表内容に独自性があり、強い印象を与えていました。社会の動向に目を向け、日常的に疑問を持って調べたり考えたりする習慣が、今後の学習においても大きな強みになると考えられます。

続いてグループディスカッションでは、議論の論点を整理し、結論に向けて道筋を明確にしながら議論を進める姿勢が、受験生全体としてよく見られました。今年度の受験生は、問題の前提を揃えて意見交換の土台を整える段階を丁寧に行っており、グループ全体として落ち着いた良い議論ができていたと評価しています。

ただし、議論の進行に対する貢献の度合いには受験生間で大きな差がありました。積極的に論点を整理を担ったり、対立しがちな意見を調整したり、議論が停滞した際に新しい視点を提示したりと、議論全体の質を高める行動ができていた受験生は非常に高く評価されました。一方、議論の流れをつかむのに精一杯で、発言が少なくなってしまう受験生も見られました。

グループディスカッションには、司役や記録役、論点整理役、意見提示役など、さまざまな役割があります。どの役割においても、議論全体を前に進めるために自分が何に貢献できるかを考え、主体的に行動することが求められます。また、他者の意見を注意深く聞き、適切に受け止める姿勢も重要です。大学での学びでは、他者と協働して課題に取り組む場面が多くあります。高校での「総合的な探究の時間」などを通じて、議論における自分の強みや課題を省察し、今後の学びにつなげていくことを期待しています。

### ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)	募集人員	第1次選考		第2次選考	
			志願者	合格者	合格者	
総合情報学部	総合情報学科	活動実績評価型	10	66	16	10
		情報リテラシー評価型	10	21	16	9
	計		87	32	19	

# 社会安全学部

分野を問わずみなさんが身につけてきた「考動力」と、それを社会の安全に活かそうとする意欲を重視します。

社会の持続・発展において安心・安全はその基盤となる要素です。その安心・安全の実現のためには多角的な視点からの分析と、得られた知見に基づき、個人または組織として考動する力が必要であると考えます。

例えば、新型コロナウイルス感染症の流行の際には、様々な社会の課題が浮き彫りになってきました。科学的なデータに基づくマスクやワクチンのメリット・デメリットの議論とそれに基づく政策決定や社会の受け入れ、飲食店に対する営業時間短縮要請、濃厚接触者への待機期間の設定が経済・コミュニティ・個人に及ぼす影響、SNSでのフェイクニュースの拡散に代表されるインフォデミックなどがありますが、これらの事項は全て社会安全学部が取り扱うべき課題です。

また、能登半島では多くの方が犠牲となった大地震が発生しました。震災一つをとっても、地震・津波による被害予想、建物の耐震設計、避難行動計画とその実行、被災後の避難所生活、生活再建、企業の事業継続計画、復興経済、災害関連死など、文系的、理系的、そして文理融合的なアプローチが必要な課題がたくさんあります。そのため、理系も文系も両方をわかる人材の必要性が高まっています。社会安全学部では幅広い興味を持ち、理系文系両面から安心・安全に関係することを積極的に学び、それを社会に活かしたいと考える人を求めています。

高校の授業で学ぶ内容は決められており、社会安全学と直結するわけではありません。そこで社会安全学部のAO入試では、安全に直接関係する分野の実績に限定せず、高校時代までに自ら考えて行動することで得た「考動力」と、それを、「安全・安心」、「防災・減災」、「事故防止」、「危機管理」に関する諸問題の解決に積極的に活かす意欲を評価します。この入試を「考動力評価型」と呼びます。関西大学では、自ら考えて行動する力を重視しており、このポリシーに共感する人に向けた入試です。

考動力は入試対策の付け焼き刃で身につくようなものではありません。興味をもち続け、試行錯誤を繰り返して養われるものと我々は考えています。社会安全学の様々な分野において、これまでに磨いた考動力を発揮していきたいと望む皆さんの受験をお待ちしています。



社会安全学部教授 伊藤 大輔

## 合格者からのメッセージ



安全マネジメント学科  
河野 元旗  
山梨県  
私立 山梨学院高等学校出身  
2026年度 入学生

### 「守れる人」になるために、関西大学社会安全学部で学ぶ

私は将来、災害や事故現場でリーダーシップを発揮して人命を守る消防士をめざしています。高校の空手道部で仲間が倒れた際、何もできなかった悔しさから、自ら応急処置や対応法をまとめた資料を作成し、部内での訓練を徹底しました。その結果、全員が冷静に対処し、症状の悪化を防げる組織へと成長したことが、私の大きな原点となっています。

関西大学社会安全学部を志望した理由は、文理総合の学びを基盤に、自治体や企業との連携や最先端の実習施設を活かした、他にはない実践的な教育環境に強く惹かれたからです。「社会安全実践演習」などの科目を通じ、現場感覚を伴った高度な危機管理能力を磨ける点は、国内有数の学びの場である関西大学ならではの魅力だと思います。

防災の専門知識と実践力を兼ね備えた人材へと成長すべく、社会安全学部で専門的な学びを深めていきたいです。

### 所属学部(学科・専攻)を志望したきっかけは？

消防士などの安全・安心な社会を支える仕事に関心を持ち、防災や危機管理を専門的に学べる社会安全学部の魅力を感じました。文系理系両面から学べることに加え、実践演習や自治体・企業と連携した学びなどを通して、将来の目標に直結する経験を積めると感じ志望しました。

### 出願書類を作成するうえで工夫した点や苦勞した点は？

社会安全学部を志望する理由を明確にし、入学後の学びの流れを具体的に考えながら出願書類を作成しました。これまでの経験を志望理由と結びつけることで説得力を高め、学部の特徴や関心のある授業についても大学ウェブサイト上で丁寧に調べました。高校の先生にも添削していただき、時間をかけて内容を磨いて改善を重ねました。



安全マネジメント学科  
藤原 樺音  
兵庫県  
県立 鳴尾高等学校出身  
2026年度 入学生

### 関西大学社会安全学部で、事故ゼロの明日をデザインする

私が関西大学社会安全学部を志望した理由は、将来、交通機動隊員として交通事故を未然に防ぎたいと考えたからです。

きっかけは親族の事故と高校時代に取り組んだ防災教育活動です。防災教育活動では、避難訓練に自作の紙芝居やクイズを取り入れ、子どもたちの主体的な参加を促した経験から、楽しみながら記憶に残る「より深い教育」の重要性を学びました。

また、岡本満喜子教授の「役に立つ」交通安全教育という言葉に惹かれたことも、志望理由の1つです。関西大学社会安全学部でヒューマンエラーや煽り運転といった現代社会の課題解決に挑戦したいと感じました。「社会安全隊」でのボランティア活動など、警察官に必要なスキルを多角的に磨ける環境は、私にとって理想的なものです。充実した学びの環境で、将来の夢を実現させるため意欲的に学んでいきたいです。

### AO入試の際に役立った、高校での経験はありますか？

中高生と企業を対象とした自由な発想と想像力を発揮するプレゼンテーション大会に参加した際に、自分の考えをどう伝えれば関心を持ってもらえるか試行錯誤して発表しました。この経験から、人前で堂々と発表する力が身につく、AO入試の際にも役立ちました。

### 第2次選考(面接、小論文、プレゼンテーション等)の対策はどのようにしましたか？

プレゼンテーション対策では、高校の先生方の助言に加え、自分自身の発表を動画で確認し改善を重ねました。原稿に頼らず練習を重ねたことで、本番も落ち着いて発表することができました。小論文対策では、英文を正確に読み取る力が重要だと考えたため、まず読解力を向上させ、様々なテーマで小論文を書く練習を重ねました。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

社会安全学部でのAO入試では、『考動力(自ら考えて行動する力)』を備え、「安全・安心」、「防災・減災」、「事故防止」、「危機管理」に関する諸問題の解決に積極的に取り組む意欲のある学生を求めています。入試では『考動力』の実績を評価しますが、領域やテーマは限定していません。高校時代までに、自ら考えて行動してきた実績のある人を高く評価します。学習活動や課外活動等での実績に裏付けられた『考動力』を備え、日本唯一の社会安全学部で安全の問題について専門的に学びたいという明確な動機と強い意志を持った人を選抜します。

### 第1次選考(書類選考)について

#### ■ 実施概要

第1次選考では、選考委員が「調査書」「入学志望理由書」および「説明資料の写し」を読んで内容を評価し、合議の上で合格者を決定しました。

#### 🔍 評価ポイント

「調査書」では、社会安全学部で学ぶために必要な基礎学力を備えているかを「各教科・科目等の学習の記録」などの項目によって確認しました。また、日常的な授業へ取り組む姿勢については、「出欠の記録」などによって確認しました。

「入学志望理由書」については、「自分自身が社会安全学部で学ぶにふさわしい『考動力』を備えた人物であること、および、その『考動力』を社会安全学部における学びにどのように関連づけようと考えているかを具体的に説明してください。」という指示が与えられていました。

『考動力』とは自らの頭でよく考え、自律的かつ積極的に行動する力のことです。そのため、第1のポイントとして、これまでの学習活動や課外活動等での実績が、自ら考え行動した結果によるものと判断できるものについては、高く評価しました。得られた実績が対外的な評価が高いものであるか否かよりも、自身の気づきに対して主体的に調査・分析・考察し、それらをチーム、組織、社会などを改善するためにアウトプットできたかどうかを見ています。第2のポイントとして、そうした『考動力』を社会安全学部における学びにどのように活かしていくのかという点について、筋道立てて説得的に記述した文章は特に高く評価しました。培ってきた『考動力』が入学後の学習や自身の将来に関する具体的な目標にどのように繋がるのかが明確に説明されている必要があります。上記の2つのポイントを明瞭に記述するための日本語表現の正確さや、文章のもつ説得力の大きさも評価の対象になることは言うまでもありません。

「説明資料の写し」については、「入学志望理由書」との関連を評価しました。「入学志望理由書」と「説明資料の写し」の両者で求めている内容は同じです。しかし「説明資料の写し」では、「入学志望理由書」と違い図表や写真等を用いることができ視覚に訴える表現が可能です。また、レイアウトや文字のサイズ等を工夫することでポイントを強調することができます。「入学志望理由書」に記載した2つのポイント、つまりどのような『考動力』を備え、その『考動力』を社会安全学部における学びにどのように関連づけようと考えているかが分かるものを高く評価しました。

### 第2次選考(小論文と面接)について

#### ■ 実施概要

第2次選考の小論文では、統計資料および英文の読解にもとづく課題を課しました。面接は3名の面接員により、1受験生あたり15分程度の時間で行いました。第2次選考合格者は、小論文出題者と面接員の合議による総合評価で決定しました。

#### 🔍 評価ポイント

「小論文」では、主に安全に関係する問題をテーマとした統計資料と英文を示し、そこから読み取れる事実や問題文の著者の思考の筋道などを記述してもらいました。評価のポイントは、統計資料を正しく読み解き論理的に解答できているかと、辞書を使わずとも英文の大意を把握できているかの2点です。また、統計資料、英文の両方で提示された資料、文章の内容を踏まえた上で自身の考えを整理し、それを日本語もしくは英語で記述することを求めています。資料、英文を適切に読み取った上で、多角的な視点から与えられたテーマについて議論を行った受験生に高い評価を与えました。90分という限られた時間で統計資料、英文を読み込み、説得力のある議論を展開するには、まずは、統計資料を読み解くための基礎的な数理力や、英語長文を素早くかつ正確に読み解くことができる英語読解力が求められます。加えて、日頃から様々な社会問題に興味をもち、新聞記事やニュース報道、関連する書籍などを参考にしながら、安全に関係する視点を意識して自分自身で考える習慣を身につけていることが有利に働きます。また、適切な日本語の文章や英作文となるよう、文章表現を頭の中で十分に推敲してから記述し、誤字や脱字などのミスをしないようにすることも肝要です。さらに、制限時間内で満足できる解答を作成するためには時間管理が重要です。決められた時間内で内容把握、情報整理、文章推敲ができるように日頃の学習から意識すると良いでしょう。

「面接」では、「説明資料」を用いた5分間のプレゼンテーションを最初に行ってもらいました。ここでは、自分自身が社会安全学部で学ぶにふさわしい『考動力』を備えた人物であることを説明していただくことを求めています。第2次選考で求めているのは、高校時代までに自主的に取り組んだ実績をもとに『考動力』を備えていることをアピールいただき、その上で、その『考動力』を社会安全学部での学びにどのように活かすのか、というプレゼンテーションです。プレゼンテーションの評価は、内容、説明資料の完成度にもとづいて行いました。設定された課題に適切に応答しているプレゼンテーションは高く評価しました。また、口頭試問における受け答えを通じて、社会安全学部で「安全・安心」、「防災・減災」、「事故防止」、「危機管理」について学ぶ意義を理解しており、かつ、そのために必要となる基礎的知識を備えていると判断された受験生を高く評価しました。面接員の質問の意図を正確に理解し、的確に自分の考えを伝えられるコミュニケーション能力の高さも評価の対象です。

### ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)	募集人員	第1次選考		第2次選考
			志願者	合格者	合格者
社会安全学部	安全マネジメント学科	5	22	13	7

# ビジネスデータサイエンス学部

データから課題を読み解き  
社会で即戦力となる人材育成を

ビジネスデータサイエンス学部では、ビジネスとデータサイエンスの両分野の基礎を学び、それらを実社会の課題解決や価値創出に活用できるビジネスデータサイエンティストの育成をめざしています。ビジネスデータサイエンス学部では、実際のデータを読み解き、分析し、戦略的に活かす能力に加え、実務の現場で求められるコミュニケーション力や協働する力を育てることが重要だと考えています。そのため、ビジネスデータサイエンス学部では実際のデータを分析する中で課題を発見し、解決策を創出していく演習を重視しています。カリキュラムとしては、1・2年次で基礎的なデータサイエンスの知識とビジネスの理論を学習し、3年次以降は、実践的なプロジェクト演習やゼミナールを通じて専門性を高めていけるように配置しています。文理融合の教育方針のもと、理系的分析力と文系的発想力を兼ね備えた柔軟な学びを展開しています。

このような力を身につけた人材を育成するために、AO入試では、一般入試では評価しにくい多面的な能力や経験を持った人を求めています。いろいろなコンペティションでの実績や国際バカロレア資格、異文化体験だけでなく、学術・文化・芸術の分野での成果を評価します。AO入試における選抜で重要視しているのは、単にこのような実績が優れているというだけでなく、それがいかにビジネスデータサイエンス学部の学びと関連しているかを自分の言葉で根拠を示しながら説明することです。誰かの考えや言葉ではなく、自分の考えや自分の言葉を持っている人を評価します。そのためには、日頃から自分の関心に向き合い、社会と向き合っている姿勢を持ち続けることが、AO入試においても入学後の学びにおいても重要な鍵になると考えます。私たちは、ビジネスとデータサイエンスの力で社会を変革する志を持った皆さんの入学をお待ちしています。



ビジネスデータサイエンス学部教授 高井 啓二

## 合格者からのメッセージ



ビジネスデータサイエンス学科  
西塚 夢  
大阪府  
府立門真なみはや高等学校出身  
2026年度 入学生

### 三か国語とデータサイエンスで、世界を舞台に活躍したい

私は、IT業界にとどまらず幅広い分野で貢献できるデータサイエンティストをめざしています。そのため高校では情報分野の専門科目を積極的に履修し、情報処理技能検定やITパスポートの取得を通じて、ビジネスとITを結びつけるための視野を広げました。

関西大学ビジネスデータサイエンス学部を志望した理由は、実践的かつ多角的に学べるカリキュラムと、企業や社会と直接つながるPBL演習などの環境に魅力を感じたからです。理論と実践をバランスよく身につけられる点は、私のめざす将来像に直結しています。ビジネスデータサイエンス学部では日本語・中国語に加え英語運用能力も伸ばし、実用英語技能検定準1級も取得したいと考えています。専門知識を磨きながら多様な価値観をもつ仲間と協働し成長することで、国際的な課題解決に貢献できる人材になることが目標です。

### 出願書類を作成するうえで工夫した点や苦労した点は？

これまでの経験を「その時どのように考え行動してきたか」という視点で整理し、それぞれの関連性を意識して言語化しました。外国にルーツを持つ方との交流やプレゼンテーションの経験から培った強みを、ビジネスデータサイエンス学部の学びと結びつけました。また、大学案内や大学ウェブサイトなどを活用して学部の理念や特色を丁寧に読み込み、志望理由を明確にしました。

### AO入試の際に役立った、高校での経験はありますか？

資格取得や、プログラミング言語を用いたアルゴリズム学習、ゲーム制作の経験が特に役立ちました。試行錯誤を重ねながら主体的に取り組む学んだことで、論理的思考力や積極性が身についたと感じています。これらの経験は志望理由の軸となり、面接でも自信を持って具体的に伝えることができました。



ビジネスデータサイエンス学科  
小脇 俊吾  
兵庫県  
私立神戸星城高等学校出身  
2026年度 入学生

### 三分野の掛け合わせで見つけない、新しい解決の糸口

高校時代に情報技術・会計・経済の三分野を学び、それらを統合して価値を創出できる人材をめざしてきました。そのきっかけは部活動での経験です。先輩方の練習記録や競技映像を分析し、強みや弱み、練習量との関係を可視化することで練習計画を改善し、競技力を大きく向上させました。

この経験からデータで課題を発見・改善する面白さを実感し、情報活用の力を体系的に学びたいと考え、基本情報技術者試験、全商簿記実務検定1級、全商商業経済検定1級を取得しました。

関西大学ビジネスデータサイエンス学部は文理の枠にとらわれないカリキュラムと企業連携演習を有し、統計学やプログラミング、経営などを横断的に学びながら実データで課題解決に取り組める環境です。三分野の知識を掛け合わせ、経営戦略や社会課題の解決に貢献できる力を身につけていきたいと考えています。

### 所属学部(学科・専攻)を志望したきっかけは？

コンピュータ部の活動を通して、データを分析する大切さとコミュニケーションの重要性を学びました。競技記録の分析と、仲間からのアドバイスを取り入れて改善を繰り返したことで、全国大会で優勝することができました。これらの経験を生かし、ビジネスデータサイエンス学部ではデータ分析力やコミュニケーション能力をさらに伸ばせると考え、志望しました。

### 第2次選考(面接、小論文、プレゼンテーション等)の対策はどのようにしましたか？

面接練習の際に、高校の先生から「実績や資格自慢になっている」と指摘を受け、大学が重視しているのは実績ではなく人間性だと考えるようになりました。そこで、自分の経験や考えを自分の言葉で伝えることを意識するようになり、その結果、将来の夢や長所・短所、志望理由についても掘り下げることができ、深掘りされた質問にも落ち着いて受け答えできるようになりました。

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

ビジネスデータサイエンス学部では、ビジネスとデータサイエンスの両分野に関する基礎的な理論と知識を身に付け、それらをビジネスの現場に適用し、課題解決と価値創出を実現する「ビジネスデータサイエンティスト」の育成をめざしています。本学部が考えるビジネスデータサイエンティストになるには、個人として高い能力を持つだけでなく、チームの中で周りとのコミュニケーションをとることが必要です。そこで、AO入試においては、(i)基礎学力がきちんとついであり、一般入試では測れない能力や経験を持っていること、(ii)コミュニケーション能力があること、を重視した募集を行います。(i)では、ビジネスやデータサイエンス関連分野における飛び抜けた実績だけを評価対象とするわけではなく、学術、文化、芸術、スポーツにおける実績や異文化における経験についても評価対象とします。AO入試の受験生には、自分の持つ能力や経験がビジネスデータサイエンスとどのように結びつくのかを説明することが求められます。

### 第1次選考(書類選考)について

#### ■ 実施概要

第1次選考では、志願者それぞれの出願書類を複数の選考委員が精読し、「調査書」の記載事項からビジネスデータサイエンス学部で教育を受けるために必要な基礎学力を有していることを確認し、そのうえで「入学志望理由書」と「出願資格を証明する資料」などを精査して、総合的な観点から選考しました。2026年度の入学試験では37名が受験し、第1次選考で23名が合格しました。



#### 評価ポイント

AO入試では、一般入試では測れない能力や経験を評価対象とします。評価対象となるのは、コンペティションでの優れた実績、外国の学校での在籍経験・異文化体験、国際バカロレア資格、高度な資格や技能、そして様々な分野での高い評価を得た実績です。このような実績については、その実績そのものを評価するだけでなく、その実績がビジネスデータサイエンス学部での学びとどのような関係があるのかについても「志望理由書」を使って評価します。志望理由書を書くときには、単に調べたことを報告するのではなく、受験者が自分で考えた言葉で書くことを期待しています。

### 第2次選考(面接)について

#### ■ 実施概要

「面接(口頭試問を含む)」では、約10分間で評価者の質問に対して応答します。ここでは、ビジネスデータサイエンス学部への志望理由、入学後に学びたいこと、将来のありたい姿、出願資格を証明する活動実績とビジネスデータサイエンス学部の学びがどのようにつながると考えているか、などについて質問しました。これらの選考を経て、2026年度の入学試験では14名が合格しました。



#### 評価ポイント

「面接(口頭試問を含む)」では、第1次選考(書類選考)で提出された書類の詳細を聞くだけでなく、書類からではわからない受験者の人柄やコミュニケーション能力を見ます。面接でよくする質問は、志望動機、これまでの学習の内容、将来の目標、そして第1次選考(書類選考)で申請のあった項目の詳細、学部の学びとの関連性についてです。面接の際に重要なことは、回答内容はもちろんですが、回答する際のコミュニケーション力です。面接の準備として、予想される質問に対して答えを作り機械的に暗記する対策をとる人がいますが、それでは10分に及ぶ面接を乗り切ることはできません。受験者は普段からさまざまなことを自分の頭で考え、言語化して人に伝える訓練をしておく必要があります。そうすれば、予想外の質問があっても、自分の言葉で自分の回答を返せるようになるはずです。面接におけるコミュニケーションといっても、何も特別なものではなく、聞かれたことの内容を理解して、その場で回答を考え、相手の反応を見ながら回答を返すという基本を大事にしてほしいと思います。

### ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)	募集人員	第1次選考		第2次選考
			志願者	合格者	合格者
ビジネスデータサイエンス学部	ビジネスデータサイエンス学科	29	37	23	14

# システム理工学部

大学での高度な学びに向けて、まずは数学・物理・英語といった基礎学力を着実に磨いてください。そのうえでAO入試では、筆記試験だけでは測ることのできない皆さん自身の個性、探究心、挑戦してきた経験を積極的に表現していただきたいと思います。

現在、AIやデータサイエンスの急速な進展により、社会や産業のあり方は大きく変わりつつあります。これまで想像の中にあつた未来が、すでに現実として動き始めています。このような時代において求められるのは、単なる知識の蓄積ではなく、技術を使いこなす力、新たな価値を創造する力、社会的・倫理的視点をもって判断する力です。AIをはじめとする先端技術は「使う側の姿勢」によって社会に恩恵も課題ももたらします。だからこそ、技術と社会の関係性を主体的に考え、自ら学び続け、柔軟かつ創造的に未来に向き合う姿勢が重要となります。

システム理工学部は、持続可能で快適な社会の実現に向け、フィジカル空間（現実世界）とサイバー空間（デジタル世界）を融合した新しい科学技術システムの創造を目指しています。そのために、機械工学、電気電子工学、情報通信工学といった基礎分野を横断的に学びながら、理工学の基礎に立脚した自由で独創的な発想を育み、社会課題の解決に挑戦できる技術者・研究者の育成を目指します。

AO入試では、次のような志を持つ学生を求めています。

- 志望学科での学びに強い意欲を持つ人
- 数学・理科の基礎力を備え、自ら考える姿勢を持つ人
- 新しい現象や技術を学び、生み出すことに喜びを感じる人

また、AO入試では、全学科において「活動実績評価型」の募集を行っています。加えて、電気電子情報工学科においてのみ「データサイエンス型」の募集を設けています。

活動実績評価型では、上記の資質に加え、理工学を通じて社会に貢献したいという明確な目的意識を持ち、学習に加えて課外活動や探究活動にも主体的に取り組んできた姿勢を評価します。受験のための学力だけでなく、広く社会的に認められた活動実績を含め、総合的に優れた人材の入学を期待しています。

一方、データサイエンス型（電気電子情報工学科のみ）では、AI・IoT・データサイエンス・センシング・組み込み技術などの分野に強い関心を持ち、プログラミングやデータ分析、システム開発などに挑戦してきた経験を評価します。これまでの主体的な学びや実践的な取り組みを重視し、学力と人物の両面において優れた人材の入学を期待しています。

デジタル社会の中で育ててきた皆さんには、文系・理系という従来の枠にとらわれない、新しい発想と行動力が期待されています。これからの社会を支えるのは、「知識を持つ人」ではなく「問いを立て、創り出す人」です。自らの興味・関心を起点に探究を深め、学び続けながら未来に挑戦する意志を持つ皆さんを、私たちは心から歓迎します。



システム理工学部長・教授 梶川 嘉延

## 合格者からのメッセージ



数学科  
宇野 春菜

滋賀県  
県立 虎姫高等学校出身  
2026年度 入学生

### 数学と挑戦心を武器に、社会を守るプロフェッショナルへ

アクチュアリー（保険数理士）になるという夢を叶えるために、数理情報学に重きを置いたカリキュラムが用意された関西大学システム理工学部を志望しました。

関西大学システム理工学部では、統計学や解析学などの純粋数学から応用数学までを少人数のクラスで学べる点に大きな魅力を感じています。さらに共通教養科目ではマクロ経済学やミクロ経済学、法実務の授業もあり、アクチュアリーに不可欠な経済や法律の知識も幅広く身につけられます。

私は高校時代に起業し会社の代表を務める中で、プレゼンテーション力や人と接する力を培いました。この経験で得た行動力と、大学で深める数学の専門知識を掛け合わせ、将来は保険や年金のリスクマネジメントを通じて社会に貢献できるアクチュアリーをめざします。夢の実現に向け、関西大学で研鑽を重ねたいです。

### 第2次選考（面接、小論文、プレゼンテーション等）の対策はどのようにしましたか？

面接に向けて高校や塾の先生と何度も練習を重ねました。通常の面接練習に加え、面接スキル向上のため、自分が面接官となって面接を実施する練習も行いました。その結果、面接官がこの質問を通して何を知りたいのかを常に意識しながら本番に臨むことができました。

### AO入試を受験して得たことは？

AO入試の準備を進める中で、関西大学について主体的に理解を深めることができました。入学後に挑戦したい授業やプロジェクトを具体的に思い描きながら大学を知ることで、受験への意欲も高まりました。一般入試だけでは得られなかったこの経験が、入学後の学びへの満足感と充実した大学生活につながっていると感じています。



機械工学科  
林 謙真

大阪府  
私立 近畿大学泉州高等学校出身  
2026年度 入学生

### 関西大学システム理工学部の学びで、スポーツの常識を塗り替える

私は将来、野球道具の商品開発に携わることが夢です。その理由は、高校の硬式野球部で低反発バットを使用し、道具の性能が競技の質に直結することを実感したからです。

反発力や重心の位置、振動の伝わり方など物理的な要素を科学的に分析し、安全性とパフォーマンスを両立した次世代型バットの開発に挑戦したいと考えています。この目標の実現には物理学や工学の基礎から応用まで総合的に学ぶことが不可欠です。関西大学システム理工学部は力学や材料・物性などの講義が充実し、実験や実習を通じて実践的に学べる環境が整っている点に大きな魅力を感じました。

実学重視の教育理念のもとで現実の課題に向き合い、社会に役立つものを生み出す力を養いたいです。競技経験と工学的知識を融合させ、スポーツに関わる人々の安全と挑戦を支える製品開発に貢献する人材をめざしていきます。

### 出願書類を作成するうえで工夫した点や苦労した点は？

出願書類では、活動実績を並べるのではなく、経験の中で直面した課題や工夫、そこから得た学びを具体的に示し、志望理由や大学での目標へとつなげました。自分の強みを客観的に見つめ直し、関西大学の求める学生像と結びつけて表現する点に苦労しましたが、結果よりも過程や考え方の一貫性が重要だと考えて作成しました。

### AO入試の受験を考えている受験生へのメッセージ・アドバイス

特別な資格は持っていませんでしたが、部活動の経験や、そこから得た学びを自分の言葉で伝えることを大切にしました。また、関西大学で学びたい理由を明確にすることを意識しました。成果の大きさではなく、過程や思いが大切だと思うので、諦めずに挑戦してほしいです。

# 数学科【活動実績評価型】

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

- 選考委員各自が資料を読み、入学志望理由、高校での成績等がAO入試の趣旨に適しているかどうかを判断します。
- 受験生のアピールしている内容が数学科において数学の専門教育を受けることにどのように関係し、入学後に専門として数学に取り組むのにどのように活かされるのかを評価します。
- AO入試とはいえ、入学後は一般入学試験で合格した学生と同じ講義、演習を受講しなければならないため、特に数学I、数学A、数学II、数学B、数学IIIを十分にマスターしていることが重要と考えています。

## 第1次選考(書類選考)について

### ■ 実施概要

複数の選考委員が「調査書」、「入学志望理由書」、PRポイントとアピールする内容を示す証明書類などが基準を満たしているか、評価ポイントを最低限クリアしているかなどを評価します。



### 評価ポイント

- AO入試の趣旨に合致した受験生かどうかと入学後に数学を専門的に勉強していく力があるかどうかを評価します。
- 受験生がアピールしている点が、大学における数学の専門教育と直接関係ないもの(例としては、運動部活動の成績・取り組み、ボランティア活動、生徒会活動の取り組みなど)は参考程度の評価にとどめ、基本的には合否に関する評価をしないことにしています。数学に関する能力的なものを示すアピールを高く評価することにしています。一例を挙げれば、実用数学技能検定(計算技能検定および数理技能検定ともに)に合格しているというアピールならば、準1級(2次:数理技能検定)ぐらいに合格していれば一応の評価を得られるでしょう。

## 第2次選考(面接)について

### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接(約30分)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、3名の面接員の評価をもとに総合的に判断します。



### 評価ポイント

次の点について評価して合否を決めます。

- AO入試の趣旨をどのように理解しているか、受験生本人のアピールしている内容がAO入試の趣旨に適していて、さらに数学科において数学の専門教育を受けることにどのように関係し、どのように活かされるのか。
- 関西大学システム理工学部数学科の特徴、教育理念・哲学、大学で数学を専攻することの意義などを理解しているか。
- 高校での数学全般、特に学習指導要領に記載されている数学IIIの内容を十分にマスターしているか。
- 一般入学試験を経て入学した学生との数学の学力差がなく、数学専攻としての授業についていけるか。

### 🗨️ 面接員のコメント

審査に際し、履修状況や成績だけでなく、アピール内容や学習に対する意欲、さらに将来展望などが入学後に専門として数学に取り組むのにどのように活かされると期待できるかを評価しました。

合格者は、関西大学システム理工学部数学科で数学を学ぼうとする意欲が高く、本数学科の特徴、教育理念・哲学、大学で数学を専攻することの意義などをよく理解しており、なぜ、関西大学の数学科に進学したいのかを明確に答えることができました。入学後は、一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義を受け、単位を修得する必要がありますが、合格者は、一般入学試験を経て入学した学生に期待される数学の学力に劣ることなく、数学専攻としての授業についていけることが十分に期待されると判断されました。

数学科では、AO入試で合格することを目的にするのではなく、一般入学試験でも十分合格できるだけの水準に達するように、意欲的で自発的な学習に取り組める者を求めています。

## 物理・応用物理学科【活動実績評価型】

### 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

#### 【AO入試のポイント】

選考委員は、第1次選考（書類選考）と第2次選考（面接）によって次のポイント进行评估します。

- 広く社会に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているか。
- 受験生がアピールしている内容やそれにより培われた力が、大学進学後の物理学および応用物理学の学習に活かされることが期待できるか。
- 自然現象や科学に対して興味や関心があり、物理学および応用物理学を学習する強い意欲があるか。
- 入学後は一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義・演習・実験などの授業を受講するので、4年間で物理・応用物理学を卒業するために必要な基礎学力が備わっているか。

#### 第1次選考（書類選考）について

##### ■ 実施概要

複数の選考委員が「調査書」、「入学志望理由書」、「活動報告書」のPRポイントとアピールする内容を示す証明書類などを読んで、基準を満たしているか、評価ポイントを最低限クリアしているかなどを評価します。



#### 評価ポイント

広く社会に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかなどAO入試の趣旨に合致しているかどうか、入学後、大学で物理学および応用物理学を学習していく力（基礎学力と興味・関心）があるかどうかを評価します。

#### 第2次選考（面接）について

##### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接（約30分）を実施し、以下の評価ポイントの項で述べる点について、面接員の評価をもとに総合的に判断します。



#### 評価ポイント

- アピールしている内容を自分自身の言葉で説明でき、質問に明確に返答できるか。
- アピールしている内容やそれにより培われた力が、大学入学後の物理学および応用物理学の学習に活かされることが期待できるか。
- 自然現象や科学に対して興味や関心があり、物理学および応用物理学を大学で学ぶ意欲があるか。
- 将来について高校生らしい夢があり、それが関西大学システム理工学部物理・応用物理学科への入学志望理由と結びついているか。
- 高校で学んだ数学や物理の基礎学力があるか。

##### 🗨️ 選考委員のコメント

志望理由や自己アピールでは、うわべの概念を説明するだけでなく、自身の活動で得た学びを基盤にして具体的に表現することが必要です。第1次選考において受験者は、高校で力を入れた活動とその成果も示してくれました。努力を形になるまで続けられたことは大変素晴らしいことですが、AO入試では少なくとも全国レベルの成果が望ましいように思います。さらに、その成果を得るにあたって継続した努力、得た学びに基づいて、入学後の抱負を具体的に説明することが望まれます。抱負をまとめるにあたっては、インターネットやオープンキャンパス等で情報収集することも大事ですが、受験生の経験を本学の教育・研究内容に無理に合致させることは本末転倒です。自身の経験や学びを基盤にして、それが本学の教育内容に合致するかどうかを検討することが基本です。その点を取り違えているため、受験者が培った力、そしてその力を本学での学びにどのように活かすかが明確でない部分が見受けられました。

第2次選考では第1次選考での疑問点を確認するとともに、入学後の学習に必要な物理や数学の基礎学力が身につけているかを口頭試問により確認しました。試問内容は、高校授業の基本的な内容です。面接員の質問の意図を正しく捉え、適切に回答することが求められます。また、興味のあることによどのようなアプローチをしてきたかについても問い、自らの意見を論理的に説明できるかについても評価しました。

当学科への入学を希望する受験生には、研究内容について漠然とした憧れを持つだけでなく、物事の基本を一步一步積み上げて学習していく姿勢が望まれます。自然現象の基本を深く理解し、その知見を様々な分野で応用することができるためには、自らが得た知識や技能を積み上げる作業が最も重要だからです。高校での学習や課外活動において、物事を積み上げて完成させる経験を積んで欲しいと思います。

# 機械工学科【活動実績評価型】

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

- AO入試で受験するにふさわしいと考えられる実績を求めます。内容については出願書類を選考委員が審査して、広く社会的に認められた活動をしているか、専門的に秀でたものを持っているか、学力・人物的に優れているかどうかを評価します。
- 受験生のアピールしている内容について、大学進学後の学業に活かされるかどうかを審査します。
- 理工学の基盤となる高校課程の数学と理科の知識を十分に修得し、一般入学試験を経て入学した学生と遜色なく講義を理解する能力を有することが前提です。

## 第1次選考(書類選考)について

### ■ 実施概要

複数の選考委員が「調査書」、「入学志望理由書」、PRポイントとアピールする内容を示す証明書類などが基準(AO入試のポイント)を満たしているか、また下記の評価ポイントを最低限クリアしているかなどを評価します。



### 評価ポイント

受験生のアピールしている内容が機械工学科のAO入試受験者として相応しいものかを判断します。また高等学校における科目の履修状況と成績評価を詳しく確認し、特に数学と理科(物理)の履修状況と成績を重視します。加えて、受験生がアピールしている内容が、その分野で特に秀でたものであるかを審査します。なお、受験生がアピールしている内容は下記のように分類されます。

- (1) 勉学に関する事項(例えば、実用英語技能検定、実用数学技能検定、技術資格など)
- (2) 勉学には直接関係ない事項(例えば、技術的なコンテスト、運動部あるいは文化部の活動の実績・取り組み、ボランティア活動など)これらの内容は、授業の一環などで行ったものでなく、あくまでも自主的に行ったものかどうか、またその内容が入学後の学業にどのように繋がりのように活かされるのか、といった点を中心に審査します。

なお、第1次選考では履修状況・成績評価もしくはアピールの内容のどちらか一方のみで可否を判定せず、全てを総合的に審査します。

## 第2次選考(面接)について

### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接(20~30分程度)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、総合的に判断します。



### 評価ポイント

- 受験生がアピールしている内容について、どのようなレベルのものであるかを確認する。
- アピールした内容が、機械工学科に入学した後の学業にどのように活かされるのか、またその活動の継続について。
- 大学生生活や社会生活に必要なコミュニケーション能力の確認。
- 高等学校での数学、英語、理科(特に物理)を十分に履修し、その内容を十分に理解しているか。
- 将来的な職業への夢や希望をどのように抱いているか、それとアピールする内容にどのような関連があるか。

### … 面接員のコメント

審査に際し、履修状況や成績だけでなく、アピール内容や学習に対する意欲、さらに将来展望などがAO入試の趣旨に合致しているかどうか、システム理工学部のアドミッション・ポリシーに沿った人物像かどうかを総合的に評価しました。

面接では、受験生のアピールする内容について、どのように取り組んで来たのかを詳しく聞き取り、内容のレベル、実績と取り組む姿勢を評価しました。また、なぜ関西大学の機械工学科に進学するのか、どのように学びを発展させたいのかを聞き、学習の意欲を評価しました。学力については、システム理工学部のアドミッション・ポリシーに沿って、基礎的な知識や能力の確認を行いました。

入学後は、一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義を受け、単位を修得する必要があります。特に機械工学科では、必修科目の多くが高校課程の数学と理科の知識を十分に修得していることを前提に授業を実施しています。逆にこの前提に満たない場合は、入学はしても卒業できないことになりかねません。審査では数学・理科の知識も合わせて確認しますのでAO入試までに学習すべきと思いき基本事項については定着が必要です。また、単にAO入試で合格することを目的とするのではなく、それを礎に、一般入学試験でも十分合格できるだけの水準に達するように、意欲的で自発的な学習に取り組める者を求めます。

## 電気電子情報工学科【活動実績評価型】

### 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

#### 【AO入試のポイント】

- 選考委員各自が提出された出願書類を読み、広く社会的に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかどうかを評価します。
- 自己アピールの内容が電気電子情報工学科の内容とどのような関連をもち、入学後にこの分野を専門として取り組む際にどのように活かされるかを評価します。
- 入学後は一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義を受けて、単位を修得しなくてはならない関係上、特に数学(数学IIIまで)、理科(物理基礎・物理、化学基礎・化学)および英語については、ある程度以上の成績であることが必要と考えています。また、成績は自己アピールや志望動機の裏付けともなります。

### 第1次選考(書類選考)について

#### ■ 実施概要

複数の選考委員が「調査書」、「入学志望理由書」、PRポイントとアピールする内容を示す証明書類などが基準を満たしているか、評価ポイントを最低限クリアしているかなどを評価します。



#### 評価ポイント

- 「調査書」からは、受験生の人物と電気電子情報工学科の講義についていけるかどうかについて評価します。
- 自己アピールのポイントが、電気電子情報工学科でカバーする分野とどのように関連性があるかを「入学志望理由書」などから評価します。分野と関連の深い活動を最も高く評価します。資格についても評価しますが、分野との関連の深さ、資格の一般性、難易度が評価対象になります。それ以外の電気電子情報工学分野と直接関係が薄いと見なされるもの(例としては、クラブ活動(特にスポーツ系)、ボランティア活動、生徒会活動など)は分野との関連性がきちんと説明できている例は別として、高く評価することはありません。
- 「入学志望理由書」では、当該分野を志望する理由が具体的かつ論理的に記載されているかどうかの評価のポイントになります。また、アピール点との関連性も述べられている必要があります。当該分野ではハード、ソフトの両面を学ぶこととなりますので、どちらかに一方的に偏った志望があるような場合には、その点について考慮します。

### 第2次選考(面接)について

#### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接(約30分)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、3名の面接員の評価をもとに総合的に判断します。



#### 評価ポイント

以下の点について、評価のうえ、合否を決めます。

- 自己アピールの内容が、今後の学習意欲や大学での学生生活とどのように結びつき、電気電子情報工学科で学ぶことにどう活かしていこうと考えているのかを説明できること。
- 本人の入学志望理由と電気電子情報工学科で学ぶことの意味が明確に関連していることを説明できること。また高い目的意識をもっていることが確認できること。
- 関西大学システム理工学部電気電子情報工学科を選んだ理由を、学科の内容や特徴を踏まえて、明確に説明できること。
- 高校での学習内容および到達度が、電気電子情報工学科の講義についていけるものかを確認すること。

#### 🗨️ 選考委員・面接員のコメント

第1次選考では、自己アピールと学科内容とのミスマッチがないかを確認しました。また、学科内容との関連性が強い場合でも、各学校での特色あるプロジェクト学習や、コンテストのための課外活動に参加したというだけでは不十分で、本人が主体的に関わった様子を具体的にアピールする必要があります。高校主導で(全員受験など)取得した資格を並べるよりも、自身のアピールポイントを具体的に表現できることを高く評価します。また、入学志望理由について、この学科で勉強したいという熱意を述べる際には、他大学も調査したうえで、それでも関西大学を選んだ理由を述べてほしいと思います。学力についても評価対象としています。特に、数学、物理、化学、英語の成績を評価の対象としました。第1次選考では、必ずしもすべての評価ポイントを満たしているわけではありませんが、何らかの点で光るものがあつた人を合格としました。

第2次選考では、第1次選考で評価した点が本当に正しいかどうかを再確認するとともに、電気電子情報工学科を選択した理由や電気電子情報工学に関連した学問に対する意欲について評価しました。また、高校での学習分野と成績、および基礎学力の簡単な確認を行いました。基礎学力の確認では、題材は数学IIIを除く一般入試で求められる範囲から比較的基本的なものとしたが、ポイントを押さえて論理的に取り組む力を重視しました。AO入試は必ずしも学力のみを考慮するものではありませんが、基礎学力が無いと入学後に講義についていくことができず、留年することになります。こういうケースは必ずしも珍しいことではありません。AO入試受験者であっても、一般入試で求められる範囲には目を通してほしいと思います。以上の諸点を総合的に評価して合格者を選定しました。

## グリーンエレクトロニクス工学科【活動実績評価型】

### 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

#### 【AO入試のポイント】

- 選考委員各自が提出された出願書類を読み、広く社会的に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかどうかを評価します。
- 自己アピールの内容がグリーンエレクトロニクス工学科の内容とどのような関連をもち、入学後にこの分野を専門として取り組む際にどのように活かされるかを評価します。
- 入学後は一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義を受けて、単位を修得しなくてはならない関係上、特に数学(数学Ⅲまで)、理科(物理基礎・物理、化学基礎・化学)および英語については、ある程度以上の成績であることが必要と考えています。また、成績は自己アピールや志望動機の裏付けともなります。

### 第1次選考(書類選考)について

#### ■ 実施概要

複数の選考委員が「調査書」、「入学志望理由書」、PRポイントとアピールする内容を示す証明書類などが基準を満たしているか、評価ポイントを最低限クリアしているかなどを評価します。



#### 評価ポイント

- 「調査書」からは、受験生の人物とグリーンエレクトロニクス工学科の講義についていけるかどうかについて評価します。
- 自己アピールのポイントが、グリーンエレクトロニクス工学科でカバーする分野とどのように関連性があるかを「入学志望理由書」などから評価します。分野と関連の深い活動を最も高く評価します。資格についても評価しますが、分野との関連の深さ、資格の一般性、難易度が評価対象になります。それ以外のグリーンエレクトロニクス工学分野と直接関係が薄いと見なされるもの(例としては、クラブ活動(特にスポーツ系)、ボランティア活動、生徒会活動など)は分野との関連性がきちんと説明できている例は別として、高く評価することはありません。
- 「入学志望理由書」では、当該分野を志望する理由が具体的かつ論理的に記載されているかどうかの評価のポイントになります。また、アピール点との関連性も述べられている必要があります。当該分野ではハード、ソフトの両面を学ぶこととなりますので、どちらかに一方的に偏った志望があるような場合には、その点について考慮します。

### 第2次選考(面接)について

#### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接(約30分)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、3名の面接員の評価をもとに総合的に判断します。



#### 評価ポイント

次の点について評価して合否を決めます。

- 自己アピールの内容が、今後の学習意欲や大学での学生生活とどのように結びつき、グリーンエレクトロニクス工学科で学ぶことにどう活かしていこうと考えているのかを説明できること。
- 本人の入学志望理由とグリーンエレクトロニクス工学科で学ぶことの意味が明確に関連していることを説明できること。また高い目的意識をもっていることが確認できること。
- 関西大学システム理工学部グリーンエレクトロニクス工学科を選んだ理由を、学科の内容や特徴を踏まえて、明確に説明できること。
- 高校での学習内容および到達度が、グリーンエレクトロニクス工学科の講義についていけるものかを確認すること。

#### ● 面接員のコメント

第1次選考では、自己アピールと学科内容とのミスマッチがないかを確認しました。また、学科内容との関連性が強い場合でも、各学校での特色あるプロジェクト学習や、コンテストのための課外活動に参加したというだけでは不十分で、本人が主体的に関わった様子を具体的にアピールする必要があります。高校主導で(全員受験など)取得した資格を並べるよりも、自身のアピールポイントを具体的に表現できることを高く評価します。

また、入学志望理由について、この学科で勉強したいという熱意を述べる際には、他大学も調査したうえで、それでも関西大学を選んだ理由を述べてほしいと思います。学力についても評価対象としています。課外活動のみならず、高校での勉強においてどのくらい励んだかがアピールする必要があります。

特に、数学、物理、化学、英語の成績を評価の対象としています。第1次選考では、必ずしもすべての評価ポイントを満たしているわけではありませんが、何らかの点で光るものがあった人を合格としました。

第2次選考では、第1次選考で評価した点が本当に正しいかどうかを再確認するとともに、グリーンエレクトロニクス工学科を選択した理由やグリーンエレクトロニクスに関連した学問に対する意欲について評価しました。また、高校での学習分野と成績、および基礎学力の簡単な確認を行いました。基礎学力の確認では、題材は数学Ⅲを除く一般入試で求められる範囲から比較的基本的なものとしたが、ポイントを押さえて論理的に取り組む力を重視しました。

AO入試は必ずしも学力のみを考慮するものではありませんが、基礎学力が無いと入学後に講義についていくことができず、留年することになります。こういうケースは必ずしも珍しいことではありません。AO入試受験者であっても、一般入試で求められる範囲には目を通してほしいと思います。以上の諸点を総合的に評価して合格者を選定しました。

# 電気電子情報工学科【データサイエンス型】

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入試試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

- 選考委員各自が提出された出願書類を読み、学力・人物ともに優れているかどうかを評価します。
- 自己アピールの内容が電気電子情報工学科の内容とどのような関連をもち、入学後にこの分野を専門として取り組む際にどのように活かされるかを評価します。
- 提出された「ソフトウェアのソースコード」を見て、オリジナリティと今後の展望のあるものかどうかを評価します。
- データサイエンスについて自分の考えが説明できること、また、データサイエンスに関連した学問に対する意欲があるかどうかを評価します。
- 入学後は一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義を受けて、単位を修得しなくてはならない関係上、特に数学(数学Ⅲまで)、理科(物理基礎・物理、化学基礎・化学)および英語については、ある程度以上の成績であることが必要と考えています。また、成績は自己アピールや志望動機の裏付けともなります。

### 第1次選考(書類選考)について

#### ■ 実施概要

複数の選考委員が「調査書」、「入学志望理由書」、「課題レポート」、自らのプログラミング技術をアピールできるソースコードなどが基準を満たしているか、評価ポイントを最低限クリアしているかなどを評価します。



#### 評価ポイント

- 「調査書」からは、受験生の人物と電気電子情報工学科の講義についていけるかどうかについて評価します。
- 自己アピールのポイントが、電気電子情報工学科でカバーする分野とどのように関連性があるかを「入学志望理由書」などから評価します。分野と関連の深い活動を最も高く評価します。資格についても評価しますが、分野との関連の深さ、資格の一般性、難易度が評価対象になります。特に、データサイエンス、AI・IoTに関する深い知識と、データ分析手法やシステム開発に携わりたいという意欲を、自らのこれまでの学びに基づいて強く説明できることが重要です。
- 「入学志望理由書」では、当該分野を志望する理由が具体的かつ論理的に記載されているかどうかを評価のポイントになります。また、アピール点との関連性も述べられている必要があります。当該分野ではハード、ソフトの両面を学ぶことになりますので、どちらかに一方的に偏った志望があるような場合には、その点について考慮します。
- 提出した「ソフトウェアのソースコード」から自らのプログラミング技術をアピールする必要があります。

### 第2次選考(面接)について

2026年度入試においては、志願者がいなかったため、過年度入試の内容を掲載しています。

#### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、「課題レポート」と「ソフトウェアのソースコード」に関するパワーポイントをを用いたプレゼンテーション(5分)と、面接員3名による個人面接を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、3名の面接員の評価をもとに総合的に判断します。



#### 評価ポイント

以下の点について、評価のうえ、合否を決めます。

- 「課題レポート」と「ソフトウェアのソースコード」に関するプレゼンテーションにおいて、内容が明確かつ論理的に説明できていること。また、データサイエンスとそれらとの関連性について自身の考えが説明できること。
- 自己アピールの内容が、今後の学習意欲や大学での学生生活とどのように結びつき、電気電子情報工学科で学ぶことにどう活かしているのかを説明できること。
- 本人の入学志望理由と電気電子情報工学科で学ぶことの意味が明確に関連していることを説明できること。また高い目的意識をもっていることが確認できること。
- 関西大学システム理工学部電気電子情報工学科を選んだ理由を、学科の内容や特徴を踏まえて、明確に説明できること。
- 高校での学習内容および到達度が、電気電子情報工学科の講義についていけるものかを確認すること。

#### 🗨️ 選考委員・面接員のコメント

第1次選考では、自己アピールと学科内容とのミスマッチが無い確認しました。自身のアピールポイントを具体的に表現できることを高く評価しました。さらに、「課題レポート」と「ソフトウェアのソースコード」をみて、オリジナリティのあるものかどうかを中心に確認しました。たとえ長いプログラムでもオープンソースソフトウェアの寄せ集めでは高く評価できません。また、入学志望理由についても、この学科で勉強したいという熱意が伝わってくるものが高評価です。学力についても評価対象としています。特に、数学、物理、化学、英語の成績を評価の対象としました。第1次選考合格者は、必ずしもすべての評価ポイントを満たしているわけではありませんが、何らかの点で光るものがあつた人を合格としました。

第2次選考では、「課題レポート」と「ソフトウェアのソースコード」に関するパワーポイントをを用いたプレゼンテーションを行い、その内容について試問しました。説明内容が明確で論理的であるか、今後の展望が述べられるか、といった点から評価しました。なお、チームで開発した場合には寄与した部分を評価の対象としました。また、第1次選考で評価した点 genuinely 正しいかどうかを再確認するとともに、電気電子情報工学科を選択した理由やデータサイエンスに関連した学問に対する意欲について評価しました。さらに、高校での学習分野と成績、および基礎学力の簡単な確認を行いました。基礎学力の確認では、題材は数学Ⅲを除く一般入試で求められる範囲から比較的基本的なものとしましたが、ポイントを押さえて論理的に取り組む力を重視しました。AO入試は必ずしも学力のみを考慮するものではありませんが、基礎学力が無いと入学後に講義についていくことができず、留年することになります。こういうケースは必ずしも珍しいことではありません。AO入試受験者であっても、一般入学試験の入試問題には目を通してほしいと思います。以上の諸点を総合的に評価して合格者を選定しました。

■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)		募集人員	第1次選考		第2次選考
				志願者	合格者	合格者
システム理工学部	活動実績評価型	数学科	11	3	2	2
		物理・応用物理学科		1	1	1
		機械工学科		3	2	2
		電気電子情報工学科		6	2	2
		グリーンエレクトロニクス工学科		1	1	1
	データサイエンス型	電気電子情報工学科		1	0	0
	計			15	8	8

# 環境都市工学部

これまで情熱を傾けてきた取り組みなどが、志望学科での学びにどのように繋がるのかが問われます。

環境都市工学部の基本コンセプトは、地球環境にやさしい「まちづくり」です。私たちが心豊かに安心して暮らすためには、安全で機能的な都市空間を持続的に発展させる必要があります。近代都市においては、過度の都市集中によって人口や交通上の問題が引き起こされ、資源が大量に消費されることでさまざまな環境汚染を作り出しています。さらに、未知のウイルスによるパンデミックへの社会的な対処も必要となります。私たちは、科学技術の力を駆使してこれらの問題を解決していかなければなりません。

現在、環境都市工学部を構成する3学科では、2015年国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)のコンセプトをそれぞれの研究分野に融合して、21世紀の都市が自然環境と共存できる洗練された人間環境となることをめざしています。このコンセプトのキーワードには、環境、都市デザイン、建築、社会基盤、情報、資源、エネルギー、環境化学プロセスといった環境都市工学部と深くかわるものが多いことに注目し、環境問題をはじめ、さまざまな課題の解決に向けて科学技術の力を発揮し、国際的に活躍できる人材を養成していきます。

このため、AO入試では、知識の蓄積だけでなく自ら考えることができる人、社会貢献に対する目的意識が強い人、持続可能な都市設計および環境保全(SDGs)に興味がある人を受け入れることを望んでいます。第1次選考で提出いただく入学志望理由書には、みなさんのアピールポイントが、本学部・学科で学ぶこととどのように関係し、どのように活かされるのかを、自分のことばで説得力をもって書いていただきたいと思っています。第2次選考の面接では、提出書類に基づいた質問に対する受け答えにより、これまでの経験から身につけてきた考えや個性、コミュニケーション能力などについて見極めていきます。単に受験のための勉強だけでなく、広く社会的に認められたその他の活動についても評価し、学力・人物ともに優れた人の入学を期待するものです。

これからの都市と地球は、皆さん自身にかかっています。環境都市工学部で、新しい「まちづくり」にチャレンジしてください。



環境都市工学部長・教授 池永直樹

## 合格者からのメッセージ



都市システム工学科

小澤 翔大

静岡県  
県立 藤枝西高等学校出身  
2026年度 入学生

### 暮らしを脅かす環境課題に関西大学環境都市工学部の学びで挑む

日課であるランニングを通じて都市のヒートアイランド現象や緑の消失を肌で感じ、強い危機感を抱きました。異常気象が日常となる中、人々の暮らしを守る具体的な解決策を追求したいと考えたのが、関西大学環境都市工学部を志望した大きな理由です。環境や交通など多角的視点から問題解決を図る学びの姿勢に魅力を感じました。

特に尾崎平教授の、人々の命を守るための実践的な研究に強く惹かれました。膨大なデータを解析し、社会システムを計画・管理する技術を習得できる環境は、私の問題意識を研究へと昇華できる最高の場だと確信しています。

AO入試を通じ、自らの情熱を全力で伝えられたことを誇りに思います。人々の命と快適な暮らしを守る、安全で質の高い社会の実現に向け、憧れの学び舎で学んでいけることがとても楽しみです。

### 第2次選考(面接、小論文、プレゼンテーション等)の対策はどのようにしましたか?

自分の関心や経験と志望学部での学びを結びつけるため、専門知識を深めました。面接練習では家族の協力も得て、相手に伝わりやすい話し方を意識しました。また、分からない質問でも自分の考えを述べられるよう、幅広い分野から情報を集めて多角的に考える力を養いました。

### 所属学部(学科・専攻)を志望したきっかけは?

近年深刻化している自然災害に興味を持ち、その脅威から人々を守りたいと思ったことがきっかけです。地震や洪水等の災害は、都市の構造そのものに問題があるのではないかと考えるようになり、都市システム工学科では、美しい自然や人々の暮らしを災害から守るための研究ができることに魅力を感じたからです。



エネルギー環境・化学工学科

渡辺 ルリ子

大阪府  
府立 住吉高等学校出身  
2026年度 入学生

### 高校での発見を、関西大学環境都市工学部で地球規模の研究に変える

高校の探究授業にて、プラスチックストローの代替品となる蜜蝋コーティングを研究しました。この経験で、既存の論文にない新しい挑戦にやりがいを感じましたが、二酸化炭素排出量の調査までは至らず、専門的な知識の必要性を痛感しました。

関西大学は環境都市工学部を含む14学部を擁する総合大学であり、他学部との交流も通じて多様な視点から学べる点に強く惹かれました。特に福康二郎准教授の下で、クリーンな化学エネルギーへの変換技術などの研究に再挑戦したいと考えています。

また、高校時代のハワイ研修での海洋保護の見学やチャダンス部での活動を通じ、何事にも挑戦する大切さを学んだ私にとって、台湾の大学への「DDブリッジプログラム」など、世界を視野に入れた学びの環境も大きな魅力です。人間と様々な生物が共存できる地球環境を取り戻したいという強い志を持って学んでいきます。

### AO入試を受験して得たことは?

自分自身と真剣に向き合う力です。これまでの経験や強み・弱みを振り返り、将来の目標と結びつけて言語化する過程は簡単ではありませんでしたが、自分の考えを整理し、表現する力が身につきました。この経験は、今後の学びや将来に必ず生かせるものだと感じています。

### AO入試の受験を考えている受験生へのメッセージ・アドバイス

まず「何を学びたいのか」を大切にしてほしいです。大学名や雰囲気だけでなく、自分の夢を実現できるかどうかを考えることが重要です。対策の第一歩として自己分析を行い、高校生活やこれまでの経験を振り返ることで、自分自身を深く理解できます。志望学部のアドミッション・ポリシーを確認して、自分と重ねながら受験を考えてほしいです。

## 建築学科【活動実績評価型】

### 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

#### 【AO入試のポイント】

- 選考委員各自が出願書類を精読し、広く社会的に認められた活動や資格を有していて、学力・人物ともに優れているかどうかを評価します。
- 受験生の活動実績が、建築学を学ぶこととどのように関係し、入学後の建築学科における研鑽にどのように活かされるのかが、明確なビジョンと説得力をもって説明できているかを評価します。
- 入学後は一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義・演習を受講し学習することから、高等学校などでの成績も軽視できないものと考えています。

#### 第1次選考(書類選考)について

##### ■ 実施概要

「調査書」、「入学志望理由書」、「活動報告書」と証明書類などから、学部が定める基準を満たしているか、評価ポイントをクリアしているかを、複数の選考委員によって評価します。



#### 評価ポイント

- 広く社会的に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかどうか、そして入学後に建築学を専門的に学ぶ意欲と能力があるかどうかを評価します。
- 大学における建築学の専門教育と関係する学術的活動やデザイン等の芸術活動、創作活動はもとより、直接的には関係しない、例えばスポーツ活動や音楽活動、ボランティア活動、生徒会活動等についても、その取り組み方や内容等を評価の対象にしています。ただし、それらの活動や実績が、これから大学で建築を学ぼうとする姿勢やそのための資質と、どのように関係しているのかが明確に説明されている必要があります。

#### 第2次選考(面接)について

##### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接(約30分)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、3名の面接員の評価をもとに総合的に判断します。



#### 評価ポイント

次の点について評価して合否を決めます。

- 受験生本人のアピールしている内容が、今後の学習意欲や大学での学生生活とどのように結びつき、建築学科において建築学の専門教育を受けることにそれがどのように関係し、またどのように活かされるのか。
- 関西大学環境都市工学部建築学科の特徴、教育理念を十分理解し、建築学科で建築学を専攻することの意義、目的を明確に自覚しているか。
- 一般入学試験を経て入学した学生との学力差がなく、建築学科の講義・演習・実習の内容を修得するに足る基礎的能力が備わっているか。

##### … 面接員のコメント

受験者に対して、関西大学環境都市工学部建築学科の教育・研究の特徴をよく理解し、建築学科で学ぶことの意味・意義を明確に自覚しているかをまず確認しました。そして、アピールする活動や日常生活における経験が建築とどのように関わり、入学後の建築学科における学びにどのように繋がるのかについて質問をしました。面接を通して、建築に関する強い興味と関心を抱いていることはもとより、さまざまな建築に関連した事柄に広く好奇心を持っていること、入学後はさらに勉学に励もうとする意欲と熱意を評価しました。

## 建築学科 [SDGs型]

### 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

#### 【AO入試のポイント】

- 選考委員各自が出願書類を精読し、SDGsへの理解が深く、SDGsに関する活動などが認められ、学力・人物ともに優れているかどうかを評価します。
- 受験生のSDGsへの理解や活動が、建築学を学ぶこととどのように関係し、入学後の建築学科における研鑽にどのように活かされるのかが、明確なビジョンと説得力をもって説明できているかを評価します。
- 入学後は一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義・演習を受講し学習することから、高等学校などでの成績も軽視できないものと考えています。

#### 第1次選考(書類選考)について

##### ■ 実施概要

「調査書」、「課題レポート」、「入学志望理由書」から、学部が定める基準を満たしているか、評価ポイントをクリアしているかを、複数の選考委員によって評価します。

##### 🔍 評価ポイント

SDGsに対する深い知識、活動、現在の建築学における課題の解決とめざすべき将来像の実現に対する意見、それらに取り組む行動意欲などを評価します。また、学力・人物ともに優れているかどうか、そして入学後に建築学を専門的に学ぶ力があるかどうかを評価します。

#### 第2次選考(面接)について

2026年度入試においては、志願者がいなかったため、過年度入試の内容を掲載しています。

##### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、「課題レポート」に関するパワーポイントを用いたプレゼンテーション(5分)と、それに対する面接員3名による個人面接(約25分)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、3名の面接員の評価をもとに総合的に判断します。

##### 🔍 評価ポイント

次の点について評価して合否を決めます。

- 課題レポートの内容に関して、SDGsをよく理解し、受験生独自の視点からの考察や提案内容について、今後の学習意欲や大学での学生生活とどのように結びつき、建築学の専門教育を受けることにそれがどのように関係し、またどのように活かされるのか。
- 関西大学環境都市工学部建築学科の特徴、教育理念を十分理解し、建築学科で建築学を専攻することの意義、目的を明確に自覚しているか。
- 一般入学試験を経て入学した学生との学力差がなく、建築学科の講義・演習・実習の内容を修得するに足る基礎的能力が備わっているか。

##### 💬 面接員のコメント

SDGsの内容をよく理解し、それらに関連する活動が一定水準認められることを確認した上で、関西大学環境都市工学部建築学科の教育・研究の特徴をよく理解し、建築学科で学ぶことの目的・意義を明確に自覚しているかをまず確認しました。課題レポートに関するプレゼンテーションでは、内容はもちろんのこと、構成や表現についても評価しました。そして受験生独自の視点からの考察や提案内容について、建築とどのような関わりがあるか、また今後どのような形で建築学科における学びに繋げるのか、などの質問をしました。さらに、建築に関する強い興味と関心を抱いていることはもとより、さまざまな建築に関連した事柄に広く好奇心をもっていること、入学後はさらに勉学に励もうとする意欲と熱意を評価しました。

# 都市システム工学科【活動実績評価型】

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

- 選考委員が出願書類を読み、広く社会的に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかどうかを評価します。
- 受験生のアピールしている内容が都市システム工学科とどのように関係し、入学後に当該学科の勉学に取り組むのにどのように活かされるのかを評価します。
- 入学後は一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義・演習・実習科目を履修しなければならないため、数学、物理学、英語等の基礎科目の修得状況を提出書類や面接により評価します。

## 第1次選考(書類選考)について

### ■ 実施概要

2名の選考委員が「活動報告書」、「入学志望理由書」、「調査書」およびPRポイントとアピールする内容を示す証明書類などを確認し、出願基準を満たしているかどうかや、評価ポイントを最低限クリアしているかどうかなどを評価します。



### 評価ポイント

社会的に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかどうかを評価するとともに、アピールした内容が受験生固有の能力に基づくものである点を重点的に評価します。また、受験生のアピール内容が、都市システム工学科において今後どのように活かされるのかという観点に基づいて評価します。

## 第2次選考(面接)について

### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接(約30分)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、3名の面接員の評価をもとに総合的に判断します。



### 評価ポイント

次の点について評価して合否を決めます。

- 受験生本人のアピールしている内容と都市システム工学科における専門教育との関係性や有用性
- 関西大学環境都市工学部都市システム工学科の特徴、教育理念および都市システム工学科で学ぶことの意義に関する理解、ならびに理工系全般で学ぶための基礎知識
- 一般入学試験を経て入学した学生と同等程度の基礎学力を有していること
- 都市システム工学と建築学との違いに関する理解度
- 勉学などへの意欲、努力、熱意
- 大学で学んだ専門を将来に活かすビジョン

### … 面接員のコメント

都市システム工学科の教育・研究の特徴に対する理解と、入学を希望する上での目的意識を確認しました。そして、本人の活動実績に基づいた自己アピール内容が都市システム工学科での勉学にどのように役立つのかを質問し、具体的な将来ビジョンを語ってもらいました。また、大学における講義や演習等の内容を理解するための基礎学力に関しても高校での成績をもとに質問などで確認しました。以上のような面接における受け答え、社会的礼儀、態度および学業に対する心構えを総合的に評価し、合格に値する学生を判断しました。

## 都市システム工学科【SDGs型】

### 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

#### 【AO入試のポイント】

- 選考委員が出願書類を読み、SDGsに関する理解・取り組み、社会貢献への意欲を有し、学力・人物ともに優れているかどうかを評価します。
- 受験生のアピールしている内容が都市システム工学科とどのように関係し、入学後に当該学科の勉学に取り組むのにどのように活かされるのかを評価します。
- 入学後は一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義・演習・実習科目を履修しなければならないため、数学、物理学、英語等の基礎科目の修得状況を提出書類や面接により評価します。

### 第1次選考(書類選考)について

#### ■ 実施概要

2名の選考委員が「課題レポート」、「入学志望理由書」、「調査書」を確認し、評価ポイントを最低限クリアしているかどうかなどを評価します。

#### 🔍 評価ポイント

SDGsに関する深い理解・取り組みおよび社会貢献への意欲を有し、学力・人物ともに優れているかどうかを評価するとともに、アピールした内容が受験生固有の能力に基づくものである点を重点的に評価します。また、受験生のアピール内容が、都市システム工学科において今後どのように活かされるのかという観点に基づいて評価します。

### 第2次選考(面接)について

#### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、「課題レポート」に関するパワーポイントを用いたプレゼンテーション(5分)と、それに対する面接員3名による個人面接(約25分)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、3名の面接員の評価をもとに総合的に判断します。

#### 🔍 評価ポイント

次の点について評価して合否を決めます。

- 受験生本人のアピールしている内容およびSDGsに関するプレゼンテーションの内容と都市システム工学科における専門教育との関係性や有用性
- SDGsに関するプレゼンテーションについての質疑応答
- 関西大学環境都市工学部都市システム工学科の特徴、教育理念および都市システム工学科で学ぶことの意義に関する理解、ならびに理工系全般で学ぶための基礎知識
- 一般入学試験を経て入学した学生と同等程度の基礎学力を有していること
- 都市システム工学と建築学との違いに関する理解度
- 勉学などの意欲、努力、熱意
- 大学で学んだ専門を将来に活かすビジョン
- 国際化への意識の有無と外国語の取り組み姿勢

#### 💬 面接員のコメント

都市システム工学科の教育・研究の特徴に対する理解と、入学を希望する上での目的意識を確認しました。そして、本人の自己アピール内容とSDGsに関するプレゼンテーションの内容が都市システム工学科での勉学にどのように役立つのかを質問し、具体的な将来ビジョンを語ってもらいました。また、大学における講義や演習等の内容を理解するための基礎学力に関しても高校での成績をもとに質問などで確認しました。以上のような面接における受け答え、社会的礼儀、態度および学業に対する心構えを総合的に評価し、合格に値する学生を判断しました。

# エネルギー環境・化学工学科【活動実績評価型】

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

- 選考委員各自が出願書類を読み、広く社会的に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかどうかを評価します。
- 受験生のアピールしている内容がエネルギー環境・化学工学科とどのように関係し、入学後に専門としてエネルギー環境分野に化学工学などの工学技術を応用して取り組むために、どのように活かされるのかを評価します。

### 第1次選考(書類選考)について

2026年度入試においては、志願者がいなかったため、過年度入試の内容を掲載しています。

#### ■ 実施概要

2名の選考委員が「調査書」、「入学志望理由書」、PRポイントとアピールする内容を示す証明書類などが基準を満たしているか、評価ポイントを最低限クリアしているかなどを評価します。



#### 評価ポイント

- 広く社会的に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかどうか、入学後にエネルギー環境・化学工学を専門的に勉強していく力があるかどうかを評価します。
- 受験生がアピールしている点が、大学における本学科の専門教育と直接関係ないもの(例としては、運動部の活動成績・取り組み、ボランティア活動、生徒会活動の取り組みなど)は参考程度の評価にとどめ、基本的には可否に関する評価をしないことにしています。ただし、活動実績として環境問題に関するボランティア活動や調査研究、エネルギー環境に関するセミナーへの参加、取得した資格など能力的なものを示すアピールは評価することにしています。

### 第2次選考(面接)について

2026年度入試においては、志願者がいなかったため、過年度入試の内容を掲載しています。

#### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接(約30分)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、3名の面接員の評価をもとに総合的に判断します。



#### 評価ポイント

次の点について評価して可否を決めます。

- 受験生本人のアピールしている内容が、エネルギー環境・化学工学科において化学工学などの専門教育を受けることにどのように関係し、どのように活かされるのか。
- 関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科の特徴、教育理念、具体的なカリキュラムを理解し、専門教育科目を勉強する意義を理解しているか。
- 一般入学試験を経て入学した学生との学力差がなく、エネルギー環境・化学工学科の教育プログラムについていけるか。

#### … 面接員のコメント

受験生の高校での履修状況や成績だけでなく、当学科のアドミッション・ポリシーやAO入試の評価ポイントに沿って可否を判断しました。

合格者は、エネルギー環境・化学工学科における教育内容を理解した上で、当学科への強い興味と将来ビジョンを持っていることがうかがえました。入学後、積極的に学習したいという熱意と意欲が感じられました。

## エネルギー環境・化学工学科 [SDGs型]

### 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

#### 【AO入試のポイント】

- 選考委員各自が出願書類を読み、広く社会的に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかどうかを評価します。
- 受験生のアピールしている内容がエネルギー環境・化学工学科とどのように関係し、入学後に専門としてエネルギー環境分野に化学工学などの工学技術を応用して取り組むために、どのように活かされるのかを評価します。

#### 第1次選考(書類選考)について

##### ■ 実施概要

2名の選考委員が「調査書」、「課題レポート」、「入学志望理由書」を確認し、評価ポイントを最低限クリアしているかなどを評価します。



#### 評価ポイント

- 広く社会的に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかどうか、入学後にエネルギー環境・化学工学を専門的に勉強していく力があるかどうかを評価します。
- 受験生がアピールしている点が、大学における本学科の専門教育と直接関係ないもの(例としては、運動部の活動成績・取り組み、ボランティア活動、生徒会活動の取り組みなど)は参考程度の評価にとどめ、基本的には合否に関する評価をしないことにしています。ただし、環境問題に関するボランティア活動や調査研究、エネルギー環境に関するセミナーへの参加、取得した資格など能力的なものを示すアピールは評価することにしています。

#### 第2次選考(面接)について

##### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、「課題レポート」に関するパワーポイントを用いたプレゼンテーション(5分)と、それに対する面接員3名による個人面接(約25分)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、3名の面接員の評価をもとに総合的に判断します。



#### 評価ポイント

次の点について評価して合否を決めます。

- 課題レポートに関するプレゼンテーションと質疑応答を通じて、SDGsに関する深い知識と課題解決への意欲をこれまで学んだことに基づいて強く説明できているか。
- 受験生本人のアピールしている内容が、エネルギー環境・化学工学科において化学工学などの専門教育を受けることにどのように関係し、どのように活かされるのか。
- 関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科の特徴、教育理念、具体的なカリキュラムを理解し、専門教育科目を勉強する意義を理解しているか。
- 一般入学試験を経て入学した学生との学力差がなく、エネルギー環境・化学工学科の教育プログラムについていけるか。

##### … 面接員のコメント

受験生の高校での履修状況や成績だけでなく、当学科のアドミッション・ポリシーやAO入試の評価ポイントに沿って合否を判断しました。

合格者は、エネルギー環境・化学工学科における化学工学教育の内容を理解した上で、強い興味と将来のビジョン等をパワーポイントを使ってプレゼンテーションしてくれました。入学後、積極的かつ熱心に学習したいという気持ちが伝わってきました。

#### ■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)	募集人員	第1次選考		第2次選考	
			志願者	合格者	合格者	
環境都市工学部	活動実績評価型	建築学科	8	14	3	1
		都市システム工学科		6	2	2
		エネルギー環境・化学工学科		0	0	0
	SDGs型	建築学科		9	0	0
		都市システム工学科		6	2	2
		エネルギー環境・化学工学科		3	3	2
計			38	10	7	

化学生命工学部は、化学・物質・生命科学を基盤として、自然現象を深く理解し、その原理をもとに新しい材料や生体分子を設計・創出できる人材の育成をめざしています。これからのものづくりには、高い専門性に加え、環境や社会への影響まで見据える科学的視点と責任感が不可欠です。本学部では、課題を自ら設定し、実験と検証を通して解決へ導く論理的思考力と構想力を養います。

AO入試では、知識量だけでなく、主体的に探究してきた経験や、理工系分野で挑戦しようとする明確な目的意識を評価します。

「探究評価型」では、実験・調査などを通して得た成果とその過程を重視します。

「実績評価型」では、文化・芸術活動や高度な資格など、分野で培った実績とそこから得た学びを評価します。

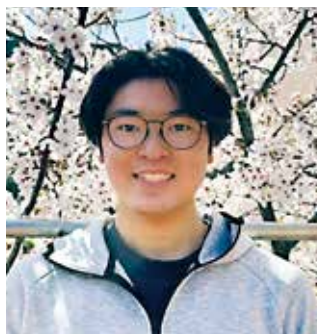
「関大メディカルポリマー(KUMP)型」(化学・物質工学科のみ)では、医療用ポリマーを活用した医療機器開発に関心をもち、この分野で貢献する意欲をもつ人を対象とします。

理工系分野で自ら問いを立て、新しい価値を社会に実装したいと考える皆さんの挑戦を期待しています。



化学生命工学部長・教授 川崎 英也

## 合格者からのメッセージ



化学・物質工学科  
村上 慧

静岡県  
県立 科学技術高等学校出身  
2026年度 入学生

### 化学×生命×工学 枠を超えた学びで、まだ見ぬ素材を創り出す

将来は環境負荷の少ない新素材開発を通じ、持続可能な社会を実現したいと考えています。そう考えるようになったきっかけは、高校時代に体験した課題研究です。原料の僅かな違いが物質の性質を大きく変えることを知り、より高度な分子設計に挑戦したいと考えようになりました。

関西大学化学生命工学部を志望したのは、化学のみならず生命科学や工学的アプローチを組み合わせた独自の教育・研究体制に強く惹かれたからです。特にバイオマス資源を活用した機能性高分子の研究や、最先端の研究設備に触れられる環境は、私が描く「学際的に学びを融合させ、新しい価値を創造する研究者像」を実現するうえで最適だと確信しています。

入学後は多様な専門性を持つ仲間と積極的に議論し、協力しながら、環境保全と利便性を両立する素材創成に挑みたいです。

### 第2次選考(面接、小論文、プレゼンテーション等)の対策はどのようにしましたか?

私は工業高校の電子物質工学科に所属し、アニリンの生成実験や各種分析など多くの実習に取り組んできました。印象に残ったこれまでの実験内容を整理し、関心を持った理由やどんな学びを得たかを自分の言葉で説明できるよう準備しました。面接練習やレポートの見直しを通して理解を深め、学部での学びにつなげて説明できるよう意識しました。

### AO入試の受験を考えている受験生へのメッセージ・アドバイス

AO入試では、自身の強みや関心をいかに言語化し、具体的に伝えられるかが重要だと感じました。これまでの経験を整理し、学部での学びとどのように結びつのかを明確にすることが、準備の土台になりました。また、第三者の視点を取り入れることで新たな気づきを得ることができると、高校の先生や友人にアドバイスをもらうことをおすすめします。



生命・生物工学科  
南 柚乃

兵庫県  
県立 尼崎小田高等学校出身  
2026年度 入学生

### 関西大学化学生命工学部の学びで、商品開発への一歩を踏み出す

私は肌トラブルに悩む人に寄り添い、誰もが安心して使用できる化粧品を開発したいと考えています。自身の肌荒れの経験から成分の作用メカニズムに興味を抱き、高校での探究活動を通じて論理的思考力や課題設定力を磨きました。

関西大学化学生命工学部を志望した理由は、産官学連携の拠点である「イノベーション創成センター」があり、企業のニーズを反映した最先端の研究に直接触れられる点に大きな魅力を感じたからです。また、文理問わず同じキャンパスに集う環境は、多角的な視点を養ううえで非常に重要だと実感したこと、さらに高大連携セミナーに参加した際、丁寧な指導をいただいたことも志望を後押ししました。

構造生物学や微生物学など、関西大学化学生命工学部ならではの高度な知識の修得をめざし、社会に貢献できる研究者へと成長することを強く決意しています。

### 所属学部(学科・専攻)を志望したきっかけは?

肌トラブルに悩む人に寄り添い、安心して使える化粧品の開発をめざしています。同じ製品でも使う人によって反応が異なった経験から個人差に関心を持ち、成分の作用やタンパク質の働きに興味を深めました。構造生物学や微生物学を学び、その知見を社会に役立つ化粧品開発に生かしたいと考え、志望しました。

### 出願書類を作成するうえで工夫した点や苦勞した点は?

出願書類はいずれも文字数が多かったため、内容を広げすぎず、文章の一貫性を意識して作成しました。志望理由書では関西大学でしか学べない点と自身の関心を結びつけ、活動報告書では探究活動を通して得た成長を大学でどう生かせるかを深く掘り下げました。また、第三者に説明することで考えを整理し、入学後の学生生活を具体的に思い描きながら準備を進めました。

## 化学・物質工学科【探究評価型】

### 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

#### 【AO入試のポイント】

- 探究活動の内容に加え、探究活動を行う上で工夫した点や、自身の活動をわかりやすく説明できるかを評価します。また、探究活動が化学・物質工学科を志望する動機とどのように関連しているかも評価の対象とします。
- 大学の講義内容を理解できる基礎学力が備わっているかを判断するために、高等学校での学業成績や面接（第2次選考）での口頭試問の内容も考慮します。
- 面接（第2次選考）では、探究活動の内容、入学志望理由、コミュニケーション能力、勉学意欲、さらに大学での修学に必要な基礎学力の確認などを評価の対象とします。

#### 第1次選考（書類選考）について

##### ■ 実施概要

2名の選考委員が個別に調査書、入学志望理由書、探究活動の成果物などを、次に示す評価ポイントを中心に評価します。

##### 🔍 評価ポイント

- 探究活動の内容が、実験・調査・観察などによりデータを収集し、新たな知見の獲得をめざした優れた内容であるかを評価します。また、独自の視点が盛り込まれているかも重視します。単なる理科の実験にとどまり、新たな知見を得ようとする意図が見られないものについては、高く評価しません。
- 入学後に理工系の基礎科目や専門教育科目（専門分野）を修学するために必要な基礎学力が備わっているかを評価します。
- 調査書および入学志望理由書の文章が論理的であるか、また志望理由が化学・物質工学科の内容に合致しているかを評価します。
- 探究活動の内容が化学に関連した活動を高く評価しますが、分野との関連性が薄い場合でも、その活動を通じて化学・物質工学科への進学を希望するに至った経緯が十分に説明されていれば、評価の対象とします。

#### 第2次選考（面接）について

##### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接（約30分）を実施し、各面接員の評価をもとに総合的に判断を行います。

##### 🔍 評価ポイント

次の点について評価して合否を決定します。

- 探究活動の内容をわかりやすく説明できるか。
- 探究活動の成果を達成するために工夫した点を、論理的かつわかりやすく説明できるか。
- 探究活動の内容に関連する既知の事項をきちんと調べ、理解しているか。
- 本学科を志望した理由やAO入試を選択した理由を、論理的かつわかりやすく説明できるか。
- 化学・物質工学科の特徴や、本分野を専攻することの意義を自分なりに理解し、自分の言葉で説明できるか。
- 理工系の基礎科目や専門教育科目（専門分野）を修得するために必要な基礎学力を有しているか。
- コミュニケーション能力や、勉学に対する意欲、努力、熱意を備えているか。

##### 💬 選考委員・面接員のコメント

###### 〈第1次選考（書類選考）〉

探究活動の内容が科学的に一般的なレベル以上であること。また、グループでの実施の場合、役割分担が明確で、主導的に取り組んでいること。また、できるだけ多くの実験・観察を行い、その結果を科学的に考察しているかに主題を置いて判断しました。特に、実験していく中でうまくいかなかったことに対するその対処方法、工夫点に関して評価しました。

###### 〈第2次選考（面接）〉

探究活動の内容に関して、主体的に取り組んだ点、工夫点に関してアピールしてもらいました。また、数学、化学に関する基礎学力の確認を行い、大学での授業についていけるかの判断を行いました。

# 化学・物質工学科【実績評価型】

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

- 選考委員各自が出願書類を読み、広く社会的に認められた活動や資格を有し、学力・人物ともに優れているかどうかを評価します。
- 入学志望理由、高等学校での成績などがAO入試の趣旨に適しているかどうかを判断します。
- 受験生のアピールしている内容が化学・物質工学科をめざす者としてどのように関係し、入学後に専門分野に取り組むのにどのように活かされるのかを評価します。
- 入学後は一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義を受け、演習・実験を行わなければならないため、特に理系科目（化学・数学・物理など）を十分にマスターしていることが重要と考えます。

## 第1次選考（書類選考）について

### ■ 実施概要

2名の選考委員が、「調査書」、「入学志望理由書」、PRポイントとアピール内容を示す証明書類などを、次に示す評価ポイントを中心に評価します。



### 評価ポイント

- 広く社会的に認められた活動や資格を有しているかどうか、入学後に専門分野の知識を修得する基礎学力があるかどうかなどを評価します。
- 受験生のアピールしている内容については、化学・物質工学科における専門分野の教育と直接関係するものを高く評価しますが、クラブ活動、ボランティア活動、生徒会活動の取り組みなども評価します。

## 第2次選考（面接）について

### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接（約30分）を実施し、3名の面接員が次に示す評価ポイントをもとに総合的に判断します。



### 評価ポイント

以下の点について、評価のうえ、合否を決定します。

- 受験生のアピールしている内容が、化学・物質工学科において専門教育を受けることにどのように関係し、どのように活かされるのを見極めます。
- 大学の教育理念、化学・物質工学科の特徴および化学・物質工学科を専攻することの意義を理解しているかどうかを見極めます。
- 一般入学試験を経て入学した学生との学力差がなく、専門分野の授業についていけるかどうかを見極めます。

### … 選考委員・面接員のコメント

#### 〈第1次選考（書類選考）〉

活動内容が高校生として秀でていと判断されるものを高く評価しました。逆に一般的なクラブ活動レベルや、多くの人が修得可能な資格ではAO入試として秀でていと判断できませんでした。

#### 〈第2次選考（面接）〉

面接では、入学志望理由書に記載されたこれまでの取り組みについて質問し、さらなるアピール点を確認するとともに、その取り組みと化学・物質工学科での学びへの意欲との関連性を評価しました。さらに、化学・数学・物理などに関する基礎学力が、化学・物質工学科で学習していくうえでの必要な一定の水準を確保しているか、また入学後、化学・物質工学科で化学や物質に関する知的好奇心を持って学習に励んでくれるかという点を踏まえて総合的に判断し、合否を判定しました。

なお、より高度な内容を含む大学での専門教育科目の修得には、十分高いレベルの基礎学力が必要です。合格した方々が大学入学までの時間を有効に活かし、大学入学前教育に熱心に取り組まれ、大学入学後の勉学に備えられることを期待します。

## 化学・物質工学科【関大メディカルポリマー(KUMP)型】

### 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

#### 【AO入試のポイント】

- 受験生のアピールしている内容が、関大メディカルポリマー(KUMP)が期待する人物像に合致するか、KUMPの取り組む研究に将来従事する素養があるか、入学後に専門分野に取り組むのにどのように活かされるのかを評価します。
- 選考委員各自が出願書類として提出された「課題レポート」をもとに、Web講義の内容が理解できており、その内容が的確にまとめられているかを確認します。
- 入学志望理由、高等学校での成績などがAO入試KUMP型の趣旨に適しているかどうかを判断します。
- 入学後は一般入学試験を経て入学した学生と同じ講義を受け、演習・実験を行わなければならないため、特に理系科目を十分に修得していることが重要と考えます。

#### 第1次選考(書類選考)について

##### ■ 実施概要

3名の選考委員が「入学志望理由書」、「調査書」などが基準を満たしているかを評価します。さらには、「課題レポート」についてはWeb講義の内容が理解できており、課題レポートが的確にまとめられているか、その内容と理解度が最低限をクリアしているかなどを評価します。



#### 評価ポイント

工学の基礎となる高校課程の数学と理科の学習内容を十分習得していることに加えて、特に「関大メディカルポリマー(KUMP)の研究内容と関連した材料やしくみの設計を通した『ものづくり』によって社会に貢献する目的意識の強い学生」、「好奇心が強く新しい事象を学んだり新しい価値を生み出したりすることに喜びを感じることでできる学生」、「単に知識を増やすだけでなく自ら考えることでできる学生」かを評価します。

#### 第2次選考(面接)について

##### ■ 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接(約30分)を実施し、以下の評価ポイントの項で述べている点について、面接員の評価をもとに総合的に判断します。



#### 評価ポイント

- 関大メディカルポリマー(KUMP)の研究内容と関連した材料やしくみの設計を通した『ものづくり』によって社会に貢献する目的意識の強い学生かを見極めます。
- 「好奇心が強く新しい事象を学んだり新しい価値を生み出したりすることに喜びを感じることでできる学生」かを見極めます。
- 化学・物質工学科の特徴、大学の教育理念および化学・物質工学科を専攻することの意義を自分なりに理解しているかどうかを見極めます。
- 常に科学について強い関心を有しているかについても評価します。
- 当日実施するセミナーに関するレポートやその理解度についても評価します。
- 一般入学試験を経て入学した学生との学力差がなく、専門分野の授業についていけるかどうか基礎学力全般(特に数学・物理・化学)も見極めます。

#### 🗨️ 選考委員・面接員のコメント

##### 〈第1次選考(書類選考)〉

前段の「評価ポイント」とおり評価しました。

##### 〈第2次選考(面接)〉

前段の「評価ポイント」とおり評価しました。

# 生命・生物工学科【探究評価型】

## 2026年度 結果と講評

※以下の内容は2026年度の結果と講評です。2027年度AO入試の詳細につきましては、必ず「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

### 【AO入試のポイント】

- 探究活動に主体的に取り組み、その内容や課題設定の過程、工夫した点を十分に理解していることを重視します。また、その探究活動が生命・生物工学科を志望する動機とどのように関連しているかも評価します。
- 大学での講義内容を理解し、専門教育科目を修得するために必要な基礎学力を重視します。基礎学力については、高等学校での学業成績に加え、面接（第2次選考）での口頭試問の内容も評価します。
- 面接（第2次選考）では、探究活動に関する理解と、それを自身の言葉でわかりやすく説明できるかに加え、入学志望理由の明確さ、コミュニケーション能力、勉学意欲、さらに基礎学力を総合的に評価します。

## 第1次選考（書類選考）について

### 実施概要

2名の選考委員が個別に調査書、入学志望理由書、探究活動の成果物などを、次に示す評価ポイントを中心に評価します。

### 評価ポイント

- 探究活動の内容が、実験・調査・観察などによりデータを収集し、新たな知見の獲得をめざした優れた内容であるかを評価します。また、独自の視点が盛り込まれているかも重視します。単なる理科の実験にとどまり、新たな知見を得ようとする意図が見られないものは評価を下げます。
- 探究活動の成果物が、目的・方法・結果・考察の流れに沿って適切にまとめられ、内容が高等学校における探究活動の標準を上回り、かつ論理的に構成されているかを評価します。
- 入学後に理工系の基礎科目や専門教育科目（専門分野）を修学するために必要な基礎学力が備わっているかを評価します。
- 調査書および入学志望理由書の文章が論理的であるか、また志望理由が生命・生物工学科の内容に合致しているかを評価します。
- 探究活動が化学や生物学に関連した内容である場合は高く評価します。分野との関連性が薄い場合でも、その活動を通じて生命・生物工学科への進学を希望するに至った経緯が十分に説明されていれば、評価の対象とします。

## 第2次選考（面接）について

### 実施概要

第1次選考合格者について、面接員3名による個人面接（約30分）を実施し、各面接員の評価をもとに総合的に判断を行います。

### 評価ポイント

- 探究活動の内容を、自身の言葉でわかりやすく説明できるか。
- 課題設定やテーマ選択に至った過程を、自身の理解に基づいて適切に説明できるか。
- 探究活動の成果を達成するために工夫した点を、論理的かつ明確に説明できるか。
- 探究活動の内容に関連する既知の事項について、適切に調べ、理解しているか。
- 探究活動の内容について、さまざまな角度からの質問に対して適切に回答できるか。
- 本学科を志望した理由や、AO入試を選択した理由を、論理的かつわかりやすく説明できるか。
- 生命・生物工学科の特徴や、本分野を専攻する意義を理解し、自分の言葉で説明できるか。
- 理工系の基礎科目や専門教育科目（専門分野）を修得するために必要な基礎学力を有しているか。
- コミュニケーション能力と、勉学に対する意欲・努力・熱意を備えているか。

### 選考委員・面接員のコメント

#### （第1次選考（書類選考））

探究活動の内容が一般的なレベルを上回っているかを確認するとともに、その実績がグループ活動や高校内のコース活動である場合には、自ら考え、主導的に関わっているかを出願書類から判断しました。特に、新たな知見の獲得をめざした優れた内容であることを重視しました。想定した結果が得られなかった場合でも、成果の達成に向けて工夫や計画を凝らした活動は高く評価し、一方で単なる机上の空論にとどまるものは評価を下げました。なお、探究活動の内容や成果について、実際の取り組みと乖離した誇張的な記述が見られた場合には、記載内容の信頼性が低いものとして評価を下げました。また、生命・生物工学科への入学志望理由が明確で、大学での勉学・研究に主体的に取り組む意欲が感じられるかも評価しました。

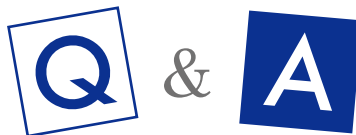
#### （第2次選考（面接））

探究活動の成果の説明や質疑応答を通じて、探究内容をどれだけ深く理解しているか、またその内容を自分の言葉で整理し、相手にわかりやすく伝えられるかを確認しました。あわせて、探究活動や志望理由を自分の言葉で適切に表現し、根拠に基づいて自己アピールを行えるかどうか重要な評価のポイントとしました。志望理由については、特に本学の生命・生物工学科で学ぶ意義を自分なりに理解し、それを具体的かつ妥当な形で説明できているかを重視しました。なお、過度に控えめで自己アピールが不足する場合や、実態にそぐわない誇張や大げさな表現に依拠したアピールは評価を下げる要因となります。質問に対しては、準備した内容をそのまま述べるのではなく、自分の考えとして説明できているか、さらに出願書類に関連した踏み込んだ質問にも的確に回答できるかを評価しました。その際には、個性や熱意が感じられるかも重視しました。また、基礎学力の簡単な確認も行い、これらを総合的に判断して選考を実施しました。

■ 2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数

学部	学科(専攻・専修)		募集人員	第1次選考		第2次選考
				志願者	合格者	合格者
化学生命工学部	探究評価型	化学・物質工学科	5	5	4	3
		生命・生物工学科		7	4	1
	実績評価型	化学・物質工学科	3	2	1	1
	関大メディカルポリマー(KUMP)型	化学・物質工学科	3	6	5	2
	計			20	14	7

# AO入試



Q

〇〇検定◇級しかもっていないのですが、AO入試に出願できますか？

A

本学のAO入試は、提出していただいた入学志望理由書や資格、調査書等を総合的に評価しています。

そのため最も重要なのは、取得している資格と、志望する学部における勉学との結びつきがアピールできることです。たとえば「資格をもっている」や「〇〇な活動をした」、「◇◇の経験がある」というだけではなく、あなたが出願の際に、その活動成果を志望する学部での学びに結びつけて自己アピールすることが大切です。

なお、学部によっては、「2027年度AO入学試験要項」に例示をあげているので参考してください。また、法学部【I型】、文学部【外国語能力重視型】、経済学部【社会人】および外国語学部B【クロス留学】・C【英語教員】・D【日本語教育】・E【グローバルキャリア】では出願資格として基準となる外国語検定試験のグレードまたはスコアを設けています。詳細は「2027年度AO入学試験要項」(学部で特に定める基準等)でご確認ください。

Q

3カ月の留学に行っていました。留学していたのは短期間ですが、AO入試の活動実績に含まれますか？

A

各学部の出願要件において、留学期間の指定は行っていません。留学期間が長ければ有利、短ければ不利、といったことではなく、その経験と志望する学部における勉学との結びつきをアピールできることが重要です。もちろん、ただ単に「留学してきました」というだけでAO入試に合格できるものではありませんので、その経験からご自身がどのようなことを学び、感じたのか、学部の学びにどう生かしたいののかしっかりと考えてみてください。

Q

AO入試について、各学部での倍率はどの程度ですか？

A

昨年度のAO入試結果については各学部の「2026年度 結果と講評」(P3~P52)に記載の「2026年度AO入学試験 志願者数・合格者数」で確認できます。しかしながら、AO入試の受験で最も重要なことは、これまでの活動経験や資格等と志望する学部における勉学との結びつきをアピールできることです。合格倍率だけで出願学部・出願方式を考えるのではなく、あなたが本当に学びの意欲をもてる学部へ、ご自身の強みを最大限にアピールできるような方式で出願してください。

Q

AO入試において、推薦書は「出願資格を証明する資料」として扱ってもらえますか？

A

外国語学部で出願する場合は、「推薦書」の提出が必須です。また、社会学部では「出願資格を証明する資料」がない場合に限り、顧問教諭や当該施設・団体の長等によって活動実績を証明するために作成された「活動実績に関する推薦書」に代えることができます。詳細については「2027年度AO入学試験要項」でご確認ください。

なお、その他の学部では、推薦書を出願資格を証明する資料としては取り扱いません。

Q

AO入試の過去問題(第2次選考)はどこで公開されていますか？

A

AO入試の過去問題は公開していません。ただし、AO入試ガイドブックではP3~P52に「2026年度結果と講評」として、各学部の実施概要や評価ポイント等を掲載しています。また、オープンキャンパスにてAO入試説明会を行う予定ですので、参考にしてください。

Q

AO入試は専願ですか？

A

「2027年度AO入学試験要項」では専願と記載していませんが、「関西大学における志望学部での勉学を強く希望し入学を志す者」として出願資格に定めていますので、この趣旨をご理解いただいたうえで出願してください。なお、複数学部、学科(専攻・専修)を併願することはできません。第2次選考日やキャンパス、評価型が異なる場合も同様です。

Q

AO入試とSF入試を併願することはできますか？

A

本学のAO入試とSF入試を同時に出願することは可能ですが、第1次選考に両入試とも合格した場合は、どちらかの入試を選択して第2次選考の出願をしてください。

# Admission Office GUIDE BOOK 2027

---

## AO入学試験要項最新情報はここから!

2027年度AO入学試験要項・出願書類は以下のURLからダウンロードすることができます。

●関西大学入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

<https://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/>

---

## AO入試についてのお問い合わせ

関西大学 入試センター 入試・高大接続グループ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 06-6368-1121 (大代表)

---

